注意
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用

電信写

[redacted] [redacted] 08－059

総番号 R165834

主管 欧 ソ

平成 3年 8月 21日 [redacted] ソ連発 月 21日

本省着 8月 21日

外務大臣殿

枝村大使

ソ連非常事態宣言（ロシア系ラジオ報道）

第5372号 大至急 [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW8404－01）

大臣 官房長 次官 政務次官 儀典長 総務審議官 外務審議官 経済局長 国際経済部長 条約局長 査察・軍縮・科学原子力課長 博報大使 代表部大使 大使館研修所長 北米局長 欧亜局長 中南米局長 アジア局長 大洋州局長 領事移住部長 外務報道官 文化交流部長 国際情報通信課長 国際情報通信審議官 国際情報通信政策課長 国際情報通信開発協力課長 国際情報通信技術協力課長 国際情報通信規格課長 国際情報通信協力課長 国際情報通信経済課長 国際情報通信社会課長 国際情報通信科学原子力課長 国際情報通信調査室長 参事官 審議官 課長 室長

MW8404 01

２１日未明、モスクワ市内の様子に関しロシア共和国系ラジオ「エホ・モスクヴィ」がロシア共和国最高会議内からの情報として報じているところ、断片的なるも以下の通り。

１．ロシア共和国国防大臣にコーベッツ将軍が任命された。同大臣は、（非常事態国家委員会による）夜間外出禁止令を撤回した。

２．零時１０分、チャイコフスキー通り（当館注：サドーヴォエ環状線の米国大使館付近）方面より、ロシア共和国最高会議建物に向かって装甲車と戦車（複数）が接近中、空に向けて空砲を打っている。群衆が回りを囲んでいるため、前進は非常に遅い。

３．零時３６分、装甲車（複数）が地下鉄「クラスノプレスネンスカヤ（バリカードナヤ）」付近（当館注：ロシア共和国最高会議の裏側方面）で、バリケードを破壊した。

４．（時間不明）ロシア共和国最高会議付近で、死者が３名（暫く後の報道では１０名）でた。うち１人は外国人ジャーナリスト。負傷者１名。ロシア共和国最高会議建物の電気が切断された。（この点は、上記報道後も、~~米大~~クトゥーゾフスキーの館員宅からの視認では、電気は消えていない。）

５．零時４８分、ルツコイ・ロシア共和国副大統領より、ロシア共和国最高会議の建物の１つの窓あたり２人を配置し、不審な動きに対しては警告なしに発砲して良いとの命令が下った。建物内には３００人の防衛隊がいる。

（上記放送の後、「エホ・モスクヴィ」は妨害電波と思われる雑音により、突如聴取不能になった。）

東速高デ交換に転電した。　（了）

注意
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用
０８－０５９

電信写

[redacted]

総番号 R１６５８３５

主管

月 ２１日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 ３年 ８月 ２１日 [redacted] 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言（ロシア共和国庁しやしゆうへんの状況）

第５３７３号 大至急 [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW８４０５－０１）

大臣	政事官(官)次官(官)儀官(官)
大臣秘書官	務次官 審議官 審議官 典礼長
大使	北大使 経大使 欧大使 外交官 査察官 総括公使 博覧会代表
総合外交政策局	総合外交政策局 厚生労働審議官 情報通信審議官
領事移住部	領事移住部 警察庁出向 人事課長 在外公館課長 儀典長 警備局長
外務報道官	参事官(報道)(国際)内政審議官 内政審議官 外務報道官
文化交流部長	審議官 一 二
領事移住部	参事官 政策課長 保健衛生対策室長 旅券課長 外国人課長
アジア大洋州局	審議官(地域政策担当) 地球規模課題審議官 日米地位協定室長 東南アジア課長 北東アジア課長 西欧課長
北米局	審議官 一 二 保健衛生対策室長 地球規模課題審議官
中南米局	参事官 一 二
欧州局	審議官 西欧課長 ロシア課長 中東アフリカ課長 中欧課長 東欧課長
中近東アフリカ局	参事官 一 二 アフリカ課長 アフリカ審議官
経済局	次長 総合経済政策課長 国際経済課長 途上国経済協力課長 博士
	審議官 経済連携課長 漁業交渉室長 国際エネルギー課長 国際経済紛争処理室長 国際知的財産室長 国際経済課長
	審議官 海洋政策課長 審議官 準備室長
経済協力局	審議官 政策課長 国別開発協力第一課長 無償資金協力課長 技術協力課長 有償資金協力課長
条約局	参事官 調査企画課長 条約課長 法規課長
国際法局	審議官 経済法規課長 人権人道課長
国際社会協力部長	参事官 国連政策課長 国連社会開発課長
科学技術審議官	科学技術審議官 原子力課長
情報調査局長	参事官 情報管理室長 分析課長 情報通信課長 公安課長

MM8405 01

(三八〇字)

在電第5372号 まん延し

21日 0130頃、ロシア連邦国防省(最高会議国際問題対外経済問題委員会)に電話にて接触を試みたところ、先方(ベズペーストコ某)より応答があり、現在の状況につき述べたところ、概要以下のとおり。

1. 現在ロシア連邦国防省の回りには数十台の戦車及び装甲車が集結したが、実弾はせずに待機中である。軍事車両が連邦議会まで接近和際、銃撃があり死者、負傷者(数は不明)が出た。しかし、連邦周辺にはバリケードがあり他 未だ数千人[redacted]人を残っている。

2. 連邦の警備をしているロシア内務軍(3個大隊:各部隊はこれに民警特殊部隊(OMON)2部隊が加っていたが、OMONは去って行った)には、連邦軍が突入して来た場合には、即銃撃応戦して良いとの命令が出されている。

3. 0100頃より連邦内でロシア連邦最高会議が開催され エリツィン大統領他幹部全員が参加している(代議員の数を聞いたが正確は不明と回答)。我が方最後の動向まで報告してもらいたい。

高官名等も報告せよ。 (3)

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用

電信写

[redacted] [redacted] 08－059

総番号 R165864 主管

月 21日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 21日 [redacted] 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言（ロシア共和国最高会議建物への攻撃）

第5375号 大至急 [redacted]

（以下FAX送信 MW8407－01）

大臣 政務次官 官房長 儀官 総務審議官 典房審議官 秘書官

北大使 経大使 欧亜局長 外務審議官 査察管理官 総合外交政策局 博物館 代表

総合安保 ロ対 文化交流 厚生 情報 オ在 人権 儀典 警察 史

外報官 参 審 総 内 外

文長 審 一 二

領移長 参 政 保 対 旅 外

(アジ) 審 地 日 東 二 一 参 北 東 西 一

北米長 審 日 二 保地

中南長 参 一 二

欧長 審 西 ソ 洋 二 一 西 東 二

(アジ) 参 一 二 ア ア 一 二

経(二) 次 総 経 途 博 二 一

審 経 漁 国 一 一

経 エ 国 安 ネ 二

審海 審準

経協長 審 政 国 開 無

参 調 技 有 理

条長 審 条 協 規

国長 審 政 経 人

参 電 社

科審 科原

情調長 参 情 新 調 企 安

外務省

MW8407 01

往電第 5374 号に関し、

1．21日1時過ぎのインターファックスは、軍によるロシア共和国最高会議建物に向かっての[redacted]開始を報じているところ、主要点以下のとおり。

最高会議建物の部内ラジオによれば、地下鉄クラスノプレスネンスカヤ駅方向より装甲車が第一線のバリケードを突破した。

右突破の直後、部内ラジオを通じブルブリス国務長官がいかなる場合においても犠牲を出さないこと[redacted]を呼びかけるとともに、「我々の目的は犠牲ではなく、精神的堅固を示すことである」旨強調し、軍側も犠牲を避けるよう指示を与えられている旨述べた。

建物内部には100名以上の人民代議員がいる。

ルツコィ副大統領が「KGBの装備・部隊が最先頭に配置されていることから判断し、これから本格的攻撃が始まる」旨をラジオで報知した。

自動火器からの発砲音が引き続き響いている。

カルーガ街道を40台以上の戦車がモスクワ中心に向かっている。

2．1時30分のインターファックスは「非公式情報では、装甲車のバリケード突破の際、数名が死傷した。正確な死者数は確認不可能」と報じている。(1時47分のインターファクスでは 2-5名が死亡。)

東速高デ公館に転電した。

(了)

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファクシミリ用

電信写 [redacted] [redacted] 08－059

大臣	政務次官
官房	総務審議官
官房	儀典長
北米大使	経済局外務審議官
欧州大使	査察大使
総合外交政策	博多代表
総合外交政策	地球規模課題審議官
総合外交政策	対人地雷担当大使
総合外交政策	文化交流・在外邦人安全課長
外務報道官	参事官（報道担当）、参事官（広報文化交流担当）、内閣情報官
文化交流・在外邦人安全課長	審議官（一）、審議官（二）
領事移住部長	参事官（政策）、保健衛生担当大使、参事官（旅券）、外務参事官
領事移住部長	審議官（地球規模課題担当）、地球規模課題審議官補、参事官（東京オリンピック・パラリンピック競技大会推進室）、参事官（東京オリンピック・パラリンピック競技大会推進室）
北米局長	審議官（日米地位協定担当）、審議官（二国間交渉担当）、保健衛生担当大使
中南米局長	参事官（一）、参事官（二）
欧州局長	審議官（軍縮不拡散・科学担当）、審議官（ユーラシア担当）、参事官（東京オリンピック・パラリンピック競技大会推進室）
欧州局ユーラシア課長	参事官（一）、参事官（二）、アジア大洋州局参事官（一）、アジア大洋州局参事官（二）
経済局長	次席国際法局参事官、総合外交政策局経済安全保障政策室長、経済局参事官（途上国支援担当）、経済局審議官（国際経済紛争担当）、経済局審議官（漁業担当）、経済局審議官（国際経済紛争担当）、経済局参事官（エネルギー安全保障担当）、経済局参事官（国際経済紛争担当）
	審議官（海洋担当）、審議官（準備中）
経済協力局長	審議官（政策担当）、審議官（国別開発協力担当）、無償資金協力担当大使
	参事官（調査計画担当）、技術協力担当大使、参事官（有償資金協力担当）、理事
条約局長	審議官（条約担当）、審議官（条約担当）、国際法局参事官（協定）
国際法局長	審議官（政治担当）、審議官（経済担当）、人権人道大使
	参事官（軍縮不拡散・科学担当）、参事官（国連担当）、国際法局参事官（社会国際法担当）
科学技術参事官	科学技術参事官
情報調査局長	参事官（情報収集衛星担当）、参事官（衛星画像センター担当）、内閣衛星情報センター次長
	企画調整官、安全保障政策調整官

総番号 R165921 主管

[redacted] 月 21日 ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 21日 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言（ロシア共和国の対応）

第5377号 秘 大至急 [redacted]

（以下FAX送信 MW8409－01）

秘

MW8409 01

往電第5376号に関し、

２１日０３：３３、佐藤がツアレガロッツェフ・ロシア大統領補佐官席に電話照会したところ、応答したロシア最高会議書記局員（先方は官職氏名を明らかにせず）は、今のところロシア最高会議建物内外の状況は平穏かつ平静である旨述べた。

（了）

21/10:41 [redacted] 4918 02/08 P01 R165937

ファイル用

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

秘

電信写

[redacted] [redacted] 08－059

総番号 R165937 主管

月 21日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 21日 [redacted] 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言（２１日午前４時の模様）

第５３７９号 秘 大至急 [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW８４１１－０１）

大臣 政官 官房 儀官 官房
大臣 務次官 典房 長

北大使 経大使 官房 外研 官房 査察 官房 総括 官房 博代表

総務 官房 ロ対 官房 文化 官房 厚生 官房 情報 官房 オ察 官房 人事 官房 在外 官房 儀典 官房 警備 官房 史料 官房

外報官 参事官 総務 内外

文化長 審議官 一 二

領移長 参事官 政保 対外 旅外

（ ）長 審議官 地球 中東 一 二
参事官 北東 西 一

北米長 審議官 一 二 保地

中南長 参事官 一 二

欧州長 審議官 西欧 一 二 欧亜 一 二

新ア長 参事官 一 二 アア 一 二

総務 次長 総括 博 二
審議官 経済 漁業 一 一
経済 エネ 安保 国連 二

審議官 海洋 審議官 準備

経協長 審議官 政策 国連 開発 無償
参事官 調査 技術 有償

条約長 審議官 条約 協定

国際 科学 長 審議官 政策 経済 人権
参事官 軍縮 社会

科学審 科学原子力

情調長 参事官 情報 報道 企画 安全

外務省

秘

MW8411 01

２１日午前４時３分、当館相木よりハズブラートフ・ロシア共和国最高会議議長代行補佐官の席に電話したところ、応対に出た者の述べたところ以下の通り。

（当方より、ヤナーエフ連邦大統領代行がエリツィン・ロシア共和国大統領に対し、ロシア共和国最高会議建物襲撃は「ヤ」の命令ではなく、「ヤ」はこれをやめさせる旨述べたとの情報があるがと述べたのに対し、）その話は聞いている（ｖ　ｋｕｒｓｅ）。現在、情勢は平常である（ｎｏｒｍａｌ´ｎｏ）。包囲部隊との話合いは続いており、一部はロシア側に寝返っている。

（了）

ファイル用

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写 [redacted] [redacted] 08-059

総番号 R165943 主管 欧 ソ

月 21日 [redacted] ソ連発

平成 3年 8月 21日 [redacted] 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言（ロシア共和国最高会議建物への軍事行動）

第５３８０号 大至急 [redacted]

往電第５３７９号に関し、

２１日４：００のインターファックスによれば、A．チャーロフ非常事態担当連邦国防次官は、ロシア共和国国防問題国家委員会代表者との電話会談において、ロシア共和国最高会議への攻撃は行われない旨述べた。

この情報は、モスソビエトの作戦本部に入つたもの。

東速高デ公館に転電した。（了）

大臣 政務次官 事務次官 官房長 官審議官 審議官 儀典長

北大使 経大使 欧大使 外研 査察 総括審議官 博代表

総合 ロ対 文対 会議 厚在 情報 オ察 人権 在外 警察 史

外報官 参総 総合 内外

文化長 審一 二

領事長 参政 保対 旅外

アジア長 審地 中東 一 二 参北東 西一

北米長 審一 二 保地

中南長 参一 二

欧州長 審西 ロ 洋一 西東 二

アジア長 参一 二 アジア 一二

経済長 次総 経途 博二 審経 漁国 一一 経エ 国二 安ネ 二

審海 審準

経協長 審政 国開 無 参調 技有 理

条約長 審条 協規

国連長 審経 経人 参国 社

科学審議官 科原

情報調査官 参情 報分 調 企安

21/11:25 [redacted] 4953 02/08 P01 R165951

ファイル用

秘

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写 [redacted] [redacted] 08－051

総番号 R165951

主管 欧ソ

月 21日 [redacted] ソ連発

平成 3年 8月 21日 [redacted] 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言（ロシア共和国の対応）

第5381号 秘 大至急 [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW8412－01）

外務省

大臣 官房長 儀典長 外務次官 政務次官 軍縮室 外務審議官

北大使 経大使 欧大使 アジア大洋州大使 総合外交政策局 査察管理審議官 博多代表

総合安保 国連代表部 対人地雷担当大使 文化交流部長 厚生労働審議官 情報調査局長 警察庁長官

外報官 参事官 総務参事官 内閣外政審議室

文化交流部長 審議官 一等書記官 二等書記官

領事移住部長 参事官 政策課長 保健衛生対策室長 旅券課長 外国人テロ対策室長

アジア大洋州局 審議官 地域政策課長 東南アジア一課長 東南アジア二課長 北東アジア課長 西南アジア課長

北米局長 審議官 一等書記官 二等書記官 日米安保条約課長 地位協定室長

中南米局長 参事官 一等書記官 二等書記官

欧州局長 審議官 一等書記官 二等書記官 西欧第一課長 西欧第二課長 中東欧課長

アジア大洋州局 参事官 アジア太平洋地域協力室長 アジア大洋州局 一等書記官 二等書記官

経済局長 次長 総務課長 経済連携課長 途上国協力室長 博多事務所長 審議官 経済安全保障室長 国際経済第一課長 国際経済第二課長 国際エネルギー課長

審議官 海洋政策担当大使 審議官 軍縮不拡散・科学部長

経済協力局長 審議官 政策課長 開発政策課長 無償資金協力課長 技術協力課長 有償資金協力課長 調査計画課長

条約局長 審議官 条約課長 国際協定課長 法規課長

国際法局長 審議官 国際紛争処理課長 経済条約課長 人権人道課長

科学審議官 原子力課長

情報調査局長 参事官 情報管理室長 情報通信課長 衛星画像センター長 企画調整官 安全保障政策企画官

秘

MW8412 01

往電第 S 380号に関し、

一部報道機関がエリツィンとヤナエフの間で電話交渉が行われ、「ヤ」は最高会議建物を襲撃しないと発言した旨報道に関するところ、関連情報次の通り。情報が錯綜しているところ、何等御参考まで。

1．21日04：24、当地米大のマークス書記官は大島に対し、「マ」が「エ」の側近に電話で照会したところ、「ヤ」が「エ」に対し軍の行動は自分（「ヤ」）の決定によるものではないので辞めさせる旨の連絡があったとの噂があることは承知しているが、右は単なる噂にすぎないと述べた旨伝達越した。

2．21日04：35、川端がルキン・ロシア共和国国際問題委員長席に電話照会したところ、先方（官職氏名不明）は、記者会見において「エ」が、昨20日、ナザルバエフ・カザフ大統領に「ヤ」がロシアを攻撃することはないと約した旨を披露したことがかかる情報になったのだと思う旨述べた。

3．21日04：40、佐藤がツアレガロッツェフ・ロシア大統領補佐官席に電話照会したところ、先方（官職氏名不明）は、21日02：00頃、最高会議建物内の有線放送で、「ヤ」とルツコイ・ロシア副大統領との電話会談において、「ヤ」は流血を避けることを約束する旨の報道がなされたと述べた。

4．21日04：05、佐藤が小林在莫NHK支局長に電話照会したところ、「ヤ」が「エ」に対し軍の行動は自分（「ヤ」）の決定によるものではないので辞めさせる旨の報道は、東京から出たもので、モスクワからはかかる報道は行なっておらず、またかかる情報には接していない旨述べた。

（了）

21/11:21 [redacted] 4951 02/08 P01 R165952

注意
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

秘

電信写

[redacted] [redacted] 08－051

総番号 R165952

月 21日 [redacted] ソ連発

平成 3年 8月 21日 本省着

主管 欧ソ

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言（ロシア共和国の対応）

第5382号 秘 大至急 [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW8413－01）

外務省

大臣 政務次官 秘書官 儀典長 官房長
北大使 経大使 欧大使 査察大使 総括審議官 博士 代表
総合外交政策局 ロシア課 対ソ専門嘱託 厚生省 情報調査室 オウム対策本部
警察庁 人事局 在外邦人等保護対策官 儀典長
外報官 参事官 総務課 内閣官房
文化交流部長 審議官 一等書記官 二等書記官
領事移住部長 参事官 政策課 保健医療対策室 旅券課 外務事務官
アジア大洋州局 審議官 地域政策課 東南アジア第一課 東南アジア第二課 北東アジア課 西南アジア課 一等書記官
北米局長 審議官 一等書記官 二等書記官 北米第一課 北米第二課 沖縄対策室
中南米局長 参事官 中南米第一課 中南米第二課
欧亜局 審議官 西欧第一課 西欧第二課 ソ連課 東欧課 一等書記官 二等書記官
アジア大洋州局長 参事官 アジア第一課 アジア第二課
経済局長 次長 総務課 経済連携課 途上国経済協力室 審議官 経済課 漁業室 国際エネルギー課 国際経済第一課 国際経済第二課 安全保障室
審議官 海洋室 審議官 準備室
総合経済対策室 審議官 政策課 国際経済第一課 開発協力課 無償資金協力課 技術協力課 有償資金協力課 調査課 参事官
条約局長 審議官 条約課 国際協定課 法規課
国連局長 審議官 政治課 経済課 人権人道課 参事官 軍縮課 社会協力課
科学審議官 原子力課
情報調査局長 参事官 情報第一課 情報第二課 分析課 調査企画課 安全保障政策室

秘

MW8413 01

往電第 5381 号に関し、

２１日０５：０２、佐藤がツアレガロッツェフ・ロシア大統領補佐官席にロシア最高会議の状況につき電話照会したところ、最高会議書記局員（先方は官職氏名を明らかにせず）の応答振り次の通り。

現状は平穏である。５時過ぎになったので人々が外に出はじめている。

(3)

往電第 [redacted] 号

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用

電信写

[redacted] [redacted]

08-059

総番号 R165958

主管 欧ソ

月 21日 [redacted] ソ連発

平成 3年 8月 21日 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言（ロシア共和国最高会議建物に対する軍事行動）

第５３８３号 大至急 [redacted]

往電第５３８２号に関し、

２１日４：３９のロシア通信によれば、ツァレガロッツエフ・ロシア共和国副大統領補さ官が「ここ１．５－２時間われわれの指導部は、ヤナーエフ、モイセーエフ、カリーニン衛じゆ司令官、ルキャーノフと電話で話し合い、クリュチコフだけがつかまらなかつたが、みな、軍を止めることをせい約した。」旨述べた。

東速高デ公館に転電した。（了）

外務省

大臣 官房 政務次官 審議官 外務審議官 儀典長
北大使 経大使 欧亜大使 外務審議官 査察大使 総括審議官 博物館研究代表
総合外交政策局 対ロシア担当大使 文化交流・在外日本人会担当大使 厚生労働審議官 情報通信政策担当大使
外報官 参事官 総務課 内閣参事官
文長 審議官 一 二
領事移住部長 参事官 政策課 保護課 対日審査室 旅券課 外国人課
アジア大洋州局長 審議官 地域政策課 東南アジア一課 東南アジア二課 北東アジア課 西大洋州課
北米局長 審議官 一 二 保地
中南米局長 参事官 一 二
欧州局長 審議官 西欧課 ソ連課 洋一 洋二
中近東アフリカ局長 参事官 一 二 アフリカ課 アフリカ二課
経済局長 次長 総務課 経済連携課 途上国経済協力課 博一 博二
審議官 経済一課 漁業課 国際経済課 国一 国二
経済安全保障室長 エネルギー資源課 国二
審議官 海洋政策課 審議官 準備室
経済協力局長 審議官 政策課 開発政策課 無償資金協力課
参事官 調査企画課 技術協力課 有償資金協力課 理事
条約局長 審議官 国際協力課 条約課 協定課 規制改革推進室
国際法局長 審議官 経済条約課 人権人道課
参事官 国際社会課 社会協力課
科学技術審議官 科学技術政策課 原子力課
情報調査局長 参事官 情報企画課 衛星画像センター 分析第一課 分析第二課 分析第三課 分析第四課

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用

電信写

[redacted] [redacted] 08－051

総番号 R165969 主管

月 21日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 21日 [redacted] 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言（エストニア情勢）

第５３８４号 秘 大至急 [redacted]

往電第５３８３号に関し、

２１日０５：４０、サトウがヌリシプ在バク・エストニア常設代表代理に「エ」情勢につき質したところ次の通り。

独立宣言発表後も共和国内の情勢は基本的に平おんである。昨ゆう、タリン市のテレビとうが連邦内務省特殊部隊に占拠された。死しよう者は発生していない。（当方より、２１日０５：１５ごろの「エコー・モスクワ」は「エ」最高会議建物が連邦内務省特殊部隊により占拠された旨報じているがと質したところ）右報道は誤りである。

米、英、仏、独、イタリア、ＥＣ代、ポーランド、フインランド、スウエーデン、ノルウエー、デンマーク、レニングラード、ナホトカに転電した。（了）

大臣 政務次官 政務次官 儀官 官房長
北大使 経大使 欧大使 アジア大使 査察官 総括審議官 博士 代表
総合 口 対 文 会 厚 情 オ
察 人 電 在 儀 警 史
外報官 参 総 経 内 外
文長 審 一 二
領事移住部長 参 政 保 対 旅 外
アジア大洋州局長 審 地 田 東 二 参 北 東 西 一
北米局長 審 一 二 保 地
中南米局長 参 一 二
欧亜局長 審 西 ソ 洋 二 西 東 二
アジア局長 参 一 二 ア ア 一 二
経済局長 次 総 経 途 博 二 審 経 漁 国 一 一 経 エ 国 二 安 ネ 二
審海 審準
経済協力局長 審 政 国 開 無 参 調 技 有 理
条約局長 審 条 協 規
国連局長 審 政 経 人 参 軍 社
科学審議官 科原
情報調査室長 参 情 報 調 公 安

外務省

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用

電信写

[redacted] [redacted] 08－059

総番号	R165979
	月 21日 [redacted] ソ連発
平成 3年	8月 21日 [redacted] 本省着

主管 欧ソ

外務大臣殿　　枝村大使

ソ連非常事態宣言（ロシア共和国最高会議建物に対する軍事行動）

第5385号 大至急 [redacted]

（以下FAX送信 MW8414－01）

大臣	政事官 次官
官房長	総務審議官
北米大使	経済局審議官
欧亜大使	国際法局長
中南米大研	条約局審議官
総合外交政策局	博報対策室長
領事移住部	参事官
文化交流部	審議官
報道官	参事官
領事移住部長	参事官
アジア局	審議官 地球規模問題 東南アジア 北東アジア
北米局	審議官 二保地
中南米局	参事官
欧亜局	審議官 西欧 大洋 西欧 東欧
欧亜局	参事官 アジア アジア
経済局	次長 総合経済 途上国 審議官 経済連携 漁業 国際経済 経済安全保障 エネルギー 国際
	審議官 海洋 審議官 準備
経済協力局	審議官 政策 開発 無償 参事官 調査 技術協力 有償
国際法局	審議官 条約 協定 規則
国際法局	審議官 人権 難民
国際法局長	参事官 国際社会
科学審議官	科学原子力
情報調査局長	参事官 情報分析 衛星 企画 安全保障

MOSCOW

1．２１日付インターファックスは、モスクワ市にビチェーブスキー空挺部隊が進入した旨報じているところ内容以下の通り。

ロシア共和国議会に入った情報によれば、モスクワ市に（ミンスク大通りに沿って）ビチェーブスキー空挺部隊２個連隊が進入した。手持ちの情報では車列には６０台の軍用車両が数えられた。

ロシア共和国政府建物内のラジオ放送は、数時間の内にロシア共和国の守備側に対する新たな攻撃が有り得ると警告を発した。

2．また同インターファックスは、私服のグループがロシア共和国政府建物へ進入を図ろうとし、撃退された旨報じているところ内容以下の通り。

ロシア共和国政府建物内のラジオ放送が伝えるところによれば、およそ４時００分、私服のグループが中央入り口より同建物内に進入しようとする試みを実行したが、しかしこの試みは阻止された。ラジオ放送は私服を着た人々からの攻撃再発の可能性を警告した。

東連、高デに転電した。

（了）

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用

電信写

[redacted] [redacted] 08－051

総番号 R165983

主管

平成 3年 8月 21日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 21日 [redacted] 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言（国営第一放送の報道ぶり）

第5386号 大至急 [redacted]

（以下FAX送信 MW8415－01）

大臣 政務次官 官房長 儀官 秘書官 審議官 審議官 審議官 長

北大使 経大使 欧大使 外研 査察 総括 審議官 博代表

総 口 対 文 会 厚 情 オ

察 人 領 在 儀 警 史

外報官 参 総 内外

文長 審一二

領ア長 参政保対旅外

アジア長 審地 東二 参北東西一

北米長 審一二保地

中南長 参一二

欧長 審西ソ洋一 西東二

ア太長 参一二 アア一二

経長 次総経途博一二 審経漁国一一 経エ国安ネ二

審海 審準

経協長 審政国開無 参調技有理

条約長 審条協規

国長 審政経人 参軍社

科審 科原

情調長 参情統調 企安

外務省

２１日６時３０分、国営第一放送のニュース番組『ウートラ』（「朝」の意）は冒頭、ロシア共和国建物周辺でロシア議会守備側と軍隊の衝突の結果、悲劇が起こった、取りあえずの情報によればカリーニン通りとサドーバエ環状道路の交差点付近で２名が死亡した旨、報じている。

東速一高デに転電した。

MW8415 01

（了）

注意
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用
08-051

電信写 [redacted]

大臣官房	政務次官 儀典長
北大使	経済大使 国際大使 外務審議官 査察大使 総括審議官 博多代表
総括	対ロ対策室 文化交流審議官 厚生労働審議官 情報調査官 オウム対策審議官 警察庁長官
外報官	参事官 総務参事官 内閣参事官 内閣外政審議室
文化交流審議官	審議官 一 二
領事移住部長	参事官 政策課 保健衛生対策室 旅券課 外国人登録室
アジア大洋州局長	審議官 地域政策 日米地位 東南アジア 二 参事官 北東アジア課 西欧 一
北米局長	審議官 一 二 保障政策 地域政策
中南米局長	参事官 一 二
欧亜局長	審議官 西欧 ソ連 二 参事官 西欧 東欧 二
アフリカ中東局長	参事官 一 二 アフリカ 中東 一 二
経済局長	次長 総括 経済 途上国 審議官 経済 一 漁業 二 国際 一 参事官 経済 エネルギー 安全保障 二
	審議官 海洋 審議官 準備
経済協力局長	審議官 政策 国別開発 無償資金協力 参事官 調査計画 技術協力 有償資金協力
条約局長	審議官 条約 協定 規則
国連局長	審議官 政治経済人権 参事官 軍縮 社会協力
科学審議官	科学原子力
情報調査局長	参事官 情報管理 調査 企画 安全保障

総番号 R166002 主管 欧亜

月 21日 [redacted] ソ連発

平成 3年 8月 21日 [redacted] 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言（２１日午前５時の状況）

第５３８８号 大至急 [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW８４１７－０１）

MW8417 01

２１日午前５時に再開したロシア系ラジオ局「エホ・モスクヴィ」のニュース番組で、ロシア共和国建物内にいるヴェネジクトフ特派員が伝えるところ以下の通り。

１．未確認情報であるが、死者は２名、負傷者２名であった。但しこれらは銃撃によるものではない。位置は、カリーニン通りとチャイコフスキー通り（当館注：サドーヴォエ環状線の在英米大付近の名称）の交差点付近である。

２．ロシア共和国最高会議の周囲には、装甲車数台以外に軍用車両は残っていない。

３．エリツィンは早朝大統領令を出し、各レベルの軍指揮官に対し、本日朝６時までにロシア政府に服属するかどうか決定するよう求めている。これに答えてチェルナビン・[redacted]司令官は、既にロシアへの服属を表明した。

ソ連海軍

４．エリツィンの大統領令により、レニングラード軍管区司令官サムソノフが更迭され、後任にシェルバコフが任命された。

５．チェルノフ海軍中将がレニングラード・ソビエトに対して述べたところでは、チェルナビン・ソ連海軍司令官は、非常事態国家委員会側の命令は遂行しないようにとの命令を出した。

６．昨２０日２２時にロシア共和国最高会議を緊急に開会する計画があったが、定足数が足らず準備会議に切り替えられた。

レニングラードにFAX転報し、オホトカに転報した。　（了）

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用

電信写

[redacted] [redacted] 08－051

総番号 R166019

主管

月 21日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 21日 [redacted] 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言（キルギス共和国大統領声明）

第5389号 秘 至急（ゆう先処理） [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW8418－01）

大臣 政務次官 国秘官 外官 儀官 官房長 典審長

北大使 経使 現大使 外ア大 査察 総括 博審 代表

総審 ロ対 文科 厚生 情研 オ在 警察庁 人事

外報官 参報 総合 内外

文長 審一二

領事 参政保対旅外

アジア長 審地 中一 東二 参北 東一 西一

北米長 審一二 保地

中南長 参一二

欧長 審西一 ソ洋二 西東二

アジア長 参一二 アジア一二

中近長 次総経途博二 審経漁国一一 経エ国安ネ二

審海 審準

経協長 審政国開無 参調技有理

条約長 審条協規

国連 審政経人

科長 参軍社

科審 科原

情調長 参情分調 企安

外務省

秘

MW8418 01

２１日午前６時、サルグィロフ・キルギスタン共和国大統領経済顧問が当館相木に電話越し、述べたところ以下の通り。

２０日から２１日にかけての夜は、ビシュケクでも眠れないものであったが、共和国内の情勢は安定している。アカーエフ大統領以下指導部は安泰である。２１日、アカーエフ大統領は、反憲法的クーデターに反対する声明（別ＦＡＸ信）を発表した。また、この過程でアカーエフ大統領に敵対した、「キ」共和国ＫＧＢ議長を解任した。

（了）

ＦＡＸ信

ファイル用

－

総 番 号　R166018　　主 管

月 21日 [redacted]　ソ 連 発　欧 ソ

平成 3年 8月 21日　本 省 着

外 務 大 臣 殿　　技 村 大 使

ソ連非常事態宣言（キルギス共和国大統領声明）

ＦＡＸ信　至急（ゆう先処理）[redacted]

（以下ＦＡＸ送信　MW8419－03）

MM8419 01

ЗАЯВЛЕНИЕ ПРЕЗИДЕНТА РЕСПУБЛИКИ КИРГИЗСТАН

在電第 5389 号別FAX信

Дорогие друзья, товарищи, граждане Республики Киргизстан!

События последних двух дней не оставляют сомнения в том, что 19 августа 1991 года в стране произошел антиконституционный переворот. Как теперь стало очевидным, к власти, пришли представители реакционных политических сил, опирающихся на военно-промышленный комплекс, армию, органы государственной безопасности и органы внутренних дел, подчиненные центру.

Этот государственный переворот, совершенный под предлогом спасения народа, в действительности направлен против народа и может привести нашу страну, все республики к катастрофе.

Случилось самое худшее из того, что можно было предположить: против законно избранной государственной власти ряда союзных республик, в том числе великой России, брошены Вооруженные силы. Народ, который пытается защитить свои демократические завоевания, хотят раздавить танками. Таковы факты, такова горькая и страшная реальность.

Я хочу со всей ответственностью заявить, что переворот произошел тогда, когда руководители республик сделали, казалось бы, невозможное: нам удалось найти пути совместного выхода из экономического кризиса, определить совместные меры стабилизации экономики и улучшения социального положения наших граждан. Теперь очевидно, что люди совершившие государственный переворот, были движимы одним: стремлением сохранить ускользающую от них государственную власть и тоталитарный режим.

MW8419 02 2.

Прогрессивные общественные силы Республики Кыргызстан выступили с осуждением военно-партийного путча. Исключение составило руководство ЦК Компартии Республики. Высшими целями демократии и конституции, они показали себя политическими конъюнктурщиками, способными поступиться интересами своего народа во имя корыстных, эгоистических, политических амбиций.

Дорогие товарищи, граждане Республики Кыргызстан!

Смертельная опасность нависла не только над нашим суверенитетом, над нашими демократическими достижениями, над всем тем, что нам уже удалось сделать по налаживанию нормальной человеческой жизни. Речь идет о том, что на улицах наших городов и сел, может пролиться кровь ни в чем неповинных людей, что наши дети, одетые в солдатскую форму, будут стрелять в своих отцов и братьев, матерей и сестер.

Это обязывает меня потребовать созыва внеочередной чрезвычайной сессии Верховного Совета Республики для обсуждения сложившегося политического положения.

Как Президент республики, я заявляю о своей полной поддержке позиции Президента России Бориса Николаевича Ельцина и Президента Казахстана Нурсултана Абишевича Назарбаева. Я это делаю не только потому, что являюсь их единомышленником. Этого требуют Договоры о дружбе и сотрудничестве, заключенные нашей республикой с Россией и Казахстаном, этого требует наша совесть и наша честь.

От имени народа республики я обращаюсь к Председателю Верховного Совета СССР Анатолию Ивановичу Лукьянову с требованием созвать внеочередной съезд народных депутатов СССР, который дол-

жен решить вопрос о судьбе народных депутатов СССР, который должен решить вопрос о судьбе Президента Михаила Сергеевича Горбачева, о всенародных выборах Президента страны и об ответственности лиц, грубо поправших Конституцию СССР и совершивших государственные преступления.

Как глава суверенного государства, я обращаюсь к мировому сообществу в лице Организации Объединенных Наций, Генеральному секретарю ООН Пересу де Кузьяру со следующим заявлением.

Мы небольшое государство, у нас нет армии, но мы будем защищать свой суверенитет, свою свободу. Однако у нас нет никаких шансов противостоять армии, вооруженной танками и самолетами. Неужели вы сможете спокойно наблюдать за тем, как будет растоптана наша свобода и свергнута законно избранная государственная власть.

Граждане республики!

Мол совесть перед народом чиста. Я рассчитываю на вашу поддержку. Только согласие и единство всех граждан республики: кыргызов и русских, узбеков и украинцев, людей всех других национальностей позволит нам избежать великой беды.

Президент Республики Кыргызстан А.АКАЕВ

г.Бишкек, 21 августа 1991 г.

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用

電信写

[redacted] [redacted] 08－051

総番号 R166044 主管

月 21日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 21日 [redacted] 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言（ＫＧＢ議長の動せい）

第５３９４号 秘 大至急 [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW８４２４－０１）

大臣	政務次官 事務次官 儀典長 官房長
北大使	経大使 欧大使 外研大使 査察官 総括審議官 博多代表
総合外交政策局	国際社会協力部 文化交流部 厚生審議官 情報通信課
領事移住部	参事官 在外邦人保護審議官 警察庁
外務報道官	参事官 総務課 内閣
文化交流部長	審議官 一等書記官 二等書記官
領事移住部長	参事官 政策課 保健衛生対策室 旅券課 外務
アジア大洋州局長	審議官 地域政策課 東南アジア一課 東南アジア二課 参事官 北東アジア課 東南アジア一課 西南アジア課
北米局長	審議官 日米安保課 地位協定室 二等書記官
中南米局長	参事官 一等書記官 二等書記官
欧亜局長	審議官 ロシア課 ソ連邦室 中東第二課 西欧第二課
条約局長	参事官 一等書記官 二等書記官 アジア大洋州課 アジア太平洋地域室
国際法局長	次長 総務課 経済条約課 途上国際協力室 審議官 経済課 漁業室 国際経済紛争処理室 経済安全保障室 エネルギー資源室 二等書記官
	審議官（海洋政策担当） 審議官（軍縮担当）
経済協力局長	審議官 政策課 国別開発協力第一課 無償資金協力課 参事官 調査計画課 技術協力課 有償資金協力課 理事官
条約局長	審議官 条約課 協定課 規則室
国際法局長	審議官 政策課 経済法規課 人権人道課 参事官 軍縮課 国際社会協力部 軍縮課 宇宙室 社会協力課
科学審議官	科学原子力課
情報調査局長	参事官 情報管理室 分析課 調査企画課 安全保障政策室

外務省

秘

往電第5389号に関し、 MW8424 01

２１日０９：１１、佐藤がソ連国家保安委員会（ＫＧＢ）渉外部に、クリュチュコフＫＧＢ議長の辞任に関し電話にて照会したところ、先方（官職氏名を明らかにせず）は、「ＫＧＢは「ク」が辞任したという情報を有していない。右は公式の回答である」旨述べていたところ、何等御参考まで。

（了）

ファイル用

秘

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写 [redacted] [redacted] 08－059

総番号 R166086 主管

月 21日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 21日 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言（ＫＧＢ議長、国防相の去就）

第５３９６号 秘 大至急 [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW８４２５－０１）

大臣 政務次官 官房長 総務審議官 国際審議官 外務審議官 儀典長

北大使 経大使 欧局長 外務審議官 アジア大洋州審議官 総合外交政策局 博多代表 研修所長

総合外交政策局 ロシア対策室 文化交流部 厚生課 情報調査室 オウム対策室 警察庁 人事課 在外公館警備対策官

外務報道官 参事官 総務課 内政審議室 外務報道官

文化交流部長 審議官 一等書記官

領事移住部 参事官 政策課 保健医療対策室 旅券課 外務報道官

アジア大洋州局 地球規模課題審議官 東南アジア第一課 東南アジア第二課 参事官 北東アジア課 東南アジア第一課 東南アジア第二課 西南アジア課

北米局長 審議官 北米第一課 北米第二課 日米安保条約課 地位協定室

中南米局長 参事官 中南米第一課 中南米第二課

欧州局長 審議官 西欧第一課 西欧第二課 ソ連邦課 中東第一課 中東第二課 欧州第一課 欧州第二課 欧州第三課 中央アジア・コーカサス課 参事官

アフリカ部長 参事官 アフリカ第一課 アフリカ第二課

国際社会協力部長 次長 総務課 経済課 途上国債務対策室 参事官 経済課 漁業室 国際平和協力室 国連企画調整室 経済安全保障室 国際テロ対策室

審議官 海洋室 審議官 準備室

経済局長 審議官 政策課 国際経済第一課 国際経済第二課 開発協力課 無償資金協力課 参事官 調査課 技術協力課 有償資金協力課 国際経済第一課 国際経済第二課

条約局長 審議官 条約課 国際協定課 法規課

国連局長 審議官 政治課 経済課 人権人道課 参事官 国連社会課

科学審議官 科学原子力課

情報調査局長 参事官 情報第一課 情報第二課 調査企画課 分析課

秘

往電第5394号に関し、 MW8425 01

21日10：18、佐藤が在ヴィリニュスのシュヴェッド・リトワニア共産党（ソ連派）第二書記（中央委員）にクリュチュコフKGB議長、ヤゾフ国防相の去就につき電話照会したところ次の通り。

（当方より、ロシア系プレスが「ク」KGB議長、「ヤ」国防相辞任を報じているが右情報を確認したかと質したところ、）KGB、国防省に照会したが、かかる事実は無いということである。（当方より、本当のところはどうなのだと更に質したところ、）少なくとも、現時点で、国家非常事態委員会は両名が辞任していないという対外応答要領で対応している。両名の人事について真相を承知している者は極少数であると思う。

（了）

21/17:09 [redacted] 5039 02/08 P01 R166105

ファイル用

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写

[redacted] [redacted] 08－051

総番号 R166105 主管 欧 ソ

平成 3年 8月 21日 [redacted] ソ連発 月 21日

本省着 8月 21日

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言（ロシア通信記事）

第5397号 大至急 [redacted]

（以下FAX送信 MW8426－02）

大臣 政務次官 官房長 儀官 外務審議官 外務報道官 内閣審議官 内外 参

北大使 経大使 国大研 外務審議官 査察 総括 博 代表

総合外交政策局長 対ロ 文化交流・在外邦人課長 厚生 情報 オ 警察庁 史

外務報道官 参 内外

文化交流・在外邦人課長 審一二

領事移住部長 参政保対旅外

アジア大洋州局長 審地 東二 参北東西一

北米局長 審一二 保地

中南米局長 参一二

欧亜局長 審西ソ洋二 西東二

経済局長 参一二 アア一二

国際経済部長 次総経途博 審経漁国二一 経エ国安ネ二

審海 審準

経済協力局長 審政国開無 参調技有理

条約局長 審条協規

国連局長 審政経人 参軍社

科学審議官 科原

情報調査局長 参情新調 企安

(三八〇字)

往電第ようアご号に関し、

22日、ロシア通信がモスクワ市境への空中部隊展開につき報じているところ、以下の通り。

オデッサ空挺部隊員、モスクワの"門"に。

21日夜モスクワより、19日の非常事態宣言に伴い導入された軍隊の撤退が完全に行なわれた。同時に朝、~~[illegible]~~空挺部隊の50以上の軍用車を数えるボルゴグラード連隊の1部隊の縦隊がモスクワに向って来た。部隊はモジャイスク街道とモスクワ大環状道路の交差点、すなわち、街の公式的な境界に止っている。

多くのアフガニスタン帰りを含んだ空挺部隊員は、飛行機の中で初めてどこに向って飛んでいるか知ったと日ソ通信記者に語った。連隊が常置しているオデッサから飛び立つ前、兵士達は発砲せず、挑発に乗らぬよう

(三八〇字)

命令を受けた。彼らは、駐達に向かって戦闘された場合のみ、武力を行使すると言わされた。

兵士達は、自分達の部隊がボルガグラード連隊の先鋒となっているのか、また自分達には別の課題があるのか、どうか明確に言うことができない。

この連隊の一部はかつてバクーとエレバンに治安維持のため導入された。

東速(高記)に館に転電した。

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用

電信写

[redacted] [redacted] 08－051

総番号 R166141

平成 3年 8月 21日 [redacted] 月 21日 ソ連発

[redacted] 本省着

主管 欧 ソ

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言（リトワニア情勢）

第5399号 秘 大至急 [redacted]

（以下FAX送信 MW8427－01）

大臣 政務次官 官房長 官房審議官 官房儀典 官房秘書 官房外務 官房総務 官房会計 官房人事 官房調査 官房広報 官房報道 官房内外 官房参事官 官房電信 官房暗号 官房

北大使 経大使 欧大使 アジア大使 経済局審議官 国際社会協力部審議官 総合外交政策局審議官 総合外交政策局調査企画課 総合外交政策局博物館 総合外交政策局代表 総合外交政策局人権人道課 総合外交政策局対外文化協力室 総合外交政策局国際情報統括官 総合外交政策局軍縮課 総合外交政策局在外公館警備対策室 総合外交政策局国際テロ対策室 総合外交政策局参事官 総合外交政策局報道官

文化交流部長 審議官 審議官 審議官 審議官

領事移住部長 参事官 政策課 保健衛生対策室 旅券課 外国人課

アジア大洋州局長 審議官 地域政策課 東南アジア第一課 東南アジア第二課 北東アジア課 北東アジア第一課 北東アジア第二課 西大洋州課

北米局長 審議官 日米安保条約課 地位協定室

中南米局長 参事官 中南米第一課 中南米第二課

欧亜局長 審議官 ロシア課 ソ連邦室 西欧第一課 西欧第二課 中東第一課 中東第二課

中近東アフリカ局長 参事官 アフリカ第一課 アフリカ第二課

経済局長 次長 総務課 国際経済課 経済課 経済第二課 経済第三課 国際機関第一課 国際機関第二課 国際経済第一課 国際経済第二課 国際経済第三課 国際経済第四課 国際経済第五課 国際経済第六課 国際経済第七課 国際経済第八課 国際経済第九課 国際経済第十課 国際経済第十一課 国際経済第十二課 国際経済第十三課 国際経済第十四課 国際経済第十五課 国際経済第十六課 国際経済第十七課 国際経済第十八課 国際経済第十九課 国際経済第二十課 国際経済第二十一課 国際経済第二十二課 国際経済第二十三課 国際経済第二十四課 国際経済第二十五課 国際経済第二十六課 国際経済第二十七課 国際経済第二十八課 国際経済第二十九課 国際経済第三十課 国際経済第三十一課 国際経済第三十二課 国際経済第三十三課 国際経済第三十四課 国際経済第三十五課 国際経済第三十六課 国際経済第三十七課 国際経済第三十八課 国際経済第三十九課 国際経済第四十課 国際経済第四十一課 国際経済第四十二課 国際経済第四十三課 国際経済第四十四課 国際経済第四十五課 国際経済第四十六課 国際経済第四十七課 国際経済第四十八課 国際経済第四十九課 国際経済第五十課 国際経済第五十一課 国際経済第五十二課 国際経済第五十三課 国際経済第五十四課 国際経済第五十五課 国際経済第五十六課 国際経済第五十七課 国際経済第五十八課 国際経済第五十九課 国際経済第六十課 国際経済第六十一課 国際経済第六十二課 国際経済第六十三課 国際経済第六十四課 国際経済第六十五課 国際経済第六十六課 国際経済第六十七課 国際経済第六十八課 国際経済第六十九課 国際経済第七十課 国際経済第七十一課 国際経済第七十二課 国際経済第七十三課 国際経済第七十四課 国際経済第七十五課 国際経済第七十六課 国際経済第七十七課 国際経済第七十八課 国際経済第七十九課 国際経済第八十課 国際経済第八十一課 国際経済第八十二課 国際経済第八十三課 国際経済第八十四課 国際経済第八十五課 国際経済第八十六課 国際経済第八十七課 国際経済第八十八課 国際経済第八十九課 国際経済第九十課 国際経済第九十一課 国際経済第九十二課 国際経済第九十三課 国際経済第九十四課 国際経済第九十五課 国際経済第九十六課 国際経済第九十七課 国際経済第九十八課 国際経済第九十九課 国際経済第百課 国際経済第百一課 国際経済第百二課 国際経済第百三課 国際経済第百四課 国際経済第百五課 国際経済第百六課 国際経済第百七課 国際経済第百八課 国際経済第百九課 国際経済第百十課 国際経済第百十一課 国際経済第百十二課 国際経済第百十三課 国際経済第百十四課 国際経済第百十五課 国際経済第百十六課 国際経済第百十七課 国際経済第百十八課 国際経済第百十九課 国際経済第百二十課 国際経済第百二十一課 国際経済第百二十二課 国際経済第百二十三課 国際経済第百二十四課 国際経済第百二十五課 国際経済第百二十六課 国際経済第百二十七課 国際経済第百二十八課 国際経済第百二十九課 国際経済第百三十課 国際経済第百三十一課 国際経済第百三十二課 国際経済第百三十三課 国際経済第百三十四課 国際経済第百三十五課 国際経済第百三十六課 国際経済第百三十七課 国際経済第百三十八課 国際経済第百三十九課 国際経済第百四十課 国際経済第百四十一課 国際経済第百四十二課 国際経済第百四十三課 国際経済第百四十四課 国際経済第百四十五課 国際経済第百四十六課 国際経済第百四十七課 国際経済第百四十八課 国際経済第百四十九課 国際経済第百五十課 国際経済第百五十一課 国際経済第百五十二課 国際経済第百五十三課 国際経済第百五十四課 国際経済第百五十五課 国際経済第百五十六課 国際経済第百五十七課 国際経済第百五十八課 国際経済第百五十九課 国際経済第百六十課 国際経済第百六十一課 国際経済第百六十二課 国際経済第百六十三課 国際経済第百六十四課 国際経済第百六十五課 国際経済第百六十六課 国際経済第百六十七課 国際経済第百六十八課 国際経済第百六十九課 国際経済第百七十課 国際経済第百七十一課 国際経済第百七十二課 国際経済第百七十三課 国際経済第百七十四課 国際経済第百七十五課 国際経済第百七十六課 国際経済第百七十七課 国際経済第百七十八課 国際経済第百七十九課 国際経済第百八十課 国際経済第百八十一課 国際経済第百八十二課 国際経済第百八十三課 国際経済第百八十四課 国際経済第百八十五課 国際経済第百八十六課 国際経済第百八十七課 国際経済第百八十八課 国際経済第百八十九課 国際経済第百九十課 国際経済第百九十一課 国際経済第百九十二課 国際経済第百九十三課 国際経済第百九十四課 国際経済第百九十五課 国際経済第百九十六課 国際経済第百九十七課 国際経済第百九十八課 国際経済第百九十九課 国際経済第二百課 国際経済第二百一課 国際経済第二百二課 国際経済第二百三課 国際経済第二百四課 国際経済第二百五課 国際経済第二百六課 国際経済第二百七課 国際経済第二百八課 国際経済第二百九課 国際経済第二百十課 国際経済第二百十一課 国際経済第二百十二課 国際経済第二百十三課 国際経済第二百十四課 国際経済第二百十五課 国際経済第二百十六課 国際経済第二百十七課 国際経済第二百十八課 国際経済第二百十九課 国際経済第二百二十課 国際経済第二百二十一課 国際経済第二百二十二課 国際経済第二百二十三課 国際経済第二百二十四課 国際経済第二百二十五課 国際経済第二百二十六課 国際経済第二百二十七課 国際経済第二百二十八課 国際経済第二百二十九課 国際経済第二百三十課 国際経済第二百三十一課 国際経済第二百三十二課 国際経済第二百三十三課 国際経済第二百三十四課 国際経済第二百三十五課 国際経済第二百三十六課 国際経済第二百三十七課 国際経済第二百三十八課 国際経済第二百三十九課 国際経済第二百四十課 国際経済第二百四十一課 国際経済第二百四十二課 国際経済第二百四十三課 国際経済第二百四十四課 国際経済第二百四十五課 国際経済第二百四十六課 国際経済第二百四十七課 国際経済第二百四十八課 国際経済第二百四十九課 国際経済第二百五十課 国際経済第二百五十一課 国際経済第二百五十二課 国際経済第二百五十三課 国際経済第二百五十四課 国際経済第二百五十五課 国際経済第二百五十六課 国際経済第二百五十七課 国際経済第二百五十八課 国際経済第二百五十九課 国際経済第二百六十課 国際経済第二百六十一課 国際経済第二百六十二課 国際経済第二百六十三課 国際経済第二百六十四課 国際経済第二百六十五課 国際経済第二百六十六課 国際経済第二百六十七課 国際経済第二百六十八課 国際経済第二百六十九課 国際経済第二百七十課 国際経済第二百七十一課 国際経済第二百七十二課 国際経済第二百七十三課 国際経済第二百七十四課 国際経済第二百七十五課 国際経済第二百七十六課 国際経済第二百七十七課 国際経済第二百七十八課 国際経済第二百七十九課 国際経済第二百八十課 国際経済第二百八十一課 国際経済第二百八十二課 国際経済第二百八十三課 国際経済第二百八十四課 国際経済第二百八十五課 国際経済第二百八十六課 国際経済第二百八十七課 国際経済第二百八十八課 国際経済第二百八十九課 国際経済第二百九十課 国際経済第二百九十一課 国際経済第二百九十二課 国際経済第二百九十三課 国際経済第二百九十四課 国際経済第二百九十五課 国際経済第二百九十六課 国際経済第二百九十七課 国際経済第二百九十八課 国際経済第二百九十九課 国際経済第三百課 国際経済第三百一課 国際経済第三百二課 国際経済第三百三課 国際経済第三百四課 国際経済第三百五課 国際経済第三百六課 国際経済第三百七課 国際経済第三百八課 国際経済第三百九課 国際経済第三百十課 国際経済第三百十一課 国際経済第三百十二課 国際経済第三百十三課 国際経済第三百十四課 国際経済第三百十五課 国際経済第三百十六課 国際経済第三百十七課 国際経済第三百十八課 国際経済第三百十九課 国際経済第三百二十課 国際経済第三百二十一課 国際経済第三百二十二課 国際経済第三百二十三課 国際経済第三百二十四課 国際経済第三百二十五課 国際経済第三百二十六課 国際経済第三百二十七課 国際経済第三百二十八課 国際経済第三百二十九課 国際経済第三百三十課 国際経済第三百三十一課 国際経済第三百三十二課 国際経済第三百三十三課 国際経済第三百三十四課 国際経済第三百三十五課 国際経済第三百三十六課 国際経済第三百三十七課 国際経済第三百三十八課 国際経済第三百三十九課 国際経済第三百四十課 国際経済第三百四十一課 国際経済第三百四十二課 国際経済第三百四十三課 国際経済第三百四十四課 国際経済第三百四十五課 国際経済第三百四十六課 国際経済第三百四十七課 国際経済第三百四十八課 国際経済第三百四十九課 国際経済第三百五十課 国際経済第三百五十一課 国際経済第三百五十二課 国際経済第三百五十三課 国際経済第三百五十四課 国際経済第三百五十五課 国際経済第三百五十六課 国際経済第三百五十七課 国際経済第三百五十八課 国際経済第三百五十九課 国際経済第三百六十課 国際経済第三百六十一課 国際経済第三百六十二課 国際経済第三百六十三課 国際経済第三百六十四課 国際経済第三百六十五課 国際経済第三百六十六課 国際経済第三百六十七課 国際経済第三百六十八課 国際経済第三百六十九課 国際経済第三百七十課 国際経済第三百七十一課 国際経済第三百七十二課 国際経済第三百七十三課 国際経済第三百七十四課 国際経済第三百七十五課 国際経済第三百七十六課 国際経済第三百七十七課 国際経済第三百七十八課 国際経済第三百七十九課 国際経済第三百八十課 国際経済第三百八十一課 国際経済第三百八十二課 国際経済第三百八十三課 国際経済第三百八十四課 国際経済第三百八十五課 国際経済第三百八十六課 国際経済第三百八十七課 国際経済第三百八十八課 国際経済第三百八十九課 国際経済第三百九十課 国際経済第三百九十一課 国際経済第三百九十二課 国際経済第三百九十三課 国際経済第三百九十四課 国際経済第三百九十五課 国際経済第三百九十六課 国際経済第三百九十七課 国際経済第三百九十八課 国際経済第三百九十九課 国際経済第四百課 国際経済第四百一課 国際経済第四百二課 国際経済第四百三課 国際経済第四百四課 国際経済第四百五課 国際経済第四百六課 国際経済第四百七課 国際経済第四百八課 国際経済第四百九課 国際経済第四百十課 国際経済第四百十一課 国際経済第四百十二課 国際経済第四百十三課 国際経済第四百十四課 国際経済第四百十五課 国際経済第四百十六課 国際経済第四百十七課 国際経済第四百十八課 国際経済第四百十九課 国際経済第四百二十課 国際経済第四百二十一課 国際経済第四百二十二課 国際経済第四百二十三課 国際経済第四百二十四課 国際経済第四百二十五課 国際経済第四百二十六課 国際経済第四百二十七課 国際経済第四百二十八課 国際経済第四百二十九課 国際経済第四百三十課 国際経済第四百三十一課 国際経済第四百三十二課 国際経済第四百三十三課 国際経済第四百三十四課 国際経済第四百三十五課 国際経済第四百三十六課 国際経済第四百三十七課 国際経済第四百三十八課 国際経済第四百三十九課 国際経済第四百四十課 国際経済第四百四十一課 国際経済第四百四十二課 国際経済第四百四十三課 国際経済第四百四十四課 国際経済第四百四十五課 国際経済第四百四十六課 国際経済第四百四十七課 国際経済第四百四十八課 国際経済第四百四十九課 国際経済第四百五十課 国際経済第四百五十一課 国際経済第四百五十二課 国際経済第四百五十三課 国際経済第四百五十四課 国際経済第四百五十五課 国際経済第四百五十六課 国際経済第四百五十七課 国際経済第四百五十八課 国際経済第四百五十九課 国際経済第四百六十課 国際経済第四百六十一課 国際経済第四百六十二課 国際経済第四百六十三課 国際経済第四百六十四課 国際経済第四百六十五課 国際経済第四百六十六課 国際経済第四百六十七課 国際経済第四百六十八課 国際経済第四百六十九課 国際経済第四百七十課 国際経済第四百七十一課 国際経済第四百七十二課 国際経済第四百七十三課 国際経済第四百七十四課 国際経済第四百七十五課 国際経済第四百七十六課 国際経済第四百七十七課 国際経済第四百七十八課 国際経済第四百七十九課 国際経済第四百八十課 国際経済第四百八十一課 国際経済第四百八十二課 国際経済第四百八十三課 国際経済第四百八十四課 国際経済第四百八十五課 国際経済第四百八十六課 国際経済第四百八十七課 国際経済第四百八十八課 国際経済第四百八十九課 国際経済第四百九十課 国際経済第四百九十一課 国際経済第四百九十二課 国際経済第四百九十三課 国際経済第四百九十四課 国際経済第四百九十五課 国際経済第四百九十六課 国際経済第四百九十七課 国際経済第四百九十八課 国際経済第四百九十九課 国際経済第五百課 国際経済第五百一課 国際経済第五百二課 国際経済第五百三課 国際経済第五百四課 国際経済第五百五課 国際経済第五百六課 国際経済第五百七課 国際経済第五百八課 国際経済第五百九課 国際経済第五百十課 国際経済第五百十一課 国際経済第五百十二課 国際経済第五百十三課 国際経済第五百十四課 国際経済第五百十五課 国際経済第五百十六課 国際経済第五百十七課 国際経済第五百十八課 国際経済第五百十九課 国際経済第五百二十課 国際経済第五百二十一課 国際経済第五百二十二課 国際経済第五百二十三課 国際経済第五百二十四課 国際経済第五百二十五課 国際経済第五百二十六課 国際経済第五百二十七課 国際経済第五百二十八課 国際経済第五百二十九課 国際経済第五百三十課 国際経済第五百三十一課 国際経済第五百三十二課 国際経済第五百三十三課 国際経済第五百三十四課 国際経済第五百三十五課 国際経済第五百三十六課 国際経済第五百三十七課 国際経済第五百三十八課 国際経済第五百三十九課 国際経済第五百四十課 国際経済第五百四十一課 国際経済第五百四十二課 国際経済第五百四十三課 国際経済第五百四十四課 国際経済第五百四十五課 国際経済第五百四十六課 国際経済第五百四十七課 国際経済第五百四十八課 国際経済第五百四十九課 国際経済第五百五十課 国際経済第五百五十一課 国際経済第五百五十二課 国際経済第五百五十三課 国際経済第五百五十四課 国際経済第五百五十五課 国際経済第五百五十六課 国際経済第五百五十七課 国際経済第五百五十八課 国際経済第五百五十九課 国際経済第五百六十課 国際経済第五百六十一課 国際経済第五百六十二課 国際経済第五百六十三課 国際経済第五百六十四課 国際経済第五百六十五課 国際経済第五百六十六課 国際経済第五百六十七課 国際経済第五百六十八課 国際経済第五百六十九課 国際経済第五百七十課 国際経済第五百七十一課 国際経済第五百七十二課 国際経済第五百七十三課 国際経済第五百七十四課 国際経済第五百七十五課 国際経済第五百七十六課 国際経済第五百七十七課 国際経済第五百七十八課 国際経済第五百七十九課 国際経済第五百八十課 国際経済第五百八十一課 国際経済第五百八十二課 国際経済第五百八十三課 国際経済第五百八十四課 国際経済第五百八十五課 国際経済第五百八十六課 国際経済第五百八十七課 国際経済第五百八十八課 国際経済第五百八十九課 国際経済第五百九十課 国際経済第五百九十一課 国際経済第五百九十二課 国際経済第五百九十三課 国際経済第五百九十四課 国際経済第五百九十五課 国際経済第五百九十六課 国際経済第五百九十七課 国際経済第五百九十八課 国際経済第五百九十九課 国際経済第六百課 国際経済第六百一課 国際経済第六百二課 国際経済第六百三課 国際経済第六百四課 国際経済第六百五課 国際経済第六百六課 国際経済第六百七課 国際経済第六百八課 国際経済第六百九課 国際経済第六百十課 国際経済第六百十一課 国際経済第六百十二課 国際経済第六百十三課 国際経済第六百十四課 国際経済第六百十五課 国際経済第六百十六課 国際経済第六百十七課 国際経済第六百十八課 国際経済第六百十九課 国際経済第六百二十課 国際経済第六百二十一課 国際経済第六百二十二課 国際経済第六百二十三課 国際経済第六百二十四課 国際経済第六百二十五課 国際経済第六百二十六課 国際経済第六百二十七課 国際経済第六百二十八課 国際経済第六百二十九課 国際経済第六百三十課 国際経済第六百三十一課 国際経済第六百三十二課 国際経済第六百三十三課 国際経済第六百三十四課 国際経済第六百三十五課 国際経済第六百三十六課 国際経済第六百三十七課 国際経済第六百三十八課 国際経済第六百三十九課 国際経済第六百四十課 国際経済第六百四十一課 国際経済第六百四十二課 国際経済第六百四十三課 国際経済第六百四十四課 国際経済第六百四十五課 国際経済第六百四十六課 国際経済第六百四十七課 国際経済第六百四十八課 国際経済第六百四十九課 国際経済第六百五十課 国際経済第六百五十一課 国際経済第六百五十二課 国際経済第六百五十三課 国際経済第六百五十四課 国際経済第六百五十五課 国際経済第六百五十六課 国際経済第六百五十七課 国際経済第六百五十八課 国際経済第六百五十九課 国際経済第六百六十課 国際経済第六百六十一課 国際経済第六百六十二課 国際経済第六百六十三課 国際経済第六百六十四課 国際経済第六百六十五課 国際経済第六百六十六課 国際経済第六百六十七課 国際経済第六百六十八課 国際経済第六百六十九課 国際経済第六百七十課 国際経済第六百七十一課 国際経済第六百七十二課 国際経済第六百七十三課 国際経済第六百七十四課 国際経済第六百七十五課 国際経済第六百七十六課 国際経済第六百七十七課 国際経済第六百七十八課 国際経済第六百七十九課 国際経済第六百八十課 国際経済第六百八十一課 国際経済第六百八十二課 国際経済第六百八十三課 国際経済第六百八十四課 国際経済第六百八十五課 国際経済第六百八十六課 国際経済第六百八十七課 国際経済第六百八十八課 国際経済第六百八十九課 国際経済第六百九十課 国際経済第六百九十一課 国際経済第六百九十二課 国際経済第六百九十三課 国際経済第六百九十四課 国際経済第六百九十五課 国際経済第六百九十六課 国際経済第六百九十七課 国際経済第六百九十八課 国際経済第六百九十九課 国際経済第七百課 国際経済第七百一課 国際経済第七百二課 国際経済第七百三課 国際経済第七百四課 国際経済第七百五課 国際経済第七百六課 国際経済第七百七課 国際経済第七百八課 国際経済第七百九課 国際経済第七百十課 国際経済第七百十一課 国際経済第七百十二課 国際経済第七百十三課 国際経済第七百十四課 国際経済第七百十五課 国際経済第七百十六課 国際経済第七百十七課 国際経済第七百十八課 国際経済第七百十九課 国際経済第七百二十課 国際経済第七百二十一課 国際経済第七百二十二課 国際経済第七百二十三課 国際経済第七百二十四課 国際経済第七百二十五課 国際経済第七百二十六課 国際経済第七百二十七課 国際経済第七百二十八課 国際経済第七百二十九課 国際経済第七百三十課 国際経済第七百三十一課 国際経済第七百三十二課 国際経済第七百三十三課 国際経済第七百三十四課 国際経済第七百三十五課 国際経済第七百三十六課 国際経済第七百三十七課 国際経済第七百三十八課 国際経済第七百三十九課 国際経済第七百四十課 国際経済第七百四十一課 国際経済第七百四十二課 国際経済第七百四十三課 国際経済第七百四十四課 国際経済第七百四十五課 国際経済第七百四十六課 国際経済第七百四十七課 国際経済第七百四十八課 国際経済第七百四十九課 国際経済第七百五十課 国際経済第七百五十一課 国際経済第七百五十二課 国際経済第七百五十三課 国際経済第七百五十四課 国際経済第七百五十五課 国際経済第七百五十六課 国際経済第七百五十七課 国際経済第七百五十八課 国際経済第七百五十九課 国際経済第七百六十課 国際経済第七百六十一課 国際経済第七百六十二課 国際経済第七百六十三課 国際経済第七百六十四課 国際経済第七百六十五課 国際経済第七百六十六課 国際経済第七百六十七課 国際経済第七百六十八課 国際経済第七百六十九課 国際経済第七百七十課 国際経済第七百七十一課 国際経済第七百七十二課 国際経済第七百七十三課 国際経済第七百七十四課 国際経済第七百七十五課 国際経済第七百七十六課 国際経済第七百七十七課 国際経済第七百七十八課 国際経済第七百七十九課 国際経済第七百八十課 国際経済第七百八十一課 国際経済第七百八十二課 国際経済第七百八十三課 国際経済第七百八十四課 国際経済第七百八十五課 国際経済第七百八十六課 国際経済第七百八十七課 国際経済第七百八十八課 国際経済第七百八十九課 国際経済第七百九十課 国際経済第七百九十一課 国際経済第七百九十二課 国際経済第七百九十三課 国際経済第七百九十四課 国際経済第七百九十五課 国際経済第七百九十六課 国際経済第七百九十七課 国際経済第七百九十八課 国際経済第七百九十九課 国際経済第八百課 国際経済第八百一課 国際経済第八百二課 国際経済第八百三課 国際経済第八百四課 国際経済第八百五課 国際経済第八百六課 国際経済第八百七課 国際経済第八百八課 国際経済第八百九課 国際経済第八百十課 国際経済第八百十一課 国際経済第八百十二課 国際経済第八百十三課 国際経済第八百十四課 国際経済第八百十五課 国際経済第八百十六課 国際経済第八百十七課 国際経済第八百十八課 国際経済第八百十九課 国際経済第八百二十課 国際経済第八百二十一課 国際経済第八百二十二課 国際経済第八百二十三課 国際経済第八百二十四課 国際経済第八百二十五課 国際経済第八百二十六課 国際経済第八百二十七課 国際経済第八百二十八課 国際経済第八百二十九課 国際経済第八百三十課 国際経済第八百三十一課 国際経済第八百三十二課 国際経済第八百三十三課 国際経済第八百三十四課 国際経済第八百三十五課 国際経済第八百三十六課 国際経済第八百三十七課 国際経済第八百三十八課 国際経済第八百三十九課 国際経済第八百四十課 国際経済第八百四十一課 国際経済第八百四十二課 国際経済第八百四十三課 国際経済第八百四十四課 国際経済第八百四十五課 国際経済第八百四十六課 国際経済第八百四十七課 国際経済第八百四十八課 国際経済第八百四十九課 国際経済第八百五十課 国際経済第八百五十一課 国際経済第八百五十二課 国際経済第八百五十三課 国際経済第八百五十四課 国際経済第八百五十五課 国際経済第八百五十六課 国際経済第八百五十七課 国際経済第八百五十八課 国際経済第八百五十九課 国際経済第八百六十課 国際経済第八百六十一課 国際経済第八百六十二課 国際経済第八百六十三課 国際経済第八百六十四課 国際経済第八百六十五課 国際経済第八百六十六課 国際経済第八百六十七課 国際経済第八百六十八課 国際経済第八百六十九課 国際経済第八百七十課 国際経済第八百七十一課 国際経済第八百七十二課 国際経済第八百七十三課 国際経済第八百七十四課 国際経済第八百七十五課 国際経済第八百七十六課 国際経済第八百七十七課 国際経済第八百七十八課 国際経済第八百七十九課 国際経済第八百八十課 国際経済第八百八十一課 国際経済第八百八十二課 国際経済第八百八十三課 国際経済第八百八十四課 国際経済第八百八十五課 国際経済第八百八十六課 国際経済第八百八十七課 国際経済第八百八十八課 国際経済第八百八十九課 国際経済第八百九十課 国際経済第八百九十一課 国際経済第八百九十二課 国際経済第八百九十三課 国際経済第八百九十四課 国際経済第八百九十五課 国際経済第八百九十六課 国際経済第八百九十七課 国際経済第八百九十八課 国際経済第八百九十九課 国際経済第九百課 国際経済第九百一課 国際経済第九百二課 国際経済第九百三課 国際経済第九百四課 国際経済第九百五課 国際経済第九百六課 国際経済第九百七課 国際経済第九百八課 国際経済第九百九課 国際経済第九百十課 国際経済第九百十一課 国際経済第九百十二課 国際経済第九百十三課 国際経済第九百十四課 国際経済第九百十五課 国際経済第九百十六課 国際経済第九百十七課 国際経済第九百十八課 国際経済第九百十九課 国際経済第九百二十課 国際経済第九百二十一課 国際経済第九百二十二課 国際経済第九百二十三課 国際経済第九百二十四課 国際経済第九百二十五課 国際経済第九百二十六課 国際経済第九百二十七課 国際経済第九百二十八課 国際経済第九百二十九課 国際経済第九百三十課 国際経済第九百三十一課 国際経済第九百三十二課 国際経済第九百三十三課 国際経済第九百三十四課 国際経済第九百三十五課 国際経済第九百三十六課 国際経済第九百三十七課 国際経済第九百三十八課 国際経済第九百三十九課 国際経済第九百四十課 国際経済第九百四十一課 国際経済第九百四十二課 国際経済第九百四十三課 国際経済第九百四十四課 国際経済第九百四十五課 国際経済第九百四十六課 国際経済第九百四十七課 国際経済第九百四十八課 国際経済第九百四十九課 国際経済第九百五十課 国際経済第九百五十一課 国際経済第九百五十二課 国際経済第九百五十三課 国際経済第九百五十四課 国際経済第九百五十五課 国際経済第九百五十六課 国際経済第九百五十七課 国際経済第九百五十八課 国際経済第九百五十九課 国際経済第九百六十課 国際経済第九百六十一課 国際経済第九百六十二課 国際経済第九百六十三課 国際経済第九百六十四課 国際経済第九百六十五課 国際経済第九百六十六課 国際経済第九百六十七課 国際経済第九百六十八課 国際経済第九百六十九課 国際経済第九百七十課 国際経済第九百七十一課 国際経済第九百七十二課 国際経済第九百七十三課 国際経済第九百七十四課 国際経済第九百七十五課 国際経済第九百七十六課 国際経済第九百七十七課 国際経済第九百七十八課 国際経済第九百七十九課 国際経済第九百八十課 国際経済第九百八十一課 国際経済第九百八十二課 国際経済第九百八十三課 国際経済第九百八十四課 国際経済第九百八十五課 国際経済第九百八十六課 国際経済第九百八十七課 国際経済第九百八十八課 国際経済第九百八十九課 国際経済第九百九十課 国際経済第九百九十一課 国際経済第九百九十二課 国際経済第九百九十三課 国際経済第九百九十四課 国際経済第九百九十五課 国際経済第九百九十六課 国際経済第九百九十七課 国際経済第九百九十八課 国際経済第九百九十九課 国際経済第千課 国際経済第千一課 国際経済第千二課 国際経済第千三課 国際経済第千四課 国際経済第千五課 国際経済第千六課 国際経済第千七課 国際経済第千八課 国際経済第千九課 国際経済第千十課 国際経済第千十一課 国際経済第千十二課 国際経済第千十三課 国際経済第千十四課 国際経済第千十五課 国際経済第千十六課 国際経済第千十七課 国際経済第千十八課 国際経済第千十九課 国際経済第千二十課 国際経済第千二十一課 国際経済第千二十二課 国際経済第千二十三課 国際経済第千二十四課 国際経済第千二十五課 国際経済第千二十六課 国際経済第千二十七課 国際経済第千二十八課 国際経済第千二十九課 国際経済第千三十課 国際経済第千三十一課 国際経済第千三十二課 国際経済第千三十三課 国際経済第千三十四課 国際経済第千三十五課 国際経済第千三十六課 国際経済第千三十七課 国際経済第千三十八課 国際経済第千三十九課 国際経済第千四十課 国際経済第千四十一課 国際経済第千四十二課 国際経済第千四十三課 国際経済第千四十四課 国際経済第千四十五課 国際経済第千四十六課 国際経済第千四十七課 国際経済第千四十八課 国際経済第千四十九課 国際経済第千五十課 国際経済第千五十一課 国際経済第千五十二課 国際経済第千五十三課 国際経済第千五十四課 国際経済第千五十五課 国際経済第千五十六課 国際経済第千五十七課 国際経済第千五十八課 国際経済第千五十九課 国際経済第千六十課 国際経済第千六十一課 国際経済第千六十二課 国際経済第千六十三課 国際経済第千六十四課 国際経済第千六十五課 国際経済第千六十六課 国際経済第千六十七課 国際経済第千六十八課 国際経済第千六十九課 国際経済第千七十課 国際経済第千七十一課 国際経済第千七十二課 国際経済第千七十三課 国際経済第千七十四課 国際経済第千七十五課 国際経済第千七十六課 国際経済第千七十七課 国際経済第千七十八課 国際経済第千七十九課 国際経済第千八十課 国際経済第千八十一課 国際経済第千八十二課 国際経済第千八十三課 国際経済第千八十四課 国際経済第千八十五課 国際経済第千八十六課 国際経済第千八十七課 国際経済第千八十八課 国際経済第千八十九課 国際経済第千九十課 国際経済第千九十一課 国際経済第千九十二課 国際経済第千九十三課 国際経済第千九十四課 国際経済第千九十五課 国際経済第千九十六課 国際経済第千九十七課 国際経済第千九十八課 国際経済第千九十九課 国際経済第千百課 国際経済第千百一課 国際経済第千百二課 国際経済第千百三課 国際経済第千百四課 国際経済第千百五課 国際経済第千百六課 国際経済第千百七課 国際経済第千百八課 国際経済第千百九課 国際経済第千百十課 国際経済第千百十一課 国際経済第千百十二課 国際経済第千百十三課 国際経済第千百十四課 国際経済第千百十五課 国際経済第千百十六課 国際経済第千百十七課 国際経済第千百十八課 国際経済第千百十九課 国際経済第千百二十課 国際経済第千百二十一課 国際経済第千百二十二課 国際経済第千百二十三課 国際経済第千百二十四課 国際経済第千百二十五課 国際経済第千百二十六課 国際経済第千百二十七課 国際経済第千百二十八課 国際経済第千百二十九課 国際経済第千百三十課 国際経済第千百三十一課 国際経済第千百三十二課 国際経済第千百三十三課 国際経済第千百三十四課 国際経済第千百三十五課 国際経済第千百三十六課 国際経済第千百三十七課 国際経済第千百三十八課 国際経済第千百三十九課 国際経済第千百四十課 国際経済第千百四十一課 国際経済第千百四十二課 国際経済第千百四十三課 国際経済第千百四十四課 国際経済第千百四十五課 国際経済第千百四十六課 国際経済第千百四十七課 国際経済第千百四十八課 国際経済第千百四十九課 国際経済第千百五十課 国際経済第千百五十一課 国際経済第千百五十二課 国際経済第千百五十三課 国際経済第千百五十四課 国際経済第千百五十五課 国際経済第千百五十六課 国際経済第千百五十七課 国際経済第千百五十八課 国際経済第千百五十九課 国際経済第千百六十課 国際経済第千百六十一課 国際経済第千百六十二課 国際経済第千百六十三課 国際経済第千百六十四課 国際経済第千百六十五課 国際経済第千百六十六課 国際経済第千百六十七課 国際経済第千百六十八課 国際経済第千百六十九課 国際経済第千百七十課 国際経済第千百七十一課 国際経済第千百七十二課 国際経済第千百七十三課 国際経済第千百七十四課 国際経済第千百七十五課 国際経済第千百七十六課 国際経済第千百七十七課 国際経済第千百七十八課 国際経済第千百七十九課 国際経済第千百八十課 国際経済第千百八十一課 国際経済第千百八十二課 国際経済第千百八十三課 国際経済第千百八十四課 国際経済第千百八十五課 国際経済第千百八十六課 国際経済第千百八十七課 国際経済第千百八十八課 国際経済第千百八十九課 国際経済第千百九十課 国際経済第千百九十一課 国際経済第千百九十二課 国際経済第千百九十三課 国際経済第千百九十四課 国際経済第千百九十五課 国際経済第千百九十六課 国際経済第千百九十七課 国際経済第千百九十八課 国際経済第千百九十九課 国際経済第千二百課 国際経済第千二百一課 国際経済第千二百二課 国際経済第千二百三課 国際経済第千二百四課 国際経済第千二百五課 国際経済第千二百六課 国際経済第千二百七課 国際経済第千二百八課 国際経済第千二百九課 国際経済第千二百十課 国際経済第千二百十一課 国際経済第千二百十二課 国際経済第千二百十三課 国際経済第千二百十四課 国際経済第千二百十五課 国際経済第千二百十六課 国際経済第千二百十七課 国際経済第千二百十八課 国際経済第千二百十九課 国際経済第千二百二十課 国際経済第千二百二十一課 国際経済第千二百二十二課 国際経済第千二百二十三課 国際経済第千二百二十四課 国際経済第千二百二十五課 国際経済第千二百二十六課 国際経済第千二百二十七課 国際経済第千二百二十八課 国際経済第千二百二十九課 国際経済第千二百三十課 国際経済第千二百三十一課 国際経済第千二百三十二課 国際経済第千二百三十三課 国際経済第千二百三十四課 国際経済第千二百三十五課 国際経済第千二百三十六課 国際経済第千二百三十七課 国際経済第千二百三十八課 国際経済第千二百三十九課 国際経済第千二百四十課 国際経済第千二百四十一課 国際経済第千二百四十二課 国際経済第千二百四十三課 国際経済第千二百四十四課 国際経済第千二百四十五課 国際経済第千二百四十六課 国際経済第千二百四十七課 国際経済第千二百四十八課 国際経済第千二百四十九課 国際経済第千二百五十課 国際経済第千二百五十一課 国際経済第千二百五十二課 国際経済第千二百五十三課 国際経済第千二百五十四課 国際経済第千二百五十五課 国際経済第千二百五十六課 国際経済第千二百五十七課 国際経済第千二百五十八課 国際経済第千二百五十九課 国際経済第千二百六十課 国際経済第千二百六十一課 国際経済第千二百六十二課 国際経済第千二百六十三課 国際経済第千二百六十四課 国際経済第千二百六十五課 国際経済第千二百六十六課 国際経済第千二百六十七課 国際経済第千二百六十八課 国際経済第千二百六十九課 国際経済第千二百七十課 国際経済第千二百七十一課 国際経済第千二百七十二課 国際経済第千二百七十三課 国際経済第千二百七十四課 国際経済第千二百七十五課 国際経済第千二百七十六課 国際経済第千二百七十七課 国際経済第千二百七十八課 国際経済第千二百七十九課 国際経済第千二百八十課 国際経済第千二百八十一課 国際経済第千二百八十二課 国際経済第千二百八十三課 国際経済第千二百八十四課 国際経済第千二百八十五課 国際経済第千二百八十六課 国際経済第千二百八十七課 国際経済第千二百八十八課 国際経済第千二百八十九課 国際経済第千二百九十課 国際経済第千二百九十一課 国際経済第千二百九十二課 国際経済第千二百九十三課 国際経済第千二百九十四課 国際経済第千二百九十五課 国際経済第千二百九十六課 国際経済第千二百九十七課 国際経済第千二百九十八課 国際経済第千二百九十九課 国際経済第千三百課 国際経済第千三百一課 国際経済第千三百二課 国際経済第千三百三課 国際経済第千三百四課 国際経済第千三百五課 国際経済第千三百六課 国際経済第千三百七課 国際経済第千三百八課 国際経済第千三百九課 国際経済第千三百十課 国際経済第千三百十一課 国際経済第千三百十二課 国際経済第千三百十三課 国際経済第千三百十四課 国際経済第千三百十五課 国際経済第千三百十六課 国際経済第千三百十七課 国際経済第千三百十八課 国際経済第千三百十九課 国際経済第千三百二十課 国際経済第千三百二十一課 国際経済第千三百二十二課 国際経済第千三百二十三課 国際経済第千三百二十四課 国際経済第千三百二十五課 国際経済第千三百二十六課 国際経済

秘

往電第5397号に関し、 MW8427 01

1．21日10：22、佐藤がセスタウスカス・リトワニア外務省領事部次長に「リ」情勢につき電話照会したところ次の通り。

21日04：00（現地時間、モスクワ05：00）頃、ソ連兵士（ソ連軍か内務省特殊部隊かは不明）がヴィエシントス市、パネヴェジス市のテレビ・ラジオ放送局、更に、「パ」市では地方電話局を占拠した。占拠にあったって死傷者は発生していない。ヴィリニュス市の情勢は平穏である。

2．21日10：47、佐藤がシュヴェッド・リトワニア共産党（ソ連派）第二書記に「リ」情勢につき電話照会したところ次の通り。

ヴィリニュス市の情勢は平穏である。「ソユジス」が最高会議建物の包囲を呼び掛けたが、ランズベルギス「リ」最高会議議長がソ連側に対する挑発行為を戒めたため、包囲は行なわれなかった。

（了）

21/20:57 [redacted] 5057 02/08 P01 R166151

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用

電信写

[redacted] [redacted] 08－059

総番号 R166151

主管 欧 ソ

月 21日 [redacted] ソ連発

平成 3年 8月 21日 [redacted] 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連の非常事態宣言（衛じゆ司令官通報）

第5400号 大至急 [redacted]

（以下FAX送信 MW8428－02）

大臣 政務次官 軍縮大使 外務審議官 欧亜局長 儀典長 官房長

北大使 経済大使 欧亜大使 外務審議官 国連代表 総合外交政策局長 査察管理局長 博多 軍縮大使 対ロシア特別大使 文化交流審議官 厚生労働審議官 情報調査局長 オウム真理教対策本部長 警察庁長官 在ウィーン国際機関代表部大使

外報官 参事官 総務課長 内閣外政審議室長

文化交流課長 審議官 一 二

領事移住部長 参事官 政策課長 保健医療対策室長 旅券課長 外国人課長

アジア局長 審議官 地域政策課長 中国・モンゴル第一課長 中国・モンゴル第二課長 東南アジア第一課長 東南アジア第二課長 西南アジア課長 北東アジア課長

北米局長 審議官 日米安保課 二国間経済課 地位協定室

中南米局長 参事官 一 二

欧亜局長 審議官 西欧第一課長 西欧第二課長 ソ連課 東欧課 中東第一課長 中東第二課長 中東アフリカ課長 欧州課長

国連局長 参事官 一 二 アジア第一課長 アジア第二課長

経済局長 次長 総務課長 経済課長 途上国経済協力課長 審議官 経済課長 国際経済第一課長 国際経済第二課長 国際エネルギー課長 国際経済安全保障室長

審議官 海洋課長 審議官 準備室長

経済協力局長 審議官 政策課長 開発協力課長 無償資金協力課長 参事官 調査計画課長 技術協力課長 有償資金協力課長 債務処理室長

条約局長 審議官 条約課長 国際協定課長 国際法規課長

国際社会協力部長 審議官 経済協力課長 人権人道課長 参事官 社会協力課長

科学審議官 科学原子力課長

情報調査局長 参事官 情報第一課長 情報第二課長 分析課長 企画室長

MW8428 01

往電第5323号に関し

２１日朝のタスは、モスクワ市衛戍司令官カリニン大将の通報を掲げ、２０日夜から２１日未明にかけてモスクワ市内で挑発行為があり死傷者が出た（人数は明らかにせず）旨伝えると共に、衛戍指令部が死傷者の家族に哀悼の意を表し、同時に同司令官がモスクワ市民に対し、社会の秩序維持と市民の安全のため挑発や教唆にのらないよう呼び掛けている旨報じている。衛戍司令官通報の要旨は以下の通り。

１．８月２０日から２１日未明に悲劇的結果を伴う過激分子の大挑発が発生した。外出禁止令に基づき当直パトロールを実施していた複数の装甲車に対し、サドーヴォエ環状道路および新アルバート（注：旧カリーニン通）地域において武装攻撃が行われた。スモレンスカヤ広場にあるロシア共和国最高会議のホテル脇を通過した装甲車のうちの１両に対し、同ホテルの窓より発砲がなされた。米国大使館の地域でも同様の攻撃がなされた。ロシア共和国最高会議の建物周辺に集まった群衆からは自動小銃による発砲があった。大部分の無頼漢分子は酒酔い状態にあり、衛戍パトロール隊の警告にも応えず挑発的振舞いをした。狼藉者の集団は複数のトロリーバスおよびバスに放火し、これらを障害物に利用した。無頼行為を阻止しようとする軍側の試みも効を奏さなかった。過激分子による犯罪行為の結果、市民に死傷者が出た。

２．かかる悲劇は、ソ連邦憲法の重大な違反と非常事態下での挑発的教唆行為の直接の結果である。

３．ビラにより、また「エコー・モスクワ」ラジオ放送局を通じ、そしてその他の手段によりモスクワ市民はロシア共和国最高会議の建物をあたかも「守る」とか言う目的で

MW8428 02

集まるよう呼び掛けられた。住民に対する挑発的噂や呼び掛けが広められたため市内には極めて狭量な状況が引き起こされた。これに付け込んで挑発者や犯罪者たちは自動小銃や火炎瓶を使用した。彼等の活動振りを見ればこれらの危険な挑発は事前に計画されていたことは明らかである。この２日間遺憾にも若干のロシア共和国やモスソヴィエトの人民代議員も参加した集会等では、法擁護機関職員や軍人に反対する呼び掛けがあからさまに行われた。

４．犯罪的企てを実行した具体的人間の摘発と刑事責任追及のため可能なかぎりの措置が取られている。

高デ公館に転電した。

（了）

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用

電信写

[redacted] [redacted] 08－059

内	政電外外儀官 大務務 典房 次次 臣秘官官審審長長
北大使	経欧外査総 博 大ア 察括 代 使大研審審 表
総	口対文会厚情オ 察人電在儀警史
外報官	参電国内外
文書課長	審一二
領移長	参政保対旅外
亜大洋	審地中東 参北東西 一 二 一
北米長	審一二保地
中南長	参一二
欧州	審西ソ洋 二 西東 二
西ア	参一二ア ア 一二
経長	次総経途博 審経漁国 一 一 経エ国 安ネ二
	審海 審準
経協長	審政国開無 参調技有理
条長	審条協規
国連	審政経人
長	参電社
科審	科原
情調長	参情報調 企安

総番号 R166165 主管

月 21日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 21日 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言（モスクワ市における非常事態体制の支持に関する命令）

第５４０１号 大至急 [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW８４２９－０１）

21日タスは、モスクワ市衛戍司令官の命令について、以下のとおり報じている。

MM8429 01

モスクワ市衛戍司令官ニコライ・カリーニン大将は「モスクワ市における非常事態体制の支持」に関する命令を発した。既に報道されたとおり、8月20日よりモスクワ市内には、市衛戍司令部の命令によって23時から5時までの外出禁止令が施行されている。

命令によると、外出禁止時間中市民は、特別に発行された許可証と身分証明書なくしては、自分の住居から離れて市街やその他の公共の場所に出ることを禁じられる。

身分を証明する文書を持たず、社会の秩序に違反した者は、法の定める期間拘留され、身元確認のため警察所に引き渡されるという処罰を受ける。拘留を受けた者、およびその持ち物は検査に付されうる。外出禁止令の実行についての責任は、モスクワ市各地域の衛戍司令官が負う。

命令に強調されているところによると、治安当局は、扇動的な流言の拡散、法秩序の破壊を扇動する行為、市民および官憲による法的権利義務の実現に対する積極的妨害、また同様に悪質な、法的指示、任務や社会的義務を遂行している内務省官憲、軍人、人民パトロール隊員、の要求に対する不服従、を阻止しなければならない。外出禁止令の違反者は、1000ルーブルまでの罰金か、30日以内の行政的検挙に付されうる。

[redacted]高デ公使官 に転電した。

(了)

21/19:50 [redacted] 5052 02/08 P01 R166239

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用

電信写

[redacted] [redacted] 08－051

大臣 政務次官 官房長 官房審議官 外務審議官 外務次官 典務審議官 典務次官 秘書官

北大使 経大使 国大使 外大使研究 査察 総括審議官 博多 代表

総合 ロ対 文化 会議 厚生 情報 オ史 察人 国在 儀典 警備

外報官 参事官 総務 内外

文官（領事移住） 審議官 一 二

参事官 政保 対 旅券 外

（領事移住）長 審議官 地球 東 二 参事官 北東 西 一

地球 米州 審議官 一 二 保地

中南米 参事官 一 二

欧州 審議官 西欧 ソ連 洋 二 西欧 東欧 二

参事官 一 二 アジア 一 アジア 二

経済 次長 総括 経済 二 途上国 博

審議官 経済 一 漁業 国 二

経済 エネ 安保 国 二

審議官 海洋 審議官 準

経協 審議官 政策 国際 開発 無

参事官 調整 技術 有理

条約 審議官 条約 協定 規則

国連 審議官 政治 経済 人権

参事官 軍縮 社会

科学 審議官 科学 原子力

情報 調査 参事官 情報 分析 調整

企画 安全

総番号 R166239

主管 欧ソ

月 21日 [redacted] ソ連発

平成 3年 8月 21日 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言（タス報道・イワシコ要請）

第5402号 大至急 [redacted]

（以下FAX送信 MW8430－01）

(三八〇字)

[redacted]

21日17:57発

ソ連共産党(中央委)副書記長ウラジミル・イワシコは、ミハイル・ゴルバチョフとの会見を審むした旨報じているところ、内容以下の通り。

[redacted]ソ連邦共産党中央委書記局の委任を受け、ソ連共産党副書記長ウラジミル・イワシコは(本日)ソ連邦大統領代行ゲンナジー・ヤナーエフに対し、ソ連共産党書記長ミハイル・ゴルバチョフとのすみやかな会見をおめた。これは、ソ連共産党中央委書記局筋が明らかにしたもの。

「中央委書記長との直接会談なくして党指導部は、8月19日の事件に対する政治的評価を下すこと、また、党員に情勢の進展に関する包括的かつ客観的情報を与えることはできないし、その権限もない」と、ソ連共産党中央委書記局筋情報は伝えている。

康(速・高)7に転電した。 (了)

ファイル用

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写

[redacted] [redacted] 08-051

総番号 R166275

主管

月 21日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 21日 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言（リャザン警備隊司令部声明）

第5404号 大至急 [redacted]

（以下FAX送信 MW8433－02）

大臣 政務次官 官房長 審議官 審議官 儀典長 北大使 経大使 欧大使 外研 査察 総括審議官 博代表 総ロ 対文 会厚 情オ 察人 電在 儀警 史 外報官 参電 国際 内外 文下 審一二 領移長 参政保対旅外 ア長 審地 東一二 参北東西一 北米長 審一二 保地 南長 参一二 欧亜 審西ア 洋一 西東二 亜大 参一二 ア一二 経長 次総経途博二 審経漁国一一 経エ国安ネ二 審海 審準 経協長 審政国開無 参調技有理 条長 審条協規 国長 審政経人 参軍社 科審 科原 情調長 参情報調 企安

(三八〇字)

リャザン警備隊司令部声明の内容を報じているところ、以下の通り。

昨21日リャザン発タス通=ロシア中央部に位置するリャザン市の警備隊司令部は声明を出し、その中で「集会及び煽動的流言流布を禁ずる国家非常事態委員会決定事項第1条の要求に反し、リャザン市議会議長V.リュミアイは情勢の撹乱、平静と法秩序の破壊を意図した宣伝工作を市民に行なった」と述べた。リュミアイは、[redacted]タマンスキー師団の一部及びリャザンに配置されているパラシュート降下部隊の一部がロシア政府側についたかのような発言をしたが、それは「つくりごとであり、何の根拠もない」。「現下の非常事態における軍の行動は、法と平静、法秩序を保つためである」と声明は強調している。

警備隊司令部は市議会議長の行動を「国家非常事態委員会決定を遵守していない」と非難し、「違法行為をただちにやめるよう」要求した。

(三八〇字)

委員会決定に従わない場合には、警備隊司令部は「煽動的流言流布を断ち切る措置を取るべく」国家非常事態委員会に働きかけることができなくなるから。

東速高デに転電した。 (3)

ファイル用

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検関班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写

[redacted] [redacted] 08－051

大臣官房	政務次官 / 事務次官 / 儀典長 / 官房長 / 審議官 / 審議官 / 審議官 / 審議官 / 国際社会協力部長 / 領事移住部長 / 外務報道官
北米局長	経済局長 / 大使 / 大使 / 大使

(三八〇字)

在露第5404号に関し、

21日、ロシア最高会議臨時セッション開会につき、タスが至急電で報じているところ、以下の通り。

本日ここに、ロシア共和国最高会議臨時セッションが開会した。連邦内最大の共和国の人民代議員は、国家非常事態委員会創設に関連し発生した事態を議論する。

ハズブラートフ(ロシア共和国)最高会議第一副議長が演説を行う。

昨晩の混乱の中死亡した人達のため黙とうが捧げられた。

(了)

22/09:51 [redacted] 5148 02/08 P01 R166277

ファイル用

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写 [redacted] [redacted] 08－051

一 一

大臣 政務次官 国務次官 秘書官 官房長 審議官 審議官 儀典長 自由民主党

北大使 経済大使 国際大使 外務審議官 査察大使 総合外交政策局 博士 代表

総合外交政策局 対ロ対策室 文化交流・在外邦人安全課 厚生労働省 情報官 在外公館警備対策官 史料

外務報道官 参事官 総括参事官 内閣官房

文化交流・在外邦人安全課長 審議官 一等書記官 二等書記官

領事局長 参事官 政策課長 保健衛生対策官 旅券課長 外務

アジア大洋州局長 審議官 地域政策課長 東南アジア第一課長 東南アジア第二課長 北東アジア課長 西南アジア課長

北米局長 審議官 一等書記官 二等書記官 保健衛生対策官 地球規模課題総括課長

中南米局長 参事官 一等書記官 二等書記官

欧州局長 審議官 西欧第一課長 西欧第二課長 ソ連課 中東アフリカ課長 中東第一課長 中東第二課長

参事官 一等書記官 二等書記官 アフリカ第一課長 アフリカ第二課長

経済局長 次長 総務課長 経済連携課長 国際経済課長 経済安全保障室長 エネルギー資源課長 国際知的財産課長 漁業交渉室長

審議官 審議官 審議官 審議官

経済協力開発課長 政策課長 開発協力企画官 無償資金協力課長 技術協力課長 有償資金協力課長 調査課長

条約局長 審議官 国際法課長 条約課長 協定課長

国際法局長 審議官 経済法課長 人権人道課長

参事官 軍縮不拡散・科学部長 国際安全保障課長 軍備管理軍縮課長 原子力課長 科学技術協力課長

科学審議官

情報調査局長 参事官 情報通信課長 衛星・地理空間情報センター長 分析課長 調査企画課長 国際情報官 安全保障政策課長

一

大臣官房 会計課長 審議官 参事官 文書課長 外交史料館長 報道官 領事移住部長 審議官 参事官 政策課長 海外邦人安全課長 旅券課長 外務

総合外交政策局 総務課長 審議官 参事官 国際社会協力部長 審議官 参事官 国際協力課長 地球規模課題総括課長 人権人道課長 人権人道大使 軍縮不拡散・科学部長 軍備管理軍縮課長 原子力課長 科学技術協力課長 科学審議官

経済局 審議官 参事官 国際経済課長 経済連携課長 経済安全保障室長 エネルギー資源課長 国際知的財産課長 漁業交渉室長

国際法局 審議官 参事官 国際法課長 条約課長 協定課長

欧州局 審議官 参事官 ロシア課長 ソ連課 中東アフリカ課長 中東第一課長 中東第二課長 アフリカ第一課長 アフリカ第二課長

アジア大洋州局 審議官 参事官 地域政策課長 東南アジア第一課長 東南アジア第二課長 北東アジア課長 西南アジア課長

北米局 審議官 参事官 一等書記官 二等書記官 保健衛生対策官 地球規模課題総括課長

中南米局 参事官 一等書記官 二等書記官

経済局 次長 総務課長 経済連携課長 国際経済課長 経済安全保障室長 エネルギー資源課長 国際知的財産課長 漁業交渉室長

経済協力開発課長 政策課長 開発協力企画官 無償資金協力課長 技術協力課長 有償資金協力課長 調査課長

条約局 審議官 国際法課長 条約課長 協定課長

国際法局 審議官 経済法課長 人権人道課長

参事官 軍縮不拡散・科学部長 国際安全保障課長 軍備管理軍縮課長 原子力課長 科学技術協力課長

科学審議官

情報調査局 参事官 情報通信課長 衛星・地理空間情報センター長 分析課長 調査企画課長 国際情報官 安全保障政策課長

一

総番号 R166277

平成 3年 8月 21日 [redacted] 月 21日

主管 欧 ソ

ソ連発

本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言（学生通信記事送付）

第５４０６号 至急（ゆう先処理） [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 ＭＷ８４３５－０１）

MW8435 01

往電第5405号に関し、

2日、ロシア共和国最高会議建物内から見た本日早朝の様子につき、学生通信（モスクワ大学ジャーナリスト学部の学生が作っているニュース）のコトキン記者より入手したところ概要以下の通り。

００：０１　最初の銃声が響く。建物内ラジオが議員の集合を呼びかける。

０１：００　米大使館付近で兵士が２人の酔っぱらいを殺したという報で、議員は軍隊との衝突回避を考え始める。コベツ陸軍大将に率いられた軍人議員が武器を手に建物外へ出る。チヒミロフ議員を先頭に市民の輪を建物から離れるよう説得に下に下りる。

０２：００　戦車群が建物に向かっている、遠ざかっていると情報が乱れる。銃声が止む。ラジオがタマンスク師団が市内から撤退しているらしいと報道。民衆の中にシュエバルナッゼが現れ、歓声が上がる。ヤゾフ、クリュチコフ更迭の知らせに、民衆は「ロシア、ロシア」と歓喜する。

０３：００　緊張が再び高まる。国防省の軍隊は去ったが、代わりにＫＧＢの軍隊が建物の周りを固めるとの情報。空中降下部隊が降下したとの情報。４時に突撃が開始するとの噂が広まる。

０４：００　最高潮に達する。ＫＧＢ空中降下部隊が到着し、有名なＫＧＢのスペツナッツが民衆に紛れこんで建物を囲んでいるとの知らせ。建物の周辺の[redacted]は最大１５０～２００に達する。ルツコイとハズブラートフの演説がラジオで流れる。電気が消える。窓から離れ、床に伏せるよう言われる。

０５：００～０５：３０　クツーゾフスキー大通りを市中心に向かっているビテブスク師団の話しが飛ぶ。ブルブリスがクリュチコフと連絡を取るのに成功。「ク」は協力を約す。５：３０頃、ビテブスク師団の一部が進行を止め、反転したとの情報。一同ホッとする。諸都市からエリツィン支持の情報と死者（諸情報から１０名前後）に関する情報が入る。ヤゾフ及びクリュチコフの更迭に関する情報に反駁が加えられる。しかし、緊張は緩和される。ポーランド、チェコ及びハンガリーのＮＡＴＯ緊急加盟についての知らせも疲れた笑顔で迎えられる。

ブルブリス・ロシア共和国国務長官室より諸共和国大統領達と暴徒に対する共同最後通牒に関する合意に達したとの報が流れる。人民代議員ミニンの言葉によれば、[redacted]は晩方までに合法的に終結するはずである。

０５：３０～０６：００　建物より[redacted]の引き上げが始まった。疲労困憊した。

(3)

ファイル用

注意
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写

[redacted] [redacted] 08－051

総番号 R166278

主管 欧 ソ

月 21日 [redacted] ソ連発

平成 3年 8月 21日 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言（タスの報じるソ連内務省による首都状況）

第5407号 大至急 [redacted]

（以下FAX送信 MW8436－02）

大臣	政(重)外(外)儀(官)
(大)秘書官	務務 次次
官房長	典房
審議官	審長
北米局長	経(国)外査(総) 博
大使	大ア 察括 代
大使	使大研審審 表
総合外交政策局長	ロ対文会厚情オ
領事移住部長	察人(警)在儀警史
外務報道官	参(報)(広)内外
文化交流・在外邦人安全課長	審一二
領事移住部参事官	参政保対旅外
アジア大洋州局長	審地(中)東 二 参北東西 一
北米局長	(審)(一)二保地
中南米局長	参一二
欧州局長	(審)(西)(ソ)洋 一 (西)(東) 二
中近東アフリカ局長	参一二ア ア 一二
経済局長	次総経途博 二 審経漁国 一 一 経エ国 安ネ二
	審海 審準
経済協力局長	審政(国)開無 参調技有理
条約局長	(審)条協規
国連局長	審政経人
参事官	参軍社
科学審議官	科原
情報調査局長	参(情)(分)調 (企)(安)

ロイター及びタスは、ソ連内務省情報による首都モスクワの状況を報じているところ、内容以下の通り。

MW8436 0.1

過去数日間にソ連の首都において、数多くのデモンストレーション及び集会が行われた。ソ連内務省社会関係センターでタスの記者に対し伝えられたところでは、８月２０日１２時、モスクワ市ソビエト及びロシア共和国政府建物前にて、ソ連内務省の見積では全体として３万２千人以上の人々が参加した集会が始まった。参加者は、プラカート、ウクライナ人民戦線、アゼルバイジャン、モスクワ選挙民連盟等の旗、ロシア共和国旗を有していた。

首都ソビエツカヤ広場では、ポポフ、スタンケービッチ・連邦人民代議員や、またシュワルナッゼ氏が演説した。殆ど全ての演説者は、国家非常事態委員会の創設及び同委員会で採択された決定、またモスクワでの緊急事態の導入にネガティブな評価を加えた。同時にポポフ・モスクワ市長は住民に対し平静を保ち、軍人との対決に至らぬよう呼びかけた。

およそ１４時には、「ホワイト・ハウス死守の為の行動」と称した集会がロシア共和国政府建物前で行われた。ソ連内務省の情報によれば集まった人々の概数は５千人に達した。４５名が演説し、内１３名の連邦人民代議員、１０名のロシア共和国人民代議員が含まれていた。

演説の中でなされた状況の評価は、モスクワ市ソビエト周辺での集会でなされた評価に類似していた。採用された諸措置の反憲法的性格が指摘され、モスクワに於ける非常事態の導入が厳しく評価された。国家非常事態委員会の決定を無視し、実行しないよう要求し、また抵抗を行うよう述べた。また同時に多くの演説者は平静と規律を守り、挑発に乗らないよう呼びかけた。

[illegible]ロシア共和国政府建物に）残り、同建物の警備隊として登録するよう要請した。０時現在では、モスクワにおいて昨日２３時より導入された夜間禁止令にも拘らず、約５千人が同建物周辺に残った。

MW8436 02

夕刻、道路の閉鎖及びバリケードを築くための作業が続けられた。８月２１日夜、サドーバエ環状道路及び新アルバート通り交差点にてソ連陸軍軍人とバリケードを守る市民との間で衝突が起こった。

東速・高デに転電した。

（了）

21/23:21 [redacted] 5065 02/08 P01 R166290

ファイル用

秘

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写

[redacted] [redacted] 08－059

総番号 R166290 主管

月 21日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 21日 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言（ゴルバチョフとエリツインとの会見の可能性）

第5409号 秘 大至急 [redacted]

（以下FAX送信 MW8437－01）

大臣 政務次官 事務次官 儀官 官房長 審議官 審議官 審議長

北大使 経大使 局大使 外大使 査察官 総括 博士 代表

総合 口対 文化 会議 厚生 情報 オ史

察人 警察 庁在 儀官 警備 史

外報官 参事官 総括 内外

文化 審一 二

領移長 参政 保対 旅外

アジア 審議官 地域 東一 二

参事官 北東 西一

北米 審議官 一二 保地

中南 参一 二

欧州 審議官 西欧 ソ連 西欧 東欧 一 二

参一 二 アジア 一 二

経済 次総 経二 途博

審議官 経一 漁一 国一

経安 エネ 国二

審海 審準

経協 審政 国開 無

参調 技有 理

条約 審議官 条協 規

国連 審議官 社経 人

参事官 社

科学 科原

情調 参事官 情報 通報

企安

外務省

秘

MW8431 01

２１日、当館相木よりマカロフ・シラーエフ・ロシア共和国首相補佐官に、エリツィンとゴルバチョフとの会見の可能性につき照会したところ、先方の述べたところ以下の通り。

２１日午前のロシア共和国最高会議において、エリツィンは、クリュチコフＫＧＢ議長と２人で、ゴルバチョフがいるとされるクリミア半島のファロスへ行くことで「ク」と合意した旨発表した。

これに対して、最高会議議員からは「ク」と２人で行くのは危険であるとの反対論が出、その後発言したシラーエフが、「ゴ」とロシア共和国側のメンバーに「エ」のほか、ルツコイ・ロシア共和国副大統領、シラーエフ、ロシア共和国人民代議員約１０名を加えるべきであるとの提案を行った。エリツィン及びロシア共和国最高会議はこの提案に同意したが、「ク」側とはまだ合意に達していない。「ゴ」との面会時期は、「ク」側と合意しアレンジができ次第速やかにということになっている。

東遠高干公館に転電した。

（了）

21/21:49 [redacted] 5058 02/08 P01 R166334

ファイル用

秘

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写

[redacted] [redacted] 08－059

総番号 R166334 主管

月 21日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 21日 [redacted] 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言（非常事態国家委員会メンバーの動向）

第5411号 秘 大至急 [redacted]

（以下FAX送信 MW8438－01）

大臣 政務次官 国秘官 外審 儀典 官房長

北大使 経大使 国大使 外大使 査察官 総括審議官 博士 代表

総合政策 対外経済 文化交流 厚生 情報 オウム 警察庁 人事 在外公館

外報官 参事官 総務 国際 内外

文化交流 審議官 一 二

領事移住 参事官 政保 対外 旅券

アジア 審議官 地域 東南アジア 一 二

参事官 北東アジア 一

北米 審議官 一 二 保地

東南ア 参事官 一 二

欧州 審議官 西欧 ソ連 一 二

西欧 二

中近東 参事官 一 二 アフリカ 一 二

経済 次長 総括 経協 途上国 博士

審議官 経済 一 漁業 一 国連 一

経済 安保 エネ 国連 二

審議官 海洋 審議官 準備

経協 審議官 政策 国際開発 無償

参事官 調査 技術協力 有償

条約 審議官 条約 規則

国連 審議官 国連 経済人

参事官 国連 社会

科学 審議官 科学原子力

情報 調査 審議官 情報 企画 衛星

外務省

秘

２１日午後、当館相木よりマカロフ・シラーエフ・ロシア共和国首相補佐官に対し、非常事態国家委員会メンバーの動向につきロシア共和国側で把握している情報を質したところ、先方の述べたところ以下の通り。 MW8438 01

非常事態国家委員会全員（病気といわれるパブロフも含まれるかとの当方の問いに対しては、先方は「全員」と言われている以上には確認できない旨答えた）がヴヌコヴォ空港に向かったと、エリツィンが公開の場で発言したことは確認できる。その後、ロシア共和国政府がヴヌコヴォ空港管制当局と連絡を取ったところ、委員会一行の飛行機は飛び立ったことが確認された。行き先は不明であるが、個人的にはゴルバチョフのいるクリミアではないかと憶測している。

東速高で公館に転電した。

（了）

ファイル用

秘

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写

[redacted] [redacted] 08－059

総番号 R166335 主管

月 21日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 21日 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言（エリツイン発言）

第5412号 秘 大至急 [redacted]

（以下FAX送信 MW8439－01）

大臣 政務次官 秘書官 外務審議官 外務審議官 大臣官房長 北大使 経大使 協力局長 大洋局審議官 アジア局審議官 博査官 条約局長 代表部大使 総合外交政策局 日米安保条約課 対日審査室 文化交流部 厚生課 情報調査室 オウム対策室 警察庁 人事課 電気通信課 在外邦人保護課 儀典官室 警備局 外務報道官 参事官 総務課 内閣外政審議室 文化交流部長 審議官 総務課長 参事官 政策課 保健医療課 対日審査室 旅券課 外務 アジア局長 審議官 地域政策課 日米安保条約課 東南アジア課 二国間条約第二課 北米局長 審議官 日米安保条約課 二国間条約第一課 地域政策課 東南アジア課 中南米局長 参事官 中南米第一課 中南米第二課 欧州局長 審議官 西欧第一課 西欧第二課 ソ連課 中東アフリカ局長 参事官 中東第一課 中東第二課 アフリカ第一課 アフリカ第二課 経済局長 次長 総務課 経済総務課 経済第二課 経済第一課 国際経済課 経済第一課 経済第二課 国際エネルギー課 国際安全保障室 審議官 海洋室 審議官 準備室 経済協力局長 審議官 政策課 開発第一課 開発第二課 無償資金協力課 参事官 調査企画課 技術協力課 条約局長 審議官 条約課 国際協定課 国連局長 審議官 国連政策課 国連経済社会課 参事官 国連社会課 科学審議官 科学原子力課 情報調査局長 参事官 情報第一課 情報第二課 分析課

秘

往電第 5400 号に関し、 MW8439 01

21日14：27のタスは、ロシア最高会議会期の席上、エリツィン・ロシア大統領が国家非常事態委員会の全メンバーが不明確な目的をもってブヌコヴォ空港に向っていると指摘し、空港で右委員会メンバーを阻止することを提案した旨報じている。

（了）

ファイル用

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写

[redacted] [redacted] 08－059

総番号 R166353

主管

平成 3年 8月 21日 [redacted] ソ連発 欧ソ

月 21日 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言

第5414号 秘 大至急 [redacted]

（以下FAX送信 MW8441－01）

大臣 官房長 次官 政務次官 審議官 審議官 秘書官 官房長 官房審議官 官房総務審議官 官房外務参事官 官房経済協力審議官 官房総務参事官 官房人事参事官 官房在外公館参事官 官房儀典長 官房報道官 官房内閣参事官 官房内政審議官 官房文化交流審議官 官房審議官 官房政策企画室長 官房政策企画室参事官 官房政策企画室審議官 官房政策企画室参事官 官房政策企画室審議官 官房政策企画室参事官 官房政策企画室審議官

秘

MW8441 01

(三八〇字)

21日3:40 アナトリー・ロシア共和国外務次官が在田に語ったところ、次の通り。

1. ヤナエフ事、非常事態国家委のメンバー(副ではない)は除く。但し左以外の誰がヤナエフに同行しているかは自分は知らない)がブヌーコヴォ空港トランジットロビーに何かあった。右はゴルバチョフとの会見のためである旨承知している。

2. 今ルクーデターは殆ど終りに近づきつつある。勿論、非常事態国家委とゴルバチョフの部分に結果がどう左右するか予見出来ないが、

(5)

ファイル用

秘

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写

[redacted] [redacted] 08－059

総番号 R166357

月 21日 [redacted] ソ連発

平成 3年 8月 21日 [redacted] 本省着

主管 欧ソ

外務大臣殿 枝村大使

ソ連の非常事態宣言（国家非常事態委の動き）

第5415号 秘 大至急 [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW8442－01）

大臣 政(電)次 次官 外務 儀(官) 官房長 秘書課長

北大使 経(国)大使 外務審議官 査察官 総括 博士 代表

総(ロ)対 文化 会議 厚生 情報 オ在 警察庁 史人(電)

外報官 参(総)(秘)(内)外

文(ア)長 審一二

領移(ア)長 参政保対旅外

アジア長 審地(中)東一二 参北東西一

北米長 審(一)二保地

中南米長 参一二

欧州長 審西(ソ)洋二 西(東)二

国連 参一二アア一二

経済長 次総経途博 審経漁国一一 経エ国安ネ一

審海 審準

経済協力長 審政(国)開無 参調技有理

条約課長 審(条)協規

国際法 審(政)経人 参(電)社

科学審 科原

情報調査長 参(情)(防)(警) (企)(安)

秘

MNOSKOL UL

(三八〇字)

往電第5413号に関し

21日1550、クーチェル連邦人民代議員（「ロシア通信」論集長）に事件につき照会したところ、先方回答振り概要込みのとおり申し上げる。

1. 生捕、ハバロフを含む8名が軍列を組み徒歩でヴォーコヴォ方面に向ったとの情報を得たロシア共和国最高会議は、かかる動きを阻止する決定をした。現在全力を尽くしているか、未だ逮捕されたとの情報はない。

2. ヴォーコヴォ方面に彼らが向った目的は定かではないが、（同志達が）クリミヤに向った可能性が高く、ゴルバチョフのもとに赴く公算が大である。もし彼がゴルバチョフの許に行けば「ゴ」の身の安全を含め恐るべき結果をもたらすと心配している。「ゴ」の救出に当っては空軍の司令官が加担しているので、クリミヤに飛ぶに際して同司令官が協力すると思う。

3. シラエフ、ルツコイ他人民代議員をメンバーとするロシア共和国代表団が最高会議で任命され、ゴルバチョフとの会見のためまもなくクリミヤに向うことになっている。（3）

GR[illegible]東速高で伝統い乳を[illegible]外務省

ファイル用

注意
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写

[redacted] [redacted] 08－051

総番号 R166382

平成 3年 8月 21日 [redacted] 月 21日

ソ連発 欧ソ

本省着

主管

外務大臣殿

枝村大使

ソ連の非常事態宣言（ルキャノフの立場：クナッゼ、ロシア共和国外務次官ブリーフ）

第5416号 大至急 [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW8443－01）

大臣 政務次官 官房長 儀官 欧亜局長 総務審議官 審議官 審議官

MW8443 01

２１日、ロシア共和国最高会議建物にて、クナッゼ・ロシア共和国外務次官による記者ブリーフが行われたところ、サプチャク・レニングラード市市長とルキヤノフソ連最高会議議長の電話会談に関する部分以下の通り。(中村傍聴)

本日午後１時半、サプチャク市長と電話で連絡した。「サ」市長はルキヤノフ議長と電話で会談した。「ル」議長は軍事クーデターと軍事陰謀団を違法で反憲法的であると弾劾した。

本日午後４時より連邦最高会議幹部会が行われる。私の見解では、同幹部会で同様の弾劾が行われるかもしれない。

（了）

ファイル用

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写

[redacted] [redacted] 08－051

総番号 R166429

月 21日 [redacted] ソ連発

平成 3年 8月 22日 [redacted] 本省着

主管 欧ソ

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言（ルキャノフ議長のクリミア行き）

第5418号 大至急 [redacted]

（以下FAX送信 MW8445－01）

大臣	政(事)外(外)儀(官)務(大)次 房 次 長
官房	秘書官 審議官 審議長
北大使	経(国)外(経)査(総) 博士
欧大使	アジア 察 括 代表
総合外交政策	口 対 文 会 厚 情 オ
警察庁	人(電)在 儀 警 史
外報官	参(総)(経)内外
文化	審一二
領務	参政保対旅外
アジア局長	審地(中)東一二 参北東西一
北米局長	(審)(一)二保地
中南米局長	参一二
欧州局長	(審)(西)(ソ)洋 一 (西)(東) 二
国連局長	参一二アア 一二
経済局長	次総経途博 二 審経漁国 一一 経エ国 安ネ二
	審海 審準
経済協力局長	審政(国)開無 参調技有理
条約局長	(審)条協規
国際法局長	審政経人
科学審議官	参軍社 科原
情報調査局長	参(情)(防)調 (企)(安)

MW8443 01

２１日付けタスは、本日連邦最高会議両会議議長Ｉ．ラプチェフとＲ．ニシャノフは連邦最高会議委員会委員長及び各会議委員会委員長による会合を行い、ルキヤノフ連邦最高会議議長がゴルバチョフ大統領と会うためクリミアに向かって出発した旨発表された旨報じている。国内の状況を見当するための最高会議幹部会は~~８月~~２２日に開催予定。

（了）

22/00:46 [redacted] 5071 02/08 P01 R166433

ファイル用

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写

[redacted] [redacted] 08－051

総番号 R166433 主管

平成 3年 8月 22日 [redacted] ソ連発 本省着 欧ソ

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言（バカーチン、プリマコフの声明）

第5419号 大至急 [redacted]

（以下FAX送信 MW8446－01）

大臣 政務次官 官房長 儀典長 秘書官 審議官 審議官 外務審議官 外務審議官 北米局長 経済局長 国際機関担当大使 総合外交政策局長 アジア大洋州大使 博多大使 代表 審議官 審議官 研修所長 総合外交政策局 対日経済担当大使 文化交流部長 厚生労働審議官 情報調査局長 在外公館担当大使 儀典長 警察庁長官 史料館長

外報官 参事官 総務参事官 内閣外政審議室

審議官 一 二

領事移住部長 参事官 政策保健課 対外関係課 旅券課

アジア大洋州局長 審議官 地域政策課 日米地位協定室 東南アジア一課 東南アジア二課 北東アジア課 西欧第一課 西欧第二課

北米局長 審議官 一 二 保障政策課 地位協定室

中南米局長 参事官 一 二

欧州局長 審議官 西欧第一課 西欧第二課 中東アフリカ課

国際法局長 参事官 一 二 国際安全保障課 国際安全保障課

経済局長 次長 総務課 国際経済課 経済連携課 途上国経済協力課 審議官 経済安全保障課 国際エネルギー課

審議官 海洋政策課 審議官 国際法課

経済局次長 審議官 政策課 開発協力課 無償資金協力課

経済協力局長 参事官 調査企画課 技術協力課 有償資金協力課

条約局長 審議官 条約課 協定課

国際法局長 審議官 政策課 経済条約室

国際社会協力部長 参事官 軍縮不拡散・科学部参事官 軍縮不拡散・科学部 科学原子力課

情報調査局長 参事官 情報通信課 分析課 調査企画課

２１日付タスは、バカーチン及びプリマコフ国家安全委員会メンバーの声明を報じているところ内容以下の通り。

「我々は非常事態の導入と国家緊急事態委員会への権力譲渡は違憲であると見なしている。我々の手持ちの情報では、ゴルバチョフ大統領は健康である。

我々が国家安全委員会のメンバーとして負っている責任は街の路上から装甲車両を遅滞無く排除するよう要求し、流血を許さぬために全てをなすことを義務としている。我々はまた「ゴ」の安全を保障し、「ゴ」に公衆の面前に遅滞無く登場する可能性を与える事を要求する。」

東速・高デに転電した。

（了）

ファイル用

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写

[redacted] [redacted] 08－051

総番号 R166493

主管 欧 ソ

平成 3年 8月 22日 月 21日 [redacted] ソ連発 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言（国家非常事態委員会メンバーのたいほ：未確認情報）

第５４２７号 秘 大至急 [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW８４５１－０１）

大臣 政務次官 秘官 官房 審議官 審議官 審議官 長

北大使 経大使 外大使 査察官 総括 博士 代表

総合対策本部 厚生大臣 情報官 オウム対策本部 人権擁護局 在外邦人保護 儀典長 警察庁 史料館

外報官 参事官 総務課 内政審議室

審議官 第一国際協力室 第二国際協力室

領事移住部 参事官 政策課 保健医療対策室 旅券課 外務省研修所

アジア大洋州局 審議官 地域政策課 東南アジア第一課 東南アジア第二課 東北アジア課 参事官 北東アジア課 西南アジア課

北米局 審議官 日米安保条約課 地位協定室 日米防衛協力室

中南米局 参事官 中南米第一課 中南米第二課

欧亜局 審議官 欧州第一課 欧州第二課 欧州第三課 ソ連邦室 西欧課 東欧課

中近東アフリカ局 参事官 中近東第一課 中近東第二課 アフリカ第一課 アフリカ第二課

経済局 次長 総務課 経済協力課 途上国債務対策室 博士 審議官 経済連携課 漁業室 国際経済第一課 国際経済第二課 経済安全保障室

審議官 海洋室 審議官 準備室

経済協力局 審議官 政策課 開発協力企画室 無償資金協力課 参事官 調査計画課 技術協力課 有償資金協力課 地球環境室

条約局 審議官 条約課 協定課 規制改革推進室

国連局 審議官 政策課 経済社会課 人権人道課 参事官 軍縮課 社会協力課

科学審議官 科学原子力課

情報調査局 参事官 情報管理室 分析課 調査企画課

秘

MN8451 01

往電第5419号に関し、

[redacted] 21日17：27、ロシア通信は未確認情報として国家非常事態委員会の7名が逮捕され、ヤゾフ国防相が自殺した旨報じているところ、[redacted]関連情報次の通り

（1）21日17：04のタスは、マニロフ・ソ連国防省報道局長は「ヤ」の辞任説を否定し、「ヤ」は議会の信任を受けている旨述べた。

（2）21日17：40、川端がロシア最高会議国際問題委員会に国家非常委員会メンバーの消息につき質したところ、先方（官職氏名不詳）は何等情報を有していない旨述べた。

（3）21日18：10、記者会見の席上、記者の質問に答え、ザソーホフ政治局員は国家非常委員会メンバーの消息については何等の情報も有していない旨述べた。

（4）21日18：35、佐藤がロシア[redacted]大統領府書記局に国家非常委員会メンバーの消息につき質したところ、先方（官職氏名不詳）は何等情報を有していない旨述べた。

（5）21日18：42、佐藤がレオーノフ・ロシア共産党第一書記補佐官に1．情報の真偽につき質したところ、「レ」は右情報が流布されていることについては承知しているが、事実関係については確認出来ない旨述べた。

（了）

フ[redacted]イル用

参

注意
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写

[redacted] [redacted] 08-051

大臣	政務次官 官房長 審議官 審議官 国会 儀典
北大使	経済大使 外務審議官 査察大使 総括 博多 代表
総人	ロ対文会厚情オ
察人	国在儀警史
外報官	参官総内外
審	審一二
領務	参政保対旅外
アジア長	審地中東 参北東西 一
北米長	審一二保地
中南長	参一二
欧州長	審西ソ洋 西東 二
所長	参一二アア 一二
経長	次総経途博 審経漁国 一一 経エ国 安ネ二
	審海 審準
経協長	審政国開無 参調技有理
条長	審条協規
国長	審政経人 参軍社
科審	科原
情調長	参情報調 企安

総番号 R166498　　主管

月 21日 [redacted] ソ連発　欧ソ

平成 3年 8月 22日 [redacted] 本省着

外務大臣殿　　枝村大使

ソ連非常事態宣言（G７等の在パク公館に対するブリーフイング）

第５４２８号 秘 大至急 [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW８４５２－０１）

秘

MW8452 01

1．（1）21日15時過ぎ、ソ連外務省儀典より、シェルバコフ連邦第一副首相が同日19時からG7等の大使を招き、ブリーフィングを行う旨の連絡が当館に対しあった。

（2）右を受け、本件コーディネーターである在莫英大スピンドラー参事官に本件ブリーフィングの性格等につき当館より照会したところ、「ス」は以下の通り述べた。

本件ブリーフィングへの招待はG7の各公館のみではなく、スイス、スペイン、オーストラリア、NZ、韓国、ユーゴ、ポーランド、チェコ、ハンガリー、ルーマニア、ブルガリア、中国、キューバにもなされた。在莫英大からは誰も出席しない。その理由は、時期尚早であり、この3日間の出来事に関するブリーフィングはゴルバチョフ大統領が帰莫してからでも遅くはないからである。米、加、仏も出席しない。独、伊とはまだ連絡がとれない。

（3）在莫英大への照会に先立ち、在莫米大フェアファックス参事官に対し当館より本件につき照会したところ、米国としては「政府を信任したくないので出席しない（We won't give credence to the government）」と述べていた。

2．上記事情に鑑み、当館からの出席は差し控えることにした。なお、「シェ」第一副首相による記者会見は本日21時に別途行われることになっている。

（了）

ファイル用

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写

[redacted] [redacted] 08－051

総番号 R166564

平成 3年 8月 21日 [redacted] ソ連発

平成 3年 8月 22日 [redacted] 本省着

主管 欧ソ

外務大臣殿 枝村大使

ソ連の非常事態宣言（ゴルバチョフとの面会）

第5429号 秘 大至急 [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW8453－01）

大臣 政務次官 官房長 儀典長 外務次官 審議官 審査官 審査長 外務次官 典房長

北大使 経大使 国大使 外大使 査察大使 総括審議官 博多代表

総合外交政策局 対人地雷担当大使 文化交流審議官 厚生労働審議官 情報通信審議官 オウム真理教対策本部長 警察庁長官 史上最悪の在外邦人被害者発生国担当大使

外務報道官 参事官 報道課長 国際情報第一課長 内閣情報調査室内閣情報官

文化交流部長 審議官 一 二

領事移住部長 参事官 政策課長 保健医療対策室長 旅券課長 外国人登録室長

アジア大洋州局長 審議官 地域政策課長 東南アジア第一課長 東南アジア第二課長 北東アジア課長 中国課長 モンゴル・北東アジア地域協力室長 大洋州課長 西南アジア課長 南西アジア課長

北米局長 審議官 一 二 日米安保条約課長 地位協定室長

中南米局長 参事官 一 二

欧亜局長 審議官 西欧第一課長 西欧第二課長 東欧課長 ロシア課長 ソ連邦室長 コーカサス・中央アジア課長

中近東アフリカ局長 参事官 一 二 アフリカ第一課長 アフリカ第二課長

経済局長 次長 総務参事官 経済協力課長 途上国経済協力室長 審議官 経済課長 国際経済第一課長 国際経済第二課長 国際エネルギー課長 国際経済第一課長 国際経済第二課長 安全保障室長

審議官 海洋室長 審議官 準備室長

経済協力局長 審議官 政策課長 国別開発協力第一課長 国別開発協力第二課長 無償資金協力課長 技術協力課長 有償資金協力課長 調査計画課長 開発協力企画官 開発協力調整官

条約局長 審議官 条約課長 国際協定課長 国際法規課長

国連局長 審議官 政治課長 経済課長 人権人道課長 軍縮課長 社会協力課長

科学審議官 科学原子力課長

情報調査局長 参事官 情報第一課長 情報第二課長 分析課長 調査企画課長 安全保障政策室長

秘

(三八〇字)

往電ヤ5418号に関し

21日1740、ロシア共和国最高会議(国際問題委員会(名称名乗らず))及び筆中央幸(国際部(コーシキン日本担当課員))に電話照会したところ概要以下のとおり。

1. ロシア共和国最高会議

(1) 8名のその後の生憎情報は未だなし。

(2) ララーエフ、ルツコイらロシア共和国代表団は既にクリミヤに到着しているとの。ゴルバチョフの正確な居場所、状況等については、ロシア共和国最高指導部のみが承知しているものと思う。

(3) ロシア共和国代表団とは別にルキヤノフ連邦最高会議議長がクリミヤに向った(官邸往電)し、またそれとは別にイワシコ共産党副書記長もクリミヤに行く由。

2. 筆中央幸(国際部)

(1) イワシコ副書記長がクリミヤに赴くと聞いている。

(2) 中央幸幹部の動向については承知していない。

(3) 常時(勤務時間中は)ラジオに耳を傾けるのみだ。これ以上質問しないでほしい。

電重商でん報告した

(了)

ファイル用

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写

[redacted] [redacted] 08－059

総番号	R１６６５７０		主管
	月 21日 [redacted]	ソ連発	欧ソ
平成 3年	8月 22日 [redacted]	本省着	

外務大臣殿　　枝村大使

ソ連非常事態宣言（や間外出禁止令の解除）

第５４３０号 大至急 [redacted]

往電第５４２９号に関し、

２１日１９時半のタスは、カリーニン・モスクワ市衛じゆ司令官が本２１日よりや間外出禁止令を解除することを決定した旨報じている。

東速、ナホトカ、レニングラードに転電した。（了）

外務省

大臣 政務次官 官房長 | 秘書官 審議官 審議官 | 儀典長
北大使 経大使 研大使 | 外務審議官 | 査察官 総括審議官 | 博物館 代表
総合外交政策局 | 対人地雷担当大使 | 文化交流審議官 | 厚生労働審議官 | 情報通信担当大使 | 在外邦人等保護対策室 | 儀典長
外務報道官 | 参事官 | 総務課 | 広報文化交流部 | 内政審議室 | 外務人事審議官
審議官 | 一等書記官
領事移住部 | 参事官 | 政策課 | 保健衛生対策室 | 旅券課 | 外務人事審議官
アジア大洋州局 | 参事官 | 地域政策課 | 日米地位協定室 | 東南アジア第一課 | 東南アジア第二課 | 北東アジア課 | 中国・モンゴル第一課 | 中国・モンゴル第二課
北米局長 | 審議官 | 日米地位協定室 | 北米第一課 | 北米第二課 | 地球規模課題審議官
中南米局長 | 参事官 | 中南米第一課 | 中南米第二課
欧州局長 | 審議官 | 欧州第一課 | 欧州第二課 | 西欧第一課 | 西欧第二課 | 中東欧課
中東アフリカ局長 | 参事官 | 中東第一課 | 中東第二課 | アフリカ第一課 | アフリカ第二課
経済局長 | 次長 | 総務課 | 経済連携課 | 国際経済第一課 | 国際経済第二課 | 途上国協力課 | 博覧会事務局
審議官 | 経済安全保障室 | 国際エネルギー課 | 国際経済第三課
審議官 | 海洋政策課 | 審議官 | 準備室
経済協力局長 | 審議官 | 政策課 | 開発協力企画室 | 無償資金協力課 | 技術協力課 | 有償資金協力課 | 地球環境室
参事官 | 調査企画課
条約局長 | 審議官 | 条約課 | 国際協定課
国際法局長 | 審議官 | 国際紛争処理課 | 経済条約室 | 国際人権人道課
参事官 | 社会協力室
科学審議官 | 原子力課
情報通信調査官 | 参事官 | 情報通信政策課 | 情報セキュリティ対策室 | 企画調整室 | 安全保障政策室

ファイル用

秘

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写

[redacted] [redacted] 08－059

総番号 R166579 主管

月 21日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 22日 [redacted] 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言（新聞記者とゴルバチョフの電話会談）

第５４３１号 秘 大至急 [redacted]

往電第５４２８号に関し、

２１日１９：４３、ロシア最高会議で取材中のラズモフスキー「ラトヴィアせい年」紙記者がサトウに電話連絡越したところ次の通り。聞き込みのままなるも取りあえず。

１８時ころ、「レニングラード・スメーナ」紙のラマッゼ記者がクリミアのソロスにライサ夫人、むすめ夫ふ、まごと共に滞在中のゴルバチョフ大統領と電話で会話を行つたところ概要次の通り。

「ゴ」より、国家非常事態委員会の活動は憲法違反の国家転ぷくであり、自分（「ゴ」）は近い時期（ＢＬＩＺＨＡＩＳＨＩＩ　ＶＲＥＭＹＡ）に帰バクし、今次政権転ぷくに参加した分子に関する大統領令を公布する所存である旨の発言があつた。「ゴ」は、自分の対話の相手はヤナエフ一味ではなく、シラエフ首相をはじめとするロシア政府の幹部である旨述べた。

東速、レニングラード、ナホトカに転電した。（了）

大臣 政務次官 事務次官 外審議官 外審典房 官長 秘書官 官長 審審議官 審長

北大使 米大使 経大使 欧大使 外研修 査察 総括 審議官 博士 代表

総合対策本部 厚生 情報 オウム 人権 警察 史料 在日米軍 儀典

外報官 参事官 総務 総務 内閣外政

文化 審一 二

領事移住 参政保対旅外

アジア 審地 日東 二 参北東西 一

北米 審一 二保地

中南米 参一二

欧州 審四ソ 洋 一 四課 二

国連 参一二 アフ 一 ア二

経済 次総経途博 二 審経漁国 一 一 経エ国 安ネ 二

審海 審準

経協 審政国開無 参調技有理

条約 審条協規

国際 審政経人 参軍社

科学 科原

情報調査 参情防衛 企画

ファイル用

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写 [redacted] [redacted] 08－014

大臣	政務次官
	事務次官
	外審議官
	外審典長
北大使	経大使
環境審議官	
外務審議官	
総括審議官	
博士	
代表	
総合外交政策局長	
文化交流・領事移住部長	
会計課長	
厚生課長	
情報通信課長	
在外公館警備対策室長	
外務報道官	参報際内外
大使（ ）	審一二
領事移住部長	参政保対旅外
アジア大洋州局長	審地中東一二
	参北東西一
北米局長	審一二保地
中南米局長	参一二
欧州局長	審西②洋一
	西東二
近大一	参一二アア一二
経済局長	次総経途博二
	審経漁国一一
	経エ国安ネ二
	審海 審準
経済協力局長	審政国開無
	参調技有理
条約局長	審条協規
国連局長	審政経人
	参軍社
科学審議官	科原
情報調査局長	参情④調
	企安

総番号 R166581 主管

月 21日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 22日 [redacted] 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言（個人に対する外貨はん売停止）

第５４３２号 大至急 [redacted]

２０日付タスは、個人に対する外貨はん売の停止について報じているところ、内容以下の通り。

本日、ソ連邦中央銀行（ゴスバンク）は、個人旅行に行く市民に外貨をはん売する認可のあるソ連の銀行は、その業務を８月２１日から一時的に停止する、と発表した。

海外に商品、サービスをはん売した企業、組織が外貨収入を本国に返かんする約束をり行しなかつたことにより生じた外貨ぐりの困難から決定した、と説明している。

（当館注）ソ連の外貨の規制に関する法律によれば、個人の外貨購入は、以下の通り認められている。

１．個人的理由（休か、旅行、海外居住親類訪問、親類のぼ参など）のため出国する市民は、１年に１度、総額２００米ドル相当まで認可銀行で外貨を購入できる。

２．海外にえい住するため移住する市民は、ソ連からの移住を証明する書類に基づき、１移住者あたり１００米ドル相当外貨を購入できる。

東速、レニングラード、ナホトカに転電した。（了）

外務省

ファイル上

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写 [redacted] [redacted] 08－051

総番号 R166588 主管

月 21日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 22日 [redacted] 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言（ロシアTV放えい）

第5433号 大至急 [redacted]

往電第5432号に関し、

21日19時現在、午後復活したロシアTVはバカーチンの演説等ロシア共和国最高会議の模様を録画放えい中である。同最高会議では、こう禁されたとの情報もあつたシャフナザーロフ大統領補さ官もとう場している。右取りあえず。（了）

大臣 政務次官 官房長 儀典長 外務審議官 外務審議官 官房長 官房総務審議官 官房総務審議官 官房総務審議官

22/02:44 [redacted] 5094 02/08 P01 R166589

ファイル用

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写

[redacted] [redacted] 08－051

総番号 R166589

主管 欧ソ

月 21日 [redacted] ソ連発

平成 3年 8月 22日 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言（ゴルバチョフとナザルバエフの電話会談）

第5434号 大至急 [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW8454－01）

大臣 政務次官 [redacted] 外務次官 [redacted] 儀典長 [redacted] 官房長 [redacted] 審議官 [redacted] 審議官 [redacted] 総務参事官 [redacted] 博物館長 [redacted] 北大使 [redacted] 経済局長 [redacted] 外務大臣官房審議官 [redacted] 査察室長 [redacted] 総括大使 [redacted] 博物館長 [redacted] 代表 [redacted] 総合外交政策局長 [redacted] 文化交流部長 [redacted] 対日審議官 [redacted] 厚生大臣官房審議官 [redacted] 情報調査官 [redacted] 警察庁長官 [redacted] 在外公館警備対策官 [redacted] 史料館長 [redacted]

外報官 参事官 [redacted] 国際情報局長 [redacted] 内閣外政審議室長

文化交流部 審議官 一 二

領事移住部 参事官 政策課長 保健医療対策室長 旅券課長 外国人登録室長

アジア局 審議官 地域政策課長 東南アジア第一課長 東南アジア第二課長 北東アジア課長 西南アジア課長

北米局 審議官 一 二 保健衛生対策室長 地球規模問題室長

中南米局 参事官 中南米第一課長

欧州局 審議官 西欧第一課長 ソ連邦課長 東欧第一課長 東欧第二課長 西欧第二課長

国連局 参事官 アジア第一課長 アジア第二課長

経済局 次長 総務課長 経済協力課長 国際経済第一課長 国際経済第二課長 漁業課長 国際経済第三課長 国際エネルギー課長 経済安全保障室長

審議官 海洋課長 審議官 準備室長

経済協力局 審議官 政策課長 開発第一課長 無償資金協力課長 技術協力課長 有償資金協力課長 調査計画課長 開発第二課長 開発第三課長 開発第四課長 開発第五課長

条約局 審議官 条約課長 国際協定課長 国際法規課長

国連局 審議官 政治課長 経済課長 人権人道課長 社会協力課長 軍縮課長 国連平和協力室長

科学審議官 科学原子力課長

情報調査局 参事官 情報第一課長 情報第二課長 調査企画課長 分析課長 安全保障課長

M18454 01

往電第[illegible]号に関し、

２１日１９時過ぎのロシア通信は、カザフ共和国議会筋の情報として、２１日夕刻、ナザルバエフ・カザフ大統領がゴルバチョフ大統領と電話で話し合った旨報じている。この際、ゴルバチョフは、「３０名のＫＧＢ係間の警備下にあるが、通信は復活された。国家転覆の主唱者たちはフォロス(注・クリミア)の別荘におり自分による引見を希望している。」旨述べた。ナザルバエフは、決して反乱者たちと交渉することなく、モスクワよりの代表団（シラーエフ、ルツコィ、バカーチン等）を待つよう要請した。

東速高デ公館に転電した。

（了）

ファイル用

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写 [redacted] [redacted] 08－059

総番号 R166590 主管

月 21日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 22日 [redacted] 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言（非常事態国家委員会に対するけい事告発）

第５４３５号 大至急 [redacted]

往電第５４３４号に関し、

２１日２０時前のタスは、以下の通り連邦検事総局の発表を報じている。

「不法に創設された非常事態国家委員会の活動における犯罪との関連で、連邦検事総長によりけい事告発が行われた。そう査官のグループにそう査が委任された。」

東速高デ公館に転電した。（了）

大臣 政務次官 秘書官 儀典長 官房長

北大使 経大使 国大使 ア大使 察大使 総括審議官 博審議官 代表

総合対策官 文化交流審議官 厚生審議官 情報調査官 オウム対策審議官

外報官 参事官 総務参事官 内閣外政審議官

審議官 一 二

領事移住 参事官 政策保健審議官 対日審査室長 旅券審査室長 外国人登録室長

アジア大洋州 地域政策課長 日本語教育官 東南アジア一 東南アジア二 西南アジア

参事官 北東アジア課長

北米 審議官 一 二 保健医療対策室長

中南米 参事官 一 二

欧州 審議官 西欧 ソ連 洋上救急室長 東欧 一 二

国連 参事官 一 二 アジア ア二

経済 次長 総括 経済 途上国 一 二 審議官 経済 漁業 一 二 経済 エネルギー 安全保障 二

審議官 海洋 審議官 準備

経済協力 審議官 政策 国際開発 無償資金協力 参事官 調査 技術協力 有償資金協力

条約 審議官 条約 協定 規則

国際 審議官 政治 経済人 権 参事官 軍縮 社会

科学 審議官 科学原子力

情報 調査 参事官 情報 通信 衛星 企画 安全保障

外務省

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

秘

電信写 [redacted] [redacted] 687-059ル用

総番号 R166615 主管

平成 3年 8月 22日 月 21日 [redacted] ソ連発 本省着 欧ソ

外務大臣殿 枝村大使

5年保存
欧ソファイル
No.

ソ連内政（ルキン委員長内話）

第5436号 秘 大至急 [redacted]

２１日２０時本使はルキン・ロシア共和国最高会議国際関係委員長と短時間電話で話し合つたところ、先方の述べたところ、次の通り。

ルツコイ副大統領、シラーエフ首相のほか、ルキャノフ最高会議議長、イワシコ共産党副書記長、プリマコフ安全保障会議議員、バカーチン全内相も現在クリミアに集まつている。ゴルバチョフ大統領がクリミアを出発したとの報告は、まだ受けていないが、今やあるいは明朝早くモスクワに帰かんすることは間違いない。ルツコイ、シラーエフ一行と同乗して帰バクするか否かは承知しない。「国家非常事態委員会」のメンバーは犯罪人であり、少なくとも自由の身でモスクワに帰つて来る事はないであろう。

東速、ナホトカ、レニングラードに転電した。（了）

外務省

大臣官房 政務次官 儀典長 外務審議官 内閣参事官 内閣情報調査室 総合外交政策局 外務報道官 総括審議官 在外公館警備対策官 在外公館医務官 在外公館派遣員 在外公館派遣員 在外公館派遣員

注意
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用
０８－０５１

電信写

[redacted]

総番号　R１６６６４２　　主管

月　２１日 [redacted]　ソ連発　欧ソ

平成　３年　８月　２２日 [redacted]　本省着

外務大臣殿　　枝村大使

ソ連非常事態宣言（バカーチン演説・タス報道）

第５４３７号　至急（ゆう先処理） [redacted]

（以下ＦＡＸ送信　ＭＷ８４５５－０２）

外務省

MN8455 01

(三八〇字)

在電第5436号に関し、

21日14:45、ロシア共和国最高会議でのバカーチンの演説につきタスが報じているところ、内容以下の通り。

非常事態国家委員会（以下、委員会）による"国内の無法状態"に関する非難演説を本日、ロシア共和国最高会議にて、ソ連安全保障委員会委員バカーチンが行なった。

「バ」は、委員会メンバーが巨大な責任を背負い、国民にとって大きな危機状態を生みだした。我々はこの無法状態と戦わねばならない旨述べた。

「バ」は本日の主要課題は、流血の危険を増大させず、無法状態との戦いを遂行することであると考えている。このため、「バ」はロシア共和国最高会議に、市内から装甲車等を撤去することを提案した。また、「バ」は国防省に対し既にこのような決定を行なったという情報がある旨述べた。

(三八〇字)

ゴルバチョフの健康状態と所在については、「バ」は、少なくとも日曜日には健康であった。大統領はクリミアで孤立させられている旨述べた。さらに、右状態は非合法である旨付加えた。

「バ」は、エリツィン・ロシア共和国大統領の~~[illegible]~~ロシア共和国幹部の代表団をゴルバチョフ捜索のため送り、モスクワに送り届けるというイニシアチブを支持する。

「バ」は、彼の言葉によれば、この無法状態を法的に正当化しようと懸命に準備している連邦の人民代議員をロシア共和国最高会議に招く、よう同時に提案した。右代議員達は、~~[illegible]~~ロシア共和国議会と国家の状態に関する真実の情報を得るであろう旨述べた。

(3)

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用

電信写

[redacted] [redacted] 08－051

総番号 R166668 主管

月 21日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 22日 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連の非常事態宣言（キルギス共和国大統領声明：本使との電話会談）

第5438号 至急（ゆう先処理） [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW8456－02）

大臣	政務次官 事務次官 儀典長 官房長
北大使	経済大使 外務審議官 査察大使 総括審議官 博多代表
総合対策本部	文化交流審議官 厚生審議官 情報調査官
警察庁	人事課長 在外公館警備対策官
外務報道官	参事官 総務課長 総務参事官 内閣外政審議室長
文化交流部長	審議官 一等書記官 二等書記官
領事移住部長	参事官 政策課長 保健衛生審議官 対策室長 旅券課長 外国人課長
アジア大洋州局長	審議官 地域政策課長 日米地位協定室長 東南アジア第一課長 東南アジア第二課長 参事官 北東アジア課長 中国課長 西大洋州課長
北米局長	審議官 日米安保課 地位協定室 北米第一課長 北米第二課長
中南米局長	参事官 中南米第一課長 中南米第二課長
欧亜局長	審議官 欧州第一課長 欧州第二課長 西欧課長 東欧課長 ロシア課長
参事官	参事官 ロシア第一課長 ロシア第二課長
経済局長	次長 総務参事官 経済課長 途上国経済協力課長 審議官 経済安全保障課長 国際経済第一課長 国際経済第二課長
	審議官 海洋課長 審議官 準備室長
経済協力局長	審議官 政策課長 国別開発協力第一課長 無償資金協力課長 参事官 調査企画課長 技術協力課長 有償資金協力課長
条約局長	審議官 条約課長 国際協定課長
国連局長	審議官 政治課長 経済課長 人権人道課長 参事官 軍縮課長 社会協力課長
科学審議官	科学原子力課長
情報調査局長	参事官 情報管理室長 分析課長 調査企画課長 国際情報官 企画室長 安全保障政策室長

MM0750 01

(三八〇字)

1. 21日午前、キルギスタン共和国大統領府より当館に対し今次非常事態宣言を反憲法的クーデターであると非難するアカーエフ同共和国大統領の声明をFAX送付越した。(別FAX信参照。)

2. 同日午後、本使は当館に電話越したアカーエフ大統領と短時間電話会談したところ概要以下のとおり。

(1) まず本使より、大統領声明の趣旨に対し諒解の意を表明した上で本使として当該声明の内容と同意である旨述べ(1)日本政府としては海部総理が述べておられるように今回のごとき事態は憲法違反の疑いがあると言わざるを得ず、(2)かかる事態はペレストロイカの正しい方向性に逆行するものである点につき深い憂慮の念を表明するものである旨述べた。

(2) これに対しアカーエフ大統領は日本政府の理解とかかる困難な時期にモラルサポートをいただいたことに対し謝意を表するとともに、キルギスタン政府と日本政府の立場が同一であることを喜ばしく思う旨述べた。

(3) 本使より、モスクワでは導入された軍隊が撤退しつつある他、ヤナエフ大統領代行をはじめ国家非常事態委員会のメンバーもクリミアに向いゴルバチョフ大統領と会見するとの情

MMS#56 02

(三八〇字)

が、貴大統領の判断如何と質問し

越えあり、事態は収拾の方向に向っているとする旨述べ

たのに対し、「ア」大統領は（黄色の塗られたような）情報には初めて接するもの

のであり、キルギス側としてはもっと事態は悪化すると見て

いたが、国家非常事態委員会は非合法であるとの点でロシア、

カザフ、ウクライナ等の主要国と見解が一致しており民主勢力が

全体

勝利しつつあることを喜ばしく思う旨述べた。

（願わくば）

(4) よって主使より、自分も民主勢力の勝利を確信（している）が、

貴大統領が貴主要国において努力を重ねて進められている

ペレストロイカを支持（す）るが如き状況が続くことを希望する

旨述べたのに対し、先方は民主勢力の勝利は国際社会

にも大きな貢献を果すものであり、この点で日本がこれを支持

してくれているのは喜ばしい旨述べた。

別FAX信をもって東京高官会談の結果を報告した。 (3)

ファイル用

ＦＡＸ信

総 番 号　R1 6 6 6 7 1　　主 管

月 21日 [redacted]　ソ 連 発　欧 ソ

平成 3年 8月 22日 [redacted]　本 省 着

外 務 大 臣 殿　　枝 村 大 使

ソ連の非常事態宣言（キルギス共和国大統領声明）

ＦＡＸ信 至急（ゆう先処理） [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW8457－03）

往電第 5438 号別FAX信 MW8457 01

overnment of KIRGIZ TEL No.3312218627 Aug.21,91 8:39 P.01

キルギスタン共和国大統領声明

ЗАЯВЛЕНИЕ ПРЕЗИДЕНТА РЕСПУБЛИКИ КИРГИЗСТАН

今回の出来事は、疑いなく、反憲法的国家転覆。反動的政治勢力が、力の座についた。

今回の国家転覆は、全国民的で、国モカタストロフに等しいもの

ロシアを含む共和国の合法的に選挙された国家権力に対して軍が投入されるという最悪の事態になった

ノ、リヤターは、共和国崩壊が、不可能と思われたことをなしとげた時に起こった。我々は、経済危機脱出の安全の道を見つけた。

クーデター遂行者は、(狙う)失いつつある国家権力と全体主義的体制を維持しようという欲求に動かされた。

Дорогие друзья, товарищи, граждане Республики Киргизстан!

События последних двух дней не оставляют сомнения в том, что 19 августа 1991 года в стране произошел антиконституционный переворот. Как теперь стало очевидным, к власти, пришли представители реакционных политических сил, опирающихся на военно-промышленный комплекс, армию, органы государственной безопасности и органы внутренних дел, подчиненные центру.

Этот государственный переворот, совершенный под предлогом спасения народа, в действительности направлен против народа и может привести нашу страну, все республики к катастрофе.

Случилось самое худшее из того, что можно было предположить: против законно избранной государственной власти ряда союзных республик, в том числе великой России, брошены Вооруженные силы. Народ, который пытается защитить свои демократические завоевания, хотят раздавить танками. Таковы факты, такова горькая и страшная реальность.

Я хочу со всей ответственностью заявить, что переворот произошел тогда, когда руководители республик сделали, казалось бы, невозможное. Нам удалось найти пути совместного выхода из экономического кризиса, определить совместные меры стабилизации экономики и улучшения социального положения наших граждан. Теперь очевидно, что люди совершившие государственный переворот, были движимы одним: стремлением сохранить ускользающую от них государственную власть и тоталитарный режим.

MW8457 02

...iment of KIRGIZ TEL No.3312218627 Aug.21,91 8:40 P.02

キルギスの進歩的勢力は軍・党クーデターを非難した。例外は、共和国共産党中央委の指導部。彼らは民主主義と憲法に反対する日和見主義者。

Прогрессивные общественные силы Республики Кыргызстан выступили с осуждением военно-партийного путча. Исключение составило руководство ЦК Компартии Республики. Выступив против демократии и конституции, они показали себя политическими конъюнктурщиками, способными поступиться интересами своего народа во имя корыстных, эгоистических, политических амбиций.

Дорогие товарищи, граждане Республики Кыргызстан!

この主権、民主的[illegible]成果、正常な人間的生活が危険にさらされている。

無実の人の流血（軍による）同胞殺傷の問題である。

Смертельная опасность нависла не только над нашим суверенитетом, над нашими демократическими достижениями, над всем тем, что нам уже удалось сделать по налаживанию нормальной человеческой жизни. Речь идет о том, что на улицах наших городов и сел, может пролиться кровь ни в чем неповинных людей, что наши дети, одетые в солдатскую форму, будут стрелять в своих отцов и братьев, матерей и сестер.

正当な情勢の緊張のため、[illegible]共和国最高会議臨時会期の招集を要求。

Это обязывает меня потребовать созыва внеочередной чрезвычайной сессии Верховного Совета Республики для обсуждения сложившегося политического положения.

エリツィンとナザルバーエフを完全に支持。このことをロシア及びカザフとの条約、良心、名誉が我々に要求している。

Как Президент республики, я заявляю о своей полной поддержке позиции Президента России Бориса Николаевича Ельцина и Президента Казахстана Нурсултана Абишевича Назарбаева. Я это делаю не только потому, что являюсь их единомышленником. Этого требуют Договоры о дружбе и сотрудничестве, заключенные нашей республикой с Россией и Казахстаном, этого требует наша совесть и наша честь.

ルキヤノフに、ソ連人民代議員大会臨時会期を招集するよう要求。

От имени народа республики я обращаюсь к Председателю Верховного Совета СССР Анатолию Ивановичу Лукьянову с требованием созвать внеочередной съезд народных депутатов СССР, который дол-

MW8457 03

そこで、ソ連邦人民代議員及びこれに代わる次の選挙、大統領の全国民選挙、クーデター実行者の責任、の問題が決定されなければならない。

жен решить вопрос о судьбе народных депутатов СССР, который должен решить вопрос о судьбе Президента Михаила Сергеевича Горбачева, о всенародных выборах Президента страны и об ответственности лиц, грубо поправших Конституцию СССР и совершивших государственный переворот.

国連及び国連事務局長に代表される国際社会に、以下を訴える。

Как глава суверенного государства, я обращаюсь к мировому сообществу в лице Организации Объединенных Наций, Генеральному секретарю ООН Пересу де Куальяру со следующим заявлением.

我々は小さな国で、軍もないが、我々は主権と自由を守る。しかし、我々には戦車や飛行機で武装した軍に対抗する可能性はない。国際社会は、我々の自由が踏みにじられ、合法的に選挙された国家権力が転覆されるのを冷静に眺めていられるだろうか、

Мы небольшое государство, у нас нет армии, но мы будем защищать свой суверенитет, свою свободу. Однако у нас нет никаких шансов противостоять армии, вооруженной танками и самолетами. Неужели вы сможете спокойно наблюдать за тем, как будет растоптана наша свобода и свергнута законно избранная государственная власть.

全ての国の市民たち！

国民の前の我々の良心は晴れている。あなた方の支持を期待する。全ての国の市民の合意及び統一のみが、大きな悲劇の回避を可能にする。

Граждане республики!

Моя совесть перед народом чиста. Я рассчитываю на вашу поддержку. Только согласие и единство всех граждан республики: киргизов и русских, узбеков и украинцев, людей всех других национальностей позволит нам избежать великой беды.

Президент Республики Кыргызстан А.АКАЕВ

г.Бишкек, 21 августа 1991 г.

注意
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用

08－051

電信写

[redacted]

[redacted]

総番号	R166672		主管
	月 21日	[redacted] ソ連発	欧ソ
平成 3年	8月 22日	本省着	

外務大臣殿　　枝村大使

ソ連非常事態宣言（エリツイン演説）

第5439号　秘　至急（ゆう先処理）　[redacted]

（以下ＦＡＸ送信　MW8458－03）

大臣	政秘官(官房長)(外務次官)(儀典長)(官房)(大使)(外務)(次官)(審議官)(審議官)(審議

秘

往電第5437号に関し、

２１日１３：３０のタスは、ロシア最高会議臨時会期におけるエリツィン大統領演説を報じているところ以下の通り。（番号は当館にて付した。）

１．わが国は、劇的あるいは悲劇的であるかもしれない歴史の瞬間を潜る抜けようとしている。かかる事例は過去にも幾度もなくあり、民主化が加速されたように見えた時期にさえ起きたことがある。右翼勢力はかかる政変を幾度も遂行しようと試み、遂にこれを実行した。一回目は、本年初めに試みられたが、シェヴァルナッゼ前外相による独裁が近付いている旨の表明があり、ロシア、ソ連、更に世界の世論が右に続いたおかげで挫折に終った。二回目の失敗した企ては、ソ連最高会議会期中に起こり、パヴロフ、クリュチュコフ、ヤゾフが特別の権限を獲得し、ソ連大統領の権限を弱め、ゴルバチョフを権力の座から排除するのに成功しそうな時期があった。

２．国家非常事態委員会の活動の連憲制は、「ゴ」による文書、電話、テレビのいずれによっても何等の表明も行なわれていないという事実によっても証明される。ソ連及び国際機関の医療専門家のいずれも「ゴ」が活動不能であることを裏付ける医療診断を行なっていない。１９日に「ゴ」と会った主治医によれば、「ゴ」は健康であり、軽いギックリ腰も「ゴ」の活動不能を物語るものではない旨述べた。

３．自分（「エ」）はロシア領域に配備された軍事力を掌握した。多くの軍管区、師団、就中、トマンスカヤ、カンテミロフスカヤ師団、更に空挺部隊がロシア側につき、ロシア大統領の指揮命令を遂行している。トゥルスカヤ空挺師団は最高会議建物を攻撃するどころか、逆に建物を

秘

擁護した。従って、ロシア指導部、大統領、首相を孤立させる試みは失敗した。

4．モスクワ、レニングラードに外出禁止令が実施されたのに従い、自分（「エ」）はモスクワ、レニングラードの司令官を解任し、それぞれ〔ソヴィエト及び市長の指揮に従う人物を新たに任命した。ロシア国防相にコペツ大将を任命した。ロシアの企業活動に関する大統領令、ロシア経済主権保障に関する大統領令に署名した。ロシア共和国の経済主権保障に関する大統領令が署名されたことに伴い、ロシア領域内の全ての資産はロシアの管轄下に入る。

5．ロシア外相を国連に派遣し、デクエヤル国連事務総長に対し、国内における憲法違反の出来事の全てと、ロシアの対応につき報告せしめる。米、仏、チェコスロヴァキア、ブルガリアの最高指導者、サッチャー前英首相、連邦構成共和国の指導者から電報を受領した。右電報では、憲法違反の政変、国家非常事態委員会の行動を非難し、委員会のいかなる決定も認めず、ロシア指導部の行動を支持し、今後も国際社会がロシアの行動を支持する措置を採る旨述べられている。

6．ヤナエフとクリュチコフと電話で会話したところ、両名は自己の行動を合憲であると正当化を試みたが、右は事実に反する。本２１日未明、「ク」は最高会議に対する包囲、襲撃を中止した。「ク」は自分（「エ」）に対して、一緒にクリミアへ赴き、「ゴ」大統領を引率することを提案した。

7．ロシア指導部は危機に陥っておらず、行き詰まってもいない。精力的に活動を展開している。

秘

東速高デ公館に転電し、ナホトカ、レニングラードに転報した。

（了）

注意
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用

電信写

[redacted] [redacted] 08－059

総番号	R１６６６９１
平成 3年 8月 22日	[redacted]
月 21日	[redacted]

主管 欧 ソ

ソ連発
本省着

外務大臣殿

枝村大使

ソ連内政（ゴルバチョフ声明）

第５４４０号 大至急 [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 ＭＷ８４５９－０１）

大臣 政務次官 官房長 審議官 審議官 典礼長
北大使 経済大使 外務大臣 査察大使 総括審議官 博士 代表
総合外交政策局長 対ロシア担当大使 文化交流・在外同胞担当審議官 厚生労働審議官 情報調査官 オウム真理教対策担当大使 警察庁長官 史上最悪の邦人テロ事件担当大使
外報官 参事官 総務参事官 内外
文化交流・在外同胞担当審議官 審議官 一 二
総合外交政策局 参事官 政策企画室 保対室 旅券課 外務報道官
アジア大洋州局長 審議官 地域政策課 日朝国交正常化担当大使 東南アジア第一課 東南アジア第二課 北東アジア課 西大洋州課
北米局長 審議官 日米安保条約課 地位協定室 二国間条約課 沖縄振興室
中南米局長 参事官 一 二
欧州局長 審議官 西欧第一課 ソ連邦課 東欧第一課 東欧第二課
中近東アフリカ局長 参事官 一 二 アフリカ第一課 アフリカ第二課
経済局長 次長 総務課 経済連携課 途上国経済協力課 博士 国際経済課 漁業室 国際エネルギー課 経済安全保障室 二
審議官 海洋政策担当大使 審議官 準備室
経済協力局長 審議官 政策課 開発計画課 無償資金協力課 技術協力課 有償資金協力課 調査企画課 参事官
条約局長 審議官 条約課 国際協力課 国際法規課
国際法局長 審議官 国際紛争処理課 経済条約課 人権人道課
国際社会協力部長 参事官 社会協力課
科学審議官 科学原子力政策課
情報調査局長 参事官 情報第一課 情報第二課 分析課 調査企画課 欧亜情報課

往電第5439号に関し、

２１日夜のタスは、ゴルバチョフ大統領の声明を報じているところ、概要以下のとおり（なお、本声明はニュース番組「ヴレーミャ」の冒頭アナウンサーにより読み上げられた）。

ゴルバチョフ大統領は完全に状況を掌握している。政治家グループの冒険主義的行動の結果断絶されていた連絡も復活した。大統領は明日にも職務の執行に取りかかる。

ゴルバチョフは、エリツィン・ロシア共和国大統領、ナザルバエフ・カザフ共和国大統領、カリーモフ・ウズベク共和国大統領、デメンチェイ白ロシア共和国大統領と電話で会談した。皆全て民主勢力の断固たる行動の結果挫折させられた反国家的転覆の試みを非難した。

冒険主義者たちが、その反法的行動に対する全面的責任を負うことについての確信が表明された。ゴルバチョフは、モイセーエフ参謀総長に対し、全ての軍を駐屯地に戻すこと、今後は大統領の命令のみを遂行することを指示した。

本日ゴルバチョフは、ブッシュ米国大統領と電話で会談した。ブッシュ大統領は、グループの反憲法的行動の結果生じた非常に危険な状況が阻止されたことに深い満足の意を表明した。ゴルバチョフ大統領は、社会、人民がこの冒険を拒絶したことを強調した。ソ連においては民主的諸改革の過程で生まれた質的に新たなプロセスが継続される。両大統領は、恒常的な接触を維持し、これまでに達成されている合意に従い全ての方向における協力を継続することに合意した。

東速高デ公館に転電した。

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検関班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用

電信写

[redacted] [redacted] 08－027

総番号	R１６６６９４		主管
	月 21日 [redacted]	ソ連発	欧ソ
平成 3年	8月 22日 [redacted]	本省着	

外務大臣殿　　枝村大使

ソ連非常事態宣言（ロシア共産党情勢）

第５４４１号 秘 大至急 [redacted]

往電第５４４０号に関し、

２１日２０：３０ごろより、サトウが再三ロシア共産党関係者に電話照会を試みているが、当直電話を含め、一切応答がない。２２：３０、サトウがロシア共産党中央委員会建物を視認したところ、４階の数室（第一書記執務室付近）を除き、明かりが消えており、入口付近には私服のＫＧＢ職員らしき者が建物に出入りする者をすい何していた。何ら御参考まで。

レニングラード、ナホトカに転電した。（了）

大臣 政務次官 事務次官 外審議官 外務審議官 儀典長 官房長
北米大使 経済大使 環境大使 外務審議官 査察大使 総括大使 博物館 代表
総合外交政策局 対口審議官 文化交流・在外邦人安全課 厚生労働審議官 情報通信課 警察庁 在外公館警備対策官 史料
外報官 参報官 総内外
文化交流・在外邦人安全課 審一二
領事移住部長 参政保対旅外
審地 田東 二
参北東西 一
北米局長 審日二保地
中南米局長 参一二
欧州局 審西ソ洋 二
西課 二
近東アフリカ局 参一二アア 一二
経済局長 次総経途博 二
審経漁国 一一
経エ国 安ネ二
審海 審準
経済協力局長 審政国開無
参調技有理
条約局長 審条協規
国連政策課長 審政経人
参軍社
科学審議官 科原
情報調査官 参情報調
企安

極秘第313号

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検関班（内線２１７１～２１７４）
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

パル用

極秘

電信写

[redacted] [redacted] 04－046

大臣	政務次官	軍事秘書官	外務審議官	儀典長
北大使	経済大使	国連大使	外務審議官	査察大使	総括大使	博覧会代表
総合対策本部	文化交流審議官	厚生審議官	情報調査官
総務審議官	人権人道審議官	在外邦人保護審議官	儀典長	警備局長

外務報道官	参事官 総合外交政策局 内閣外政審議室
文化交流部長	審議官 一 二
領事移住部長	参事官 政策企画室 保健衛生対策室 旅券課 外務人事審議官
アジア大洋州局	審議官 地域政策課 日米地位協定室 東南アジア第一課 東南アジア第二課
参事官 北東アジア課	西欧課
北米局長	審議官 一 二 保健衛生対策室 地球規模問題課
中南米局長	参事官 一 二
欧亜局長	審議官 西欧第一課 ソ連邦 西欧第二課 東欧課
参事官 一 二	アジア大洋州局 一 二
総合外交政策局長	次長 総合外交政策局 経済局 国際経済課 経済協力局 国際経済課 エネルギー安全保障室 国連局
	審議官 海洋室	審議官 準備室
経済協力局長	審議官 政策課 国別開発協力第一課 無償資金協力課
参事官 調査企画課 技術協力課 有償資金協力課
条約局長	審議官 条約課 国際協定課
国連局長	審議官 政治課 経済課 人権人道課
参事官 軍縮課 国連社会経済課
科学審議官	科学原子力課
情報調査官	参事官 情報第一課 情報第二課 調査企画課
国際情報統括官組織	企画分析課

総合番号 R166706 主管

平成 3年 8月 22日 月 21日 [redacted] ソ連発 本省着 欧 ソ

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言（「ペ」外相の動向）

第５４４２号 極秘 至急（ゆう先処理） [redacted]

１．２１日午後、貴大臣とベススメルトヌイフ外相との電話会談アレンジのため大島がソ連外務省ソ日関係部クリフツオフ部長に「ペ」大臣の都合を照会したところ、おり返し秘書官に確認した結果として、「ペ」大臣は休か中であり、病気でもある。２－３日後にし事にもどると思われると回答越した。

２．他方、２１日夕刻「ペ」外相は記者会見し、今次クーデターそう動の際の外務省の役割等につき述べた。

３．別途２１日、当地米大ダヴニー書記官は大島に対し、「ペ」外相は「非常事態委員会」へ支持こそ表明しなかつたものの、大統領安全保障会議メンバーがこぞつて非難を公けにした際、これに加わつていない点が目立つていたところ、今後の去就が注目される旨内話した。

米、英、独、仏に転電した。（了）

ファイル用

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写

[redacted] [redacted] 08-051

総番号	R166724
月日	22日 [redacted]
平成 3年 8月 22日	

ソ連発
本省着

主管 欧 ソ

外務大臣殿

枝村大使

ソ連内政（憲法監視委決定）

第５４４４号 至急（ゆう先処理） [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW８４６０－０２）

大臣 政務次官 官房長 外務審議官 外務審議官 典務課長
北大使 経済大使 外務大臣官房審議官 総合外交政策局審議官 博士
領事移住部長 総合外交政策局人権人道課長 対日経済調整担当大使 文化交流部長 厚生労働審議官 情報調査官
警察庁長官 内閣官房内閣情報官 在外公館警備対策官 史
外務報道官 参事官 総合外交政策局参事官 内閣官房副長官補 内外
文化交流部長 審議官 一 二
領事移住部長 参事官 政策評価室長 対日経済調整担当大使 旅券課長 外
アジア大洋州局長 審議官 地球規模課題審議官 東 二
参事官 北東 西 一
北米局長 審議官 一 二 保地
中南米局長 参事官 一 二
欧州局長 審議官 西欧 ソ連 洋 一
西欧 二
アフリカ局長 参事官 一 アフリカ 二
中近東アフリカ局長 次官 総括 経済 途博 二
審議官 経済 漁業 国際 一 一
経済 エネ 国際 安保 二
審議官 海洋 審議官 準
経済協力局長 審議官 政策 国際 開発 無
参事官 調整 技術 有理
条約局長 審議官 条約 協定 規
国際法局長 審議官 政策 経済 人
参事官 軍縮 社
科学審議官 科学 原
情報調査局長 参事官 情報 分析 調
企画 安全

(二八〇字)

往電第5442号に関し、

21日、タスが憲法監視委員会の決定につき報じているところ、決定内容以下の通り。

~~[redacted]~~ 18日付のソ連邦大統領(ゴルバチョフ副大統領)職務執行開始に関する命令、同日採択されたソ連邦内諸都市への非常事態導入、非常事態委員会の創設及びソ連邦全土におけるあらゆる権力諸機関、公務員及び市民に拘束力を持つ決定を出す権利の同人への賦与を内容とする"ソ連邦緊急事態の声明"並びに、非常事態委員会による諸決定を調査したところ、憲法監視委員会は、上述の規定はソ連邦憲法体制、特にソ連邦憲法第2、4、6、7、91、108、113条、127条の3第15項、127条の6(Am. 127条の3)、ソ連邦における国家権力実現の秩序、同様にソ連邦市民の基本的権利と自由に直接抵触するものであることを宣言する。右はソ連邦憲法第127条及びソ連における憲法監視に関する法律に則り、憲法監視委員会に国家機関及び社会団体の規定が憲法に一致するよう保障し、中

(三八〇字)

民の憲法上の権利と自由及びソ連社会の民主的基盤を守り、上述の規則に公式的法的評価を~~受けさせる~~(与える)義務を負わせていることと関連する。

憲法監視委員会は以下のように決定した。

1. 自らのイニシアチブに則り、18日付のソ連邦大統領全権の副大統領への移譲、連邦内諸地域における非常事態の導入、非常事態国家委員会の創設、同委員会の全権に関する諸規定並びに同委員会により出された規定を審議する。

2. 国内で生じた状況の特別な性質を考慮し、出来る限り短時間で本件問題を審議する必要があると考える。

憲法監視委員会議長 アレクセイエフ S.

(3)

ファイル用

注意
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写

[redacted] [redacted] 08－051

総番号 R166729

主管 欧ソ

[redacted]月22日 ソ連発

平成3年 8月22日 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連内政（連邦最高会議幹部会の決定）

第5445号 大至急 [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW8461－01）

大臣 政務次官 官房儀典 官房総務 官房会計 官房秘書 官房長

北大使 経大使 園大使 外大研 査察 総括審議官 博大使 代表

総合 ロ対 文化 会議 厚生 情報 オ在 警察庁 史人 国在

外報官 参総 参総 内外

文化 審一二

領移 参政保対旅外

アジ長 審地 甲東二 参北東西一

北米長 審一二保地

中南長 参一二

欧亜長 審西二 ソ洋 西東二

近ア長 参一二 アア一二

経長 次総経途博二 審経漁国一一 経エ安国ネ二

審海 審準

経協長 審政国開無 参調技有理

条約長 審条協規

国連長 審政経人 参軍社

科学審 科原

情調長 参情報調 企安

外務省

往電第5444号に関し、

２１日夜のタスは、同日ラプチェフ連邦会議議長及びニシャーノフ民族会議議長の主宰で開催された連邦最高会議幹部会において採択された決定を報じているところ、以下のとおり（なお、ルキヤーノフ最高会議議長はクリミヤに向かったため欠席）。

１．ゴルバチョフ大統領の憲法上の職務からの事実上の解任とその職務の副大統領への委譲を不法と見做す。

２．ヤナーエフ副大統領に対し、副大統領令（複数）及びそれに基づく非常事態に関する諸決定を、法的にその発布の時点から無効なものとして、遅滞ない取り消しを要求する。

３．連邦憲法違反を犯した公務員の責任追及に関する問題の決定の為の委員会の設置に関する提案を連邦最高会議臨時会期の審議に付する。

（了）

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用

電信写

[redacted] [redacted] 08－027

大臣	政務次官
大使	事務次官
在ロ大使	外務審議官
北大使	経済局長
米大使	環境庁審議官
韓大使	外務審議官
中大使	総合外交政策局長
総領事	博報大使
対ロ経済協力担当大使	文化交流審議官
在ロ日本国大使館	厚生大臣官房審議官
警察庁	情報調査局長
外務報道官	参事官（報道担当）
文化交流部長	審議官（一）
国際社会協力部長	参事官（政策調整担当）
地球規模問題課長	審議官（地球環境担当）
北米局長	審議官（日米安保担当）
中南米局長	参事官（一）
欧亜局長	審議官（西欧担当）
	審議官（欧亜担当）
	参事官（一）
	参事官（アジア担当）
	参事官（アジア担当）
経済局長	次席国際経済紛争処理審議官
	審議官（経済協力担当）
	審議官（漁業担当）
	参事官（一）
	経済協力開発機構日本政府代表部大使
	審議官（エネルギー担当）
	審議官（国際機関担当）
	審議官（海洋担当）
	審議官（準備）
経済協力局長	審議官（政策調整担当）
	参事官（開発協力担当）
	参事官（無償資金協力担当）
	参事官（調査・技術協力担当）
条約局長	審議官（条約担当）
	参事官（条約規則担当）
国際法局長	審議官（経済担当）
	参事官（軍縮担当）
科学審議官	科学原子力参事官
情報調査局長	参事官（情報管理担当）
	参事官（情報分析担当）
	参事官（調査企画担当）

総番号 R166730 主管 欧ソ

[redacted] 月 22日 ソ連発

平成 3年 8月 22日 [redacted] 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連内政（クナッゼ・ロシア共和国外務次官の記者会見）

第5446号 大至急 [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW8462－02）

２１日２０時、ロシア共和国政府建物にてクナッゼ・ロシア共和国外務次官が記者会見を行ったところ興味ある点以下の通り。

１．我々ロシア共和国政府は、今般のクーデターは好ましい形で収拾しつつあると考えている。全般的な傾向として、ロシア共和国側に有利に事態が展開しているといえよう。今回のクーデター騒ぎではロシア共和国政府及び法に従って正当な形で選ばれたエリツィン大統領は、主権共和国からなるソ連邦を今回の非合法な政権奪取という試みから守る力となり得た。まさにロシア共和国のみがそれをなし得たのである。我々は今後もソ連国内の政治及び経済の改革のプロセスの中で、ロシア共和国が要となる役割を果たすことを期待する。

２．約２時間前（１８時）に「エ」はゴルバチョフ大統領と電話で話し合った。「ゴ」の健康状態は良好との事である。話し合いの内容に関してはこの場で言及する訳にはいかないが、「ゴ」大統領は現在ルキャノフ・連邦最高会議議長、シラーエフ・ロシア共和国最高会議議長と既にクリミアで会っていると思われ、その後モスクワに向かう事となる。

３．「エ」はクリミアでの「ゴ」の安全を確保するために本日黒海艦隊司令官に連絡し、「ゴ」がモスクワを発つまでは身辺を保護するように要請したところ、先方はこれを了承している。

４．夜間外出禁止令が既に解除されているが、我々はこれを歓迎している。もしも今晩右禁止令が敷かれたとしても、また何らかの試みがなされようとしても、それは十分な成果を納めなかったであろうと確信している。但

し右禁止令の解除を受けてすぐに、建物を囲んでいるバリケードを撤去し、守備隊を解散する訳ではない。かかる処置を行うのは、市内中心部から軍隊が完全に撤退し、安全が確認されてから後に行う事となろう。

東速・高デに転電した。

（了）

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検関班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用

電信写

[redacted] [redacted] 08－051

総番号 R166763 主管

平成 3年 8月 22日 [redacted] 月 22日 ソ連発 欧ソ

本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連内政（連邦党書記局声明）

第5448号 大至急 [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW8464－01）

大臣官房	政審次官 外務次官 外審次長 儀典長 官房長
北米大使	経審大臣 外審大研 査察官 総括審議官 博審代表
総務	口対文会厚情オ
	察人審在儀警史
外報官	参秘総内外
文化交流審議官	審一二
領事移住部長	参政保対旅外
	審地東一二 参北東西一
北米局長	審一二保地
中南米局長	参一二
欧州局	審西ソ洋 西東 一二
中近東アフリカ局	参一二ア ア一二
経済局長	次総経途博 審経漁国 経エ安 国ネ
	審海 審準
経済協力局長	審政国開無 参調技有理
条約局長	審条協規
国連局長	審政経人 参軍社
科学審議官	科原
情報調査局長	参情報調 企安

往電第5447号に関し、

２１日付タスは、ソ連共産党書記局声明を報じているところ概要次の通り。（番号は当館にて付した。）

１．国家の歴史の危機的時期に、党中央委書記局は党員及び全ての国民に自己の立場を伝えねばならないと考える。１９８５年、ゴルバチョフ書記長によって始められたソ連社会の包括的刷新の動きは、歴史的に不可欠であり、ソ連国民の至上の利益に合致する。書記局は多民族連邦国家であるソ連の民主的刷新の道、第２８回党大会で採択された文書並びに新綱領案に謳われた基本方針と目的に忠実である。

２．最近数年、社会生活の重要かつ前向きの動きが始まり、過去の全体主義を克服する前提条件が作られた。しかし、これまでに蓄積された問題、更に、問題を解決しようとして犯した過ちは余りに大きく、社会に深刻な危機を引き起こした。危機の克服は合憲的方法によって行なわれねばならない。独裁体制、憲法違反の権力機構、武力行使のための臨時非常大権行使は看過出来ない。かかる事態を連邦最高会議、要すれば速やかに連邦人民代議員大会の討議に付すことに支持する。「ゴ」書記長出席の下で、中央委総会の早期開催を支持する。

３．書記局は、党員に対し、市民生活の保全、法秩序維持、更に、社会発展の基本問題に関して国民が自己の態度を完全に自己の責任で決定できる条件の創設を全面的に支持する。全市民に対し、自重、平静を維持し、労働のリズムを崩さぬよう呼び掛ける。収穫の完遂、冬に向けての備えは特に重視せねばならない。エネルギー並びに食糧危機を回避するために全ての措置を講ずる。ソ連国民の善意と労働が平和的、友好的、創造的に国家の発展を保証することを希望する。　　（了）

ファイル用

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写

[redacted] [redacted] 08－051

総番号	R166792		主管
	月 22日 [redacted]	ソ連発	欧ソ
平成 3年	8月 22日 [redacted]	本省着	

外務大臣殿　　枝村大使

ソ連内政（安全保障会議メンバー記者会見）

第5449号 至急（ゆう先処理） [redacted]

（以下FAX送信 MW8465－01）

大臣 政務次官 官房長 儀官 条約局長 欧亜局長 北米局長 経済局長 国際連合局長 外務審議官 総合外交政策局長 博士 代表 大使 大使 大使 研修所長 審議官 審議官 総合安全保障室長 対日経済調査室長 文化交流部長 厚生労働省 情報調査局長 オウム対策本部長 警察庁長官 人権人道大使 在外邦人等保護対策室長 儀典長 警備局長 史料館長

外報官 参事官 総合外交政策局 内閣外政審議室

文化交流部長 審議官 一等書記官 二等書記官

領事移住部長 参事官 政策課長 保健医療対策室長 旅券課長 外国人課長

アジア大洋州局長 審議官 地域政策課長 東南アジア第一課長 東南アジア第二課長 北東アジア課長 中国課長 モンゴル課長 大洋州課長 西欧第一課長 西欧第二課長 東欧課長 ロシア課長

北米局長 審議官 日米安保課 地位協定室

中南米局長 参事官 中南米第一課長 中南米第二課長

欧州局長 審議官 西欧第一課長 西欧第二課長 東欧課長 ロシア課長

中近東アフリカ局長 参事官 中東第一課長 中東第二課長 アフリカ第一課長 アフリカ第二課長

経済局長 次長 総務参事官 経済連携課長 途上国経済協力課長 国際経済課長 国際経済第一課長 国際経済第二課長 国際エネルギー課長 国際資源課長 国際漁業課長 経済安全保障室長

審議官 海洋政策担当大使 審議官 軍縮不拡散・科学部長

国際連合局長 審議官 国連政策課長 国連企画調整課長 人権人道課長 軍縮不拡散・科学部参事官 軍備管理軍縮課長 科学原子力課長 国際テロ対策課長 国際法局長 条約課長 国際協力課長 経済協定課長 国際情報統括官 参事官 国際情報第一課長 国際情報第二課長 国際情報第三課長 国際情報第四課長 国際情報第五課長 国際情報第六課長 国際情報第七課長 国際情報第八課長 国際情報第九課長 国際情報第十課長 国際情報第十一課長 国際情報第十二課長 国際情報第十三課長 国際情報第十四課長 国際情報第十五課長 国際情報第十六課長 国際情報第十七課長 国際情報第十八課長 国際情報第十九課長 国際情報第二十課長 国際情報第二十一課長 国際情報第二十二課長 国際情報第二十三課長 国際情報第二十四課長 国際情報第二十五課長 国際情報第二十六課長 国際情報第二十七課長 国際情報第二十八課長 国際情報第二十九課長 国際情報第三十課長 国際情報第三十一課長 国際情報第三十二課長 国際情報第三十三課長 国際情報第三十四課長 国際情報第三十五課長 国際情報第三十六課長 国際情報第三十七課長 国際情報第三十八課長 国際情報第三十九課長 国際情報第四十課長 国際情報第四十一課長 国際情報第四十二課長 国際情報第四十三課長 国際情報第四十四課長 国際情報第四十五課長 国際情報第四十六課長 国際情報第四十七課長 国際情報第四十八課長 国際情報第四十九課長 国際情報第五十課長 国際情報第五十一課長 国際情報第五十二課長 国際情報第五十三課長 国際情報第五十四課長 国際情報第五十五課長 国際情報第五十六課長 国際情報第五十七課長 国際情報第五十八課長 国際情報第五十九課長 国際情報第六十課長 国際情報第六十一課長 国際情報第六十二課長 国際情報第六十三課長 国際情報第六十四課長 国際情報第六十五課長 国際情報第六十六課長 国際情報第六十七課長 国際情報第六十八課長 国際情報第六十九課長 国際情報第七十課長 国際情報第七十一課長 国際情報第七十二課長 国際情報第七十三課長 国際情報第七十四課長 国際情報第七十五課長 国際情報第七十六課長 国際情報第七十七課長 国際情報第七十八課長 国際情報第七十九課長 国際情報第八十課長 国際情報第八十一課長 国際情報第八十二課長 国際情報第八十三課長 国際情報第八十四課長 国際情報第八十五課長 国際情報第八十六課長 国際情報第八十七課長 国際情報第八十八課長 国際情報第八十九課長 国際情報第九十課長 国際情報第九十一課長 国際情報第九十二課長 国際情報第九十三課長 国際情報第九十四課長 国際情報第九十五課長 国際情報第九十六課長 国際情報第九十七課長 国際情報第九十八課長 国際情報第九十九課長 国際情報第百課長 国際情報第百一課長 国際情報第百二課長 国際情報第百三課長 国際情報第百四課長 国際情報第百五課長 国際情報第百六課長 国際情報第百七課長 国際情報第百八課長 国際情報第百九課長 国際情報第百十課長 国際情報第百十一課長 国際情報第百十二課長 国際情報第百十三課長 国際情報第百十四課長 国際情報第百十五課長 国際情報第百十六課長 国際情報第百十七課長 国際情報第百十八課長 国際情報第百十九課長 国際情報第百二十課長 国際情報第百二十一課長 国際情報第百二十二課長 国際情報第百二十三課長 国際情報第百二十四課長 国際情報第百二十五課長 国際情報第百二十六課長 国際情報第百二十七課長 国際情報第百二十八課長 国際情報第百二十九課長 国際情報第百三十課長 国際情報第百三十一課長 国際情報第百三十二課長 国際情報第百三十三課長 国際情報第百三十四課長 国際情報第百三十五課長 国際情報第百三十六課長 国際情報第百三十七課長 国際情報第百三十八課長 国際情報第百三十九課長 国際情報第百四十課長 国際情報第百四十一課長 国際情報第百四十二課長 国際情報第百四十三課長 国際情報第百四十四課長 国際情報第百四十五課長 国際情報第百四十六課長 国際情報第百四十七課長 国際情報第百四十八課長 国際情報第百四十九課長 国際情報第百五十課長 国際情報第百五十一課長 国際情報第百五十二課長 国際情報第百五十三課長 国際情報第百五十四課長 国際情報第百五十五課長 国際情報第百五十六課長 国際情報第百五十七課長 国際情報第百五十八課長 国際情報第百五十九課長 国際情報第百六十課長 国際情報第百六十一課長 国際情報第百六十二課長 国際情報第百六十三課長 国際情報第百六十四課長 国際情報第百六十五課長 国際情報第百六十六課長 国際情報第百六十七課長 国際情報第百六十八課長 国際情報第百六十九課長 国際情報第百七十課長 国際情報第百七十一課長 国際情報第百七十二課長 国際情報第百七十三課長 国際情報第百七十四課長 国際情報第百七十五課長 国際情報第百七十六課長 国際情報第百七十七課長 国際情報第百七十八課長 国際情報第百七十九課長 国際情報第百八十課長 国際情報第百八十一課長 国際情報第百八十二課長 国際情報第百八十三課長 国際情報第百八十四課長 国際情報第百八十五課長 国際情報第百八十六課長 国際情報第百八十七課長 国際情報第百八十八課長 国際情報第百八十九課長 国際情報第百九十課長 国際情報第百九十一課長 国際情報第百九十二課長 国際情報第百九十三課長 国際情報第百九十四課長 国際情報第百九十五課長 国際情報第百九十六課長 国際情報第百九十七課長 国際情報第百九十八課長 国際情報第百九十九課長 国際情報第二百課長 国際情報第二百一課長 国際情報第二百二課長 国際情報第二百三課長 国際情報第二百四課長 国際情報第二百五課長 国際情報第二百六課長 国際情報第二百七課長 国際情報第二百八課長 国際情報第二百九課長 国際情報第二百十課長 国際情報第二百十一課長 国際情報第二百十二課長 国際情報第二百十三課長 国際情報第二百十四課長 国際情報第二百十五課長 国際情報第二百十六課長 国際情報第二百十七課長 国際情報第二百十八課長 国際情報第二百十九課長 国際情報第二百二十課長 国際情報第二百二十一課長 国際情報第二百二十二課長 国際情報第二百二十三課長 国際情報第二百二十四課長 国際情報第二百二十五課長 国際情報第二百二十六課長 国際情報第二百二十七課長 国際情報第二百二十八課長 国際情報第二百二十九課長 国際情報第二百三十課長 国際情報第二百三十一課長 国際情報第二百三十二課長 国際情報第二百三十三課長 国際情報第二百三十四課長 国際情報第二百三十五課長 国際情報第二百三十六課長 国際情報第二百三十七課長 国際情報第二百三十八課長 国際情報第二百三十九課長 国際情報第二百四十課長 国際情報第二百四十一課長 国際情報第二百四十二課長 国際情報第二百四十三課長 国際情報第二百四十四課長 国際情報第二百四十五課長 国際情報第二百四十六課長 国際情報第二百四十七課長 国際情報第二百四十八課長 国際情報第二百四十九課長 国際情報第二百五十課長 国際情報第二百五十一課長 国際情報第二百五十二課長 国際情報第二百五十三課長 国際情報第二百五十四課長 国際情報第二百五十五課長 国際情報第二百五十六課長 国際情報第二百五十七課長 国際情報第二百五十八課長 国際情報第二百五十九課長 国際情報第二百六十課長 国際情報第二百六十一課長 国際情報第二百六十二課長 国際情報第二百六十三課長 国際情報第二百六十四課長 国際情報第二百六十五課長 国際情報第二百六十六課長 国際情報第二百六十七課長 国際情報第二百六十八課長 国際情報第二百六十九課長 国際情報第二百七十課長 国際情報第二百七十一課長 国際情報第二百七十二課長 国際情報第二百七十三課長 国際情報第二百七十四課長 国際情報第二百七十五課長 国際情報第二百七十六課長 国際情報第二百七十七課長 国際情報第二百七十八課長 国際情報第二百七十九課長 国際情報第二百八十課長 国際情報第二百八十一課長 国際情報第二百八十二課長 国際情報第二百八十三課長 国際情報第二百八十四課長 国際情報第二百八十五課長 国際情報第二百八十六課長 国際情報第二百八十七課長 国際情報第二百八十八課長 国際情報第二百八十九課長 国際情報第二百九十課長 国際情報第二百九十一課長 国際情報第二百九十二課長 国際情報第二百九十三課長 国際情報第二百九十四課長 国際情報第二百九十五課長 国際情報第二百九十六課長 国際情報第二百九十七課長 国際情報第二百九十八課長 国際情報第二百九十九課長 国際情報第三百課長 国際情報第三百一課長 国際情報第三百二課長 国際情報第三百三課長 国際情報第三百四課長 国際情報第三百五課長 国際情報第三百六課長 国際情報第三百七課長 国際情報第三百八課長 国際情報第三百九課長 国際情報第三百十課長 国際情報第三百十一課長 国際情報第三百十二課長 国際情報第三百十三課長 国際情報第三百十四課長 国際情報第三百十五課長 国際情報第三百十六課長 国際情報第三百十七課長 国際情報第三百十八課長 国際情報第三百十九課長 国際情報第三百二十課長 国際情報第三百二十一課長 国際情報第三百二十二課長 国際情報第三百二十三課長 国際情報第三百二十四課長 国際情報第三百二十五課長 国際情報第三百二十六課長 国際情報第三百二十七課長 国際情報第三百二十八課長 国際情報第三百二十九課長 国際情報第三百三十課長 国際情報第三百三十一課長 国際情報第三百三十二課長 国際情報第三百三十三課長 国際情報第三百三十四課長 国際情報第三百三十五課長 国際情報第三百三十六課長 国際情報第三百三十七課長 国際情報第三百三十八課長 国際情報第三百三十九課長 国際情報第三百四十課長 国際情報第三百四十一課長 国際情報第三百四十二課長 国際情報第三百四十三課長 国際情報第三百四十四課長 国際情報第三百四十五課長 国際情報第三百四十六課長 国際情報第三百四十七課長 国際情報第三百四十八課長 国際情報第三百四十九課長 国際情報第三百五十課長 国際情報第三百五十一課長 国際情報第三百五十二課長 国際情報第三百五十三課長 国際情報第三百五十四課長 国際情報第三百五十五課長 国際情報第三百五十六課長 国際情報第三百五十七課長 国際情報第三百五十八課長 国際情報第三百五十九課長 国際情報第三百六十課長 国際情報第三百六十一課長 国際情報第三百六十二課長 国際情報第三百六十三課長 国際情報第三百六十四課長 国際情報第三百六十五課長 国際情報第三百六十六課長 国際情報第三百六十七課長 国際情報第三百六十八課長 国際情報第三百六十九課長 国際情報第三百七十課長 国際情報第三百七十一課長 国際情報第三百七十二課長 国際情報第三百七十三課長 国際情報第三百七十四課長 国際情報第三百七十五課長 国際情報第三百七十六課長 国際情報第三百七十七課長 国際情報第三百七十八課長 国際情報第三百七十九課長 国際情報第三百八十課長 国際情報第三百八十一課長 国際情報第三百八十二課長 国際情報第三百八十三課長 国際情報第三百八十四課長 国際情報第三百八十五課長 国際情報第三百八十六課長 国際情報第三百八十七課長 国際情報第三百八十八課長 国際情報第三百八十九課長 国際情報第三百九十課長 国際情報第三百九十一課長 国際情報第三百九十二課長 国際情報第三百九十三課長 国際情報第三百九十四課長 国際情報第三百九十五課長 国際情報第三百九十六課長 国際情報第三百九十七課長 国際情報第三百九十八課長 国際情報第三百九十九課長 国際情報第四百課長 国際情報第四百一課長 国際情報第四百二課長 国際情報第四百三課長 国際情報第四百四課長 国際情報第四百五課長 国際情報第四百六課長 国際情報第四百七課長 国際情報第四百八課長 国際情報第四百九課長 国際情報第四百十課長 国際情報第四百十一課長 国際情報第四百十二課長 国際情報第四百十三課長 国際情報第四百十四課長 国際情報第四百十五課長 国際情報第四百十六課長 国際情報第四百十七課長 国際情報第四百十八課長 国際情報第四百十九課長 国際情報第四百二十課長 国際情報第四百二十一課長 国際情報第四百二十二課長 国際情報第四百二十三課長 国際情報第四百二十四課長 国際情報第四百二十五課長 国際情報第四百二十六課長 国際情報第四百二十七課長 国際情報第四百二十八課長 国際情報第四百二十九課長 国際情報第四百三十課長 国際情報第四百三十一課長 国際情報第四百三十二課長 国際情報第四百三十三課長 国際情報第四百三十四課長 国際情報第四百三十五課長 国際情報第四百三十六課長 国際情報第四百三十七課長 国際情報第四百三十八課長 国際情報第四百三十九課長 国際情報第四百四十課長 国際情報第四百四十一課長 国際情報第四百四十二課長 国際情報第四百四十三課長 国際情報第四百四十四課長 国際情報第四百四十五課長 国際情報第四百四十六課長 国際情報第四百四十七課長 国際情報第四百四十八課長 国際情報第四百四十九課長 国際情報第四百五十課長 国際情報第四百五十一課長 国際情報第四百五十二課長 国際情報第四百五十三課長 国際情報第四百五十四課長 国際情報第四百五十五課長 国際情報第四百五十六課長 国際情報第四百五十七課長 国際情報第四百五十八課長 国際情報第四百五十九課長 国際情報第四百六十課長 国際情報第四百六十一課長 国際情報第四百六十二課長 国際情報第四百六十三課長 国際情報第四百六十四課長 国際情報第四百六十五課長 国際情報第四百六十六課長 国際情報第四百六十七課長 国際情報第四百六十八課長 国際情報第四百六十九課長 国際情報第四百七十課長 国際情報第四百七十一課長 国際情報第四百七十二課長 国際情報第四百七十三課長 国際情報第四百七十四課長 国際情報第四百七十五課長 国際情報第四百七十六課長 国際情報第四百七十七課長 国際情報第四百七十八課長 国際情報第四百七十九課長 国際情報第四百八十課長 国際情報第四百八十一課長 国際情報第四百八十二課長 国際情報第四百八十三課長 国際情報第四百八十四課長 国際情報第四百八十五課長 国際情報第四百八十六課長 国際情報第四百八十七課長 国際情報第四百八十八課長 国際情報第四百八十九課長 国際情報第四百九十課長 国際情報第四百九十一課長 国際情報第四百九十二課長 国際情報第四百九十三課長 国際情報第四百九十四課長 国際情報第四百九十五課長 国際情報第四百九十六課長 国際情報第四百九十七課長 国際情報第四百九十八課長 国際情報第四百九十九課長 国際情報第五百課長 国際情報第五百一課長 国際情報第五百二課長 国際情報第五百三課長 国際情報第五百四課長 国際情報第五百五課長 国際情報第五百六課長 国際情報第五百七課長 国際情報第五百八課長 国際情報第五百九課長 国際情報第五百十課長 国際情報第五百十一課長 国際情報第五百十二課長 国際情報第五百十三課長 国際情報第五百十四課長 国際情報第五百十五課長 国際情報第五百十六課長 国際情報第五百十七課長 国際情報第五百十八課長 国際情報第五百十九課長 国際情報第五百二十課長 国際情報第五百二十一課長 国際情報第五百二十二課長 国際情報第五百二十三課長 国際情報第五百二十四課長 国際情報第五百二十五課長 国際情報第五百二十六課長 国際情報第五百二十七課長 国際情報第五百二十八課長 国際情報第五百二十九課長 国際情報第五百三十課長 国際情報第五百三十一課長 国際情報第五百三十二課長 国際情報第五百三十三課長 国際情報第五百三十四課長 国際情報第五百三十五課長 国際情報第五百三十六課長 国際情報第五百三十七課長 国際情報第五百三十八課長 国際情報第五百三十九課長 国際情報第五百四十課長 国際情報第五百四十一課長 国際情報第五百四十二課長 国際情報第五百四十三課長 国際情報第五百四十四課長 国際情報第五百四十五課長 国際情報第五百四十六課長 国際情報第五百四十七課長 国際情報第五百四十八課長 国際情報第五百四十九課長 国際情報第五百五十課長 国際情報第五百五十一課長 国際情報第五百五十二課長 国際情報第五百五十三課長 国際情報第五百五十四課長 国際情報第五百五十五課長 国際情報第五百五十六課長 国際情報第五百五十七課長 国際情報第五百五十八課長 国際情報第五百五十九課長 国際情報第五百六十課長 国際情報第五百六十一課長 国際情報第五百六十二課長 国際情報第五百六十三課長 国際情報第五百六十四課長 国際情報第五百六十五課長 国際情報第五百六十六課長 国際情報第五百六十七課長 国際情報第五百六十八課長 国際情報第五百六十九課長 国際情報第五百七十課長 国際情報第五百七十一課長 国際情報第五百七十二課長 国際情報第五百七十三課長 国際情報第五百七十四課長 国際情報第五百七十五課長 国際情報第五百七十六課長 国際情報第五百七十七課長 国際情報第五百七十八課長 国際情報第五百七十九課長 国際情報第五百八十課長 国際情報第五百八十一課長 国際情報第五百八十二課長 国際情報第五百八十三課長 国際情報第五百八十四課長 国際情報第五百八十五課長 国際情報第五百八十六課長 国際情報第五百八十七課長 国際情報第五百八十八課長 国際情報第五百八十九課長 国際情報第五百九十課長 国際情報第五百九十一課長 国際情報第五百九十二課長 国際情報第五百九十三課長 国際情報第五百九十四課長 国際情報第五百九十五課長 国際情報第五百九十六課長 国際情報第五百九十七課長 国際情報第五百九十八課長 国際情報第五百九十九課長 国際情報第六百課長 国際情報第六百一課長 国際情報第六百二課長 国際情報第六百三課長 国際情報第六百四課長 国際情報第六百五課長 国際情報第六百六課長 国際情報第六百七課長 国際情報第六百八課長 国際情報第六百九課長 国際情報第六百十課長 国際情報第六百十一課長 国際情報第六百十二課長 国際情報第六百十三課長 国際情報第六百十四課長 国際情報第六百十五課長 国際情報第六百十六課長 国際情報第六百十七課長 国際情報第六百十八課長 国際情報第六百十九課長 国際情報第六百二十課長 国際情報第六百二十一課長 国際情報第六百二十二課長 国際情報第六百二十三課長 国際情報第六百二十四課長 国際情報第六百二十五課長 国際情報第六百二十六課長 国際情報第六百二十七課長 国際情報第六百二十八課長 国際情報第六百二十九課長 国際情報第六百三十課長 国際情報第六百三十一課長 国際情報第六百三十二課長 国際情報第六百三十三課長 国際情報第六百三十四課長 国際情報第六百三十五課長 国際情報第六百三十六課長 国際情報第六百三十七課長 国際情報第六百三十八課長 国際情報第六百三十九課長 国際情報第六百四十課長 国際情報第六百四十一課長 国際情報第六百四十二課長 国際情報第六百四十三課長 国際情報第六百四十四課長 国際情報第六百四十五課長 国際情報第六百四十六課長 国際情報第六百四十七課長 国際情報第六百四十八課長 国際情報第六百四十九課長 国際情報第六百五十課長 国際情報第六百五十一課長 国際情報第六百五十二課長 国際情報第六百五十三課長 国際情報第六百五十四課長 国際情報第六百五十五課長 国際情報第六百五十六課長 国際情報第六百五十七課長 国際情報第六百五十八課長 国際情報第六百五十九課長 国際情報第六百六十課長 国際情報第六百六十一課長 国際情報第六百六十二課長 国際情報第六百六十三課長 国際情報第六百六十四課長 国際情報第六百六十五課長 国際情報第六百六十六課長 国際情報第六百六十七課長 国際情報第六百六十八課長 国際情報第六百六十九課長 国際情報第六百七十課長 国際情報第六百七十一課長 国際情報第六百七十二課長 国際情報第六百七十三課長 国際情報第六百七十四課長 国際情報第六百七十五課長 国際情報第六百七十六課長 国際情報第六百七十七課長 国際情報第六百七十八課長 国際情報第六百七十九課長 国際情報第六百八十課長 国際情報第六百八十一課長 国際情報第六百八十二課長 国際情報第六百八十三課長 国際情報第六百八十四課長 国際情報第六百八十五課長 国際情報第六百八十六課長 国際情報第六百八十七課長 国際情報第六百八十八課長 国際情報第六百八十九課長 国際情報第六百九十課長 国際情報第六百九十一課長 国際情報第六百九十二課長 国際情報第六百九十三課長 国際情報第六百九十四課長 国際情報第六百九十五課長 国際情報第六百九十六課長 国際情報第六百九十七課長 国際情報第六百九十八課長 国際情報第六百九十九課長 国際情報第七百課長 国際情報第七百一課長 国際情報第七百二課長 国際情報第七百三課長 国際情報第七百四課長 国際情報第七百五課長 国際情報第七百六課長 国際情報第七百七課長 国際情報第七百八課長 国際情報第七百九課長 国際情報第七百十課長 国際情報第七百十一課長 国際情報第七百十二課長 国際情報第七百十三課長 国際情報第七百十四課長 国際情報第七百十五課長 国際情報第七百十六課長 国際情報第七百十七課長 国際情報第七百十八課長 国際情報第七百十九課長 国際情報第七百二十課長 国際情報第七百二十一課長 国際情報第七百二十二課長 国際情報第七百二十三課長 国際情報第七百二十四課長 国際情報第七百二十五課長 国際情報第七百二十六課長 国際情報第七百二十七課長 国際情報第七百二十八課長 国際情報第七百二十九課長 国際情報第七百三十課長 国際情報第七百三十一課長 国際情報第七百三十二課長 国際情報第七百三十三課長 国際情報第七百三十四課長 国際情報第七百三十五課長 国際情報第七百三十六課長 国際情報第七百三十七課長 国際情報第七百三十八課長 国際情報第七百三十九課長 国際情報第七百四十課長 国際情報第七百四十一課長 国際情報第七百四十二課長 国際情報第七百四十三課長 国際情報第七百四十四課長 国際情報第七百四十五課長 国際情報第七百四十六課長 国際情報第七百四十七課長 国際情報第七百四十八課長 国際情報第七百四十九課長 国際情報第七百五十課長 国際情報第七百五十一課長 国際情報第七百五十二課長 国際情報第七百五十三課長 国際情報第七百五十四課長 国際情報第七百五十五課長 国際情報第七百五十六課長 国際情報第七百五十七課長 国際情報第七百五十八課長 国際情報第七百五十九課長 国際情報第七百六十課長 国際情報第七百六十一課長 国際情報第七百六十二課長 国際情報第七百六十三課長 国際情報第七百六十四課長 国際情報第七百六十五課長 国際情報第七百六十六課長 国際情報第七百六十七課長 国際情報第七百六十八課長 国際情報第七百六十九課長 国際情報第七百七十課長 国際情報第七百七十一課長 国際情報第七百七十二課長 国際情報第七百七十三課長 国際情報第七百七十四課長 国際情報第七百七十五課長 国際情報第七百七十六課長 国際情報第七百七十七課長 国際情報第七百七十八課長 国際情報第七百七十九課長 国際情報第七百八十課長 国際情報第七百八十一課長 国際情報第七百八十二課長 国際情報第七百八十三課長 国際情報第七百八十四課長 国際情報第七百八十五課長 国際情報第七百八十六課長 国際情報第七百八十七課長 国際情報第七百八十八課長 国際情報第七百八十九課長 国際情報第七百九十課長 国際情報第七百九十一課長 国際情報第七百九十二課長 国際情報第七百九十三課長 国際情報第七百九十四課長 国際情報第七百九十五課長 国際情報第七百九十六課長 国際情報第七百九十七課長 国際情報第七百九十八課長 国際情報第七百九十九課長 国際情報第八百課長 国際情報第八百一課長 国際情報第八百二課長 国際情報第八百三課長 国際情報第八百四課長 国際情報第八百五課長 国際情報第八百六課長 国際情報第八百七課長 国際情報第八百八課長 国際情報第八百九課長 国際情報第八百十課長 国際情報第八百十一課長 国際情報第八百十二課長 国際情報第八百十三課長 国際情報第八百十四課長 国際情報第八百十五課長 国際情報第八百十六課長 国際情報第八百十七課長 国際情報第八百十八課長 国際情報第八百十九課長 国際情報第八百二十課長 国際情報第八百二十一課長 国際情報第八百二十二課長 国際情報第八百二十三課長 国際情報第八百二十四課長 国際情報第八百二十五課長 国際情報第八百二十六課長 国際情報第八百二十七課長 国際情報第八百二十八課長 国際情報第八百二十九課長 国際情報第八百三十課長 国際情報第八百三十一課長 国際情報第八百三十二課長 国際情報第八百三十三課長 国際情報第八百三十四課長 国際情報第八百三十五課長 国際情報第八百三十六課長 国際情報第八百三十七課長 国際情報第八百三十八課長 国際情報第八百三十九課長 国際情報第八百四十課長 国際情報第八百四十一課長 国際情報第八百四十二課長 国際情報第八百四十三課長 国際情報第八百四十四課長 国際情報第八百四十五課長 国際情報第八百四十六課長 国際情報第八百四十七課長 国際情報第八百四十八課長 国際情報第八百四十九課長 国際情報第八百五十課長 国際情報第八百五十一課長 国際情報第八百五十二課長 国際情報第八百五十三課長 国際情報第八百五十四課長 国際情報第八百五十五課長 国際情報第八百五十六課長 国際情報第八百五十七課長 国際情報第八百五十八課長 国際情報第八百五十九課長 国際情報第八百六十課長 国際情報第八百六十一課長 国際情報第八百六十二課長 国際情報第八百六十三課長 国際情報第八百六十四課長 国際情報第八百六十五課長 国際情報第八百六十六課長 国際情報第八百六十七課長 国際情報第八百六十八課長 国際情報第八百六十九課長 国際情報第八百七十課長 国際情報第八百七十一課長 国際情報第八百七十二課長 国際情報第八百七十三課長 国際情報第八百七十四課長 国際情報第八百七十五課長 国際情報第八百七十六課長 国際情報第八百七十七課長 国際情報第八百七十八課長 国際情報第八百七十九課長 国際情報第八百八十課長 国際情報第八百八十一課長 国際情報第八百八十二課長 国際情報第八百八十三課長 国際情報第八百八十四課長 国際情報第八百八十五課長 国際情報第八百八十六課長 国際情報第八百八十七課長 国際情報第八百八十八課長 国際情報第八百八十九課長 国際情報第八百九十課長 国際情報第八百九十一課長 国際情報第八百九十二課長 国際情報第八百九十三課長 国際情報第八百九十四課長 国際情報第八百九十五課長 国際情報第八百九十六課長 国際情報第八百九十七課長 国際情報第八百九十八課長 国際情報第八百九十九課長 国際情報第九百課長 国際情報第九百一課長 国際情報第九百二課長 国際情報第九百三課長 国際情報第九百四課長 国際情報第九百五課長 国際情報第九百六課長 国際情報第九百七課長 国際情報第九百八課長 国際情報第九百九課長 国際情報第九百十課長 国際情報第九百十一課長 国際情報第九百十二課長 国際情報第九百十三課長 国際情報第九百十四課長 国際情報第九百十五課長 国際情報第九百十六課長 国際情報第九百十七課長 国際情報第九百十八課長 国際情報第九百十九課長 国際情報第九百二十課長 国際情報第九百二十一課長 国際情報第九百二十二課長 国際情報第九百二十三課長 国際情報第九百二十四課長 国際情報第九百二十五課長 国際情報第九百二十六課長 国際情報第九百二十七課長 国際情報第九百二十八課長 国際情報第九百二十九課長 国際情報第九百三十課長 国際情報第九百三十一課長 国際情報第九百三十二課長 国際情報第九百三十三課長 国際情報第九百三十四課長 国際情報第九百三十五課長 国際情報第九百三十六課長 国際情報第九百三十七課長 国際情報第九百三十八課長 国際情報第九百三十九課長 国際情報第九百四十課長 国際情報第九百四十一課長 国際情報第九百四十二課長 国際情報第九百四十三課長 国際情報第九百四十四課長 国際情報第九百四十五課長 国際情報第九百四十六課長 国際情報第九百四十七課長 国際情報第九百四十八課長 国際情報第九百四十九課長 国際情報第九百五十課長 国際情報第九百五十一課長 国際情報第九百五十二課長 国際情報第九百五十三課長 国際情報第九百五十四課長 国際情報第九百五十五課長 国際情報第九百五十六課長 国際情報第九百五十七課長 国際情報第九百五十八課長 国際情報第九百五十九課長 国際情報第九百六十課長 国際情報第九百六十一課長 国際情報第九百六十二課長 国際情報第九百六十三課長 国際情報第九百六十四課長 国際情報第九百六十五課長 国際情報第九百六十六課長 国際情報第九百六十七課長 国際情報第九百六十八課長 国際情報第九百六十九課長 国際情報第九百七十課長 国際情報第九百七十一課長 国際情報第九百七十二課長 国際情報第九百七十三課長 国際情報第九百七十四課長 国際情報第九百七十五課長 国際情報第九百七十六課長 国際情報第九百七十七課長 国際情報第九百七十八課長 国際情報第九百七十九課長 国際情報第九百八十課長 国際情報第九百八十一課長 国際情報第九百八十二課長 国際情報第九百八十三課長 国際情報第九百八十四課長 国際情報第九百八十五課長 国際情報第九百八十六課長 国際情報第九百八十七課長 国際情報第九百八十八課長 国際情報第九百八十九課長 国際情報第九百九十課長 国際情報第九百九十一課長 国際情報第九百九十二課長 国際情報第九百九十三課長 国際情報第九百九十四課長 国際情報第九百九十五課長 国際情報第九百九十六課長 国際情報第九百九十七課長 国際情報第九百九十八課長 国際情報第九百九十九課長 国際情報第千課長 国際情報第千一課長 国際情報第千二課長 国際情報第千三課長 国際情報第千四課長 国際情報第千五課長 国際情報第千六課長 国際情報第千七課長 国際情報第千八課長 国際情報第千九課長 国際情報第千十課長 国際情報第千十一課長 国際情報第千十二課長 国際情報第千十三課長 国際情報第千十四課長 国際情報第千十五課長 国際情報第千十六課長 国際情報第千十七課長 国際情報第千十八課長 国際情報第千十九課長 国際情報第千二十課長 国際情報第千二十一課長 国際情報第千二十二課長 国際情報第千二十三課長 国際情報第千二十四課長 国際情報第千二十五課長 国際情報第千二十六課長 国際情報第千二十七課長 国際情報第千二十八課長 国際情報第千二十九課長 国際情報第千三十課長 国際情報第千三十一課長 国際情報第千三十二課長 国際情報第千三十三課長 国際情報第千三十四課長 国際情報第千三十五課長 国際情報第千三十六課長 国際情報第千三十七課長 国際情報第千三十八課長 国際情報第千三十九課長 国際情報第千四十課長 国際情報第千四十一課長 国際情報第千四十二課長 国際情報第千四十三課長 国際情報第千四十四課長 国際情報第千四十五課長 国際情報第千四十六課長 国際情報第千四十七課長 国際情報第千四十八課長 国際情報第千四十九課長 国際情報第千五十課長 国際情報第千五十一課長 国際情報第千五十二課長 国際情報第千五十三課長 国際情報第千五十四課長 国際情報第千五十五課長 国際情報第千五十六課長 国際情報第千五十七課長 国際情報第千五十八課長 国際情報第千五十九課長 国際情報第千六十課長 国際情報第千六十一課長 国際情報第千六十二課長 国際情報第千六十三課長 国際情報第千六十四課長 国際情報第千六十五課長 国際情報第千六十六課長 国際情報第千六十七課長 国際情報第千六十八課長 国際情報第千六十九課長 国際情報第千七十課長 国際情報第千七十一課長 国際情報第千七十二課長 国際情報第千七十三課長 国際情報第千七十四課長 国際情報第千七十五課長 国際情報第千七十六課長 国際情報第千七十七課長 国際情報第千七十八課長 国際情報第千七十九課長 国際情報第千八十課長 国際情報第千八十一課長 国際情報第千八十二課長 国際情報第千八十三課長 国際情報第千八十四課長 国際情報第千八十五課長 国際情報第千八十六課長 国際情報第千八十七課長 国際情報第千八十八課長 国際情報第千八十九課長 国際情報第千九十課長 国際情報第千九十一課長 国際情報第千九十二課長 国際情報第千九十三課長 国際情報第千九十四課長 国際情報第千九十五課長 国際情報第千九十六課長 国際情報第千九十七課長 国際情報第千九十八課長 国際情報第千九十九課長 国際情報第千百課長 国際情報第千百一課長 国際情報第千百二課長 国際情報第千百三課長 国際情報第千百四課長 国際情報第千百五課長 国際情報第千百六課長 国際情報第千百七課長 国際情報第千百八課長 国際情報第千百九課長 国際情報第千百十課長 国際情報第千百十一課長 国際情報第千百十二課長 国際情報第千百十三課長 国際情報第千百十四課長 国際情報第千百十五課長 国際情報第千百十六課長 国際情報第千百十七課長 国際情報第千百十八課長 国際情報第千百十九課長 国際情報第千百二十課長 国際情報第千百二十一課長 国際情報第千百二十二課長 国際情報第千百二十三課長 国際情報第千百二十四課長 国際情報第千百二十五課長 国際情報第千百二十六課長 国際情報第千百二十七課長 国際情報第千百二十八課長 国際情報第千百二十九課長 国際情報第千百三十課長 国際情報第千百三十一課長 国際情報第千百三十二課長 国際情報第千百三十三課長 国際情報第千百三十四課長 国際情報第千百三十五課長 国際情報第千百三十六課長 国際情報第千百三十七課長 国際情報第千百三十八課長 国際情報第千百三十九課長 国際情報第千百四十課長 国際情報第千百四十一課長 国際情報第千百四十二課長 国際情報第千百四十三課長 国際情報第千百四十四課長 国際情報第千百四十五課長 国際情報第千百四十六課長 国際情報第千百四十七課長 国際情報第千百四十八課長 国際情報第千百四十九課長 国際情報第千百五十課長 国際情報第千百五十一課長 国際情報第千百五十二課長 国際情報第千百五十三課長 国際情報第千百五十四課長 国際情報第千百五十五課長 国際情報第千百五十六課長 国際情報第千百五十七課長 国際情報第千百五十八課長 国際情報第千百五十九課長 国際情報第千百六十課長 国際情報第千百六十一課長 国際情報第千百六十二課長 国際情報第千百六十三課長 国際情報第千百六十四課長 国際情報第千百六十五課長 国際情報第千百六十六課長 国際情報第千百六十七課長 国際情報第千百六十八課長 国際情報第千百六十九課長 国際情報第千百七十課長 国際情報第千百七十一課長 国際情報第千百七十二課長 国際情報第千百七十三課長 国際情報第千百七十四課長 国際情報第千百七十五課長 国際情報第千百七十六課長 国際情報第千百七十七課長 国際情報第千百七十八課長 国際情報第千百七十九課長 国際情報第千百八十課長 国際情報第千百八十一課長 国際情報第千百八十二課長 国際情報第千百八十三課長 国際情報第千百八十四課長 国際情報第千百八十五課長 国際情報第千百八十六課長 国際情報第千百八十七課長 国際情報第千百八十八課長 国際情報第千百八十九課長 国際情報第千百九十課長 国際情報第千百九十一課長 国際情報第千百九十二課長 国際情報第千百九十三課長 国際情報第千百九十四課長 国際情報第千百九十五課長 国際情報第千百九十六課長 国際情報第千百九十七課長 国際情報第千百九十八課長 国際情報第千百九十九課長 国際情報第千二百課長 国際情報第千二百一課長 国際情報第千二百二課長 国際情報第千二百三課長 国際情報第千二百四課長 国際情報第千二百五課長 国際情報第千二百六課長 国際情報第千二百七課長 国際情報第千二百八課長 国際情報第千二百九課長 国際情報第千二百十課長 国際情報第千二百十一課長 国際情報第千二百十二課長 国際情報第千二百十三課長 国際情報第千二百十四課長 国際情報第千二百十五課長

MM0760 01

往電第5448号に関し、

1．21日夜のタスは、同日行われた連邦安全保障会議のメンバー（プリマコフ、バカーチン、ヴォリスキー）による記者会見の模様を報じている。この中で、右3名はゴルバチョフの出席の下に速やかに連邦評議会を開催する提案を各共和国指導者に行った旨述べた。

また、ヴォリスキーは、「グループは大統領を隔離し、非常事態導入に関する大統領令に署名するよう要求したが、ゴルバチョフはこれを拒絶した。」旨説明するとともに、「ゴ」が病気であり執務できない状況であるとの説明は嘘であると述べ、18日の午後大統領が「ヴォ」に電話越し、ギックリ腰を除けば調子はいい旨述べていた事実を明らかにした（当館注：ニュース番組「ヴレーミャ」では、「ヴォ」はこの会話中、ゴルバチョフの人事政策を含め種々の批判を行った旨述べた）。

2．なお、タスは、科学学術産業同盟（ヴォリスキー会長）が非常事態委員会のメンバーであるチジャコフを同盟副会長のポストから解任する決定を行った旨報じている。

（了）

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用

電信写

[redacted] [redacted] 08－051

総番号 R166829 主管

月 22日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 22日 [redacted] 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連内政（ヤゾフ国防相の消そく）

第５４５０号 大至急 [redacted]

往電第５４４９号に関し、

２２日０１：３１付けロシア通信は、未確認の情報として、ヤゾフ国防相が同日１４：３０ヴヌコヴォ空港より飛び立つたが、行き先は不明である旨報じている。（了）

外務省

大臣 官房 政務次官 儀典長 官房長 総務審議官 国際社会協力部長 経済局長 条約局長 外務報道官 総合外交政策局長 アジア大洋州局長 北米局長 中南米局 欧亜局長 中近東アフリカ局長 経済協力局長 国際連合局長 軍縮科学部長 情報調査局長 領事移住部長 在外公館長 警察庁長官 内閣官房内閣審議官 内閣官房内閣参事官 内閣官房内閣情報調査室 内閣官房副長官補 内閣総理大臣秘書官 内閣外政審議室長 内閣総務官室 内閣広報室 内閣安全保障室 内閣危機管理室 内閣情報調査室 内閣官房副長官 内閣官房長官 内閣官房副長官補 内閣総理大臣秘書官 内閣外政審議室長 内閣総務官室 内閣広報室 内閣安全保障室 内閣危機管理室 内閣情報調査室 内閣官房副長官 内閣官房長官

22/11:35 [redacted] 5241 02/08 P01 R166830

ファイル用

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写

[redacted] [redacted] 08－027

大臣	政務次官
大使	事務次官
北米大使	経済局長
欧亜大使	総合外交政策局長
総合安全保障戦略担当大使	博覧会対策担当大使
国際情報統括官	厚生大臣官房審議官（医務担当）
警察庁長官	在外公館警備対策官
外務報道官	参事官（総括）、内閣内政審議室
文化交流部長	審議官（一）、（二）
領事移住部長	参事官、政策保健課、対外関係室
アジア大洋州局長	審議官（地域）、東南アジア第二課、西南アジア第一課、北東アジア課
北米局長	審議官（日米）、（二）、保健医療地球課
中南米局長	参事官（一）、（二）
欧亜局長	審議官（西欧）、（大洋）、西欧第一課、西欧第二課
近東アフリカ局長	参事官（一）、（二）、アフリカ第一課、アフリカ第二課
経済局長	次長、総務課、経済第一課、経済第二課、経済第三課、国際経済課、漁業課、国際エネルギー課、経済安全保障室
	審議官（海洋）、審議官（準備）
経済協力局長	審議官（政策）、国際開発第一課、国際開発第二課、無償資金協力課、技術協力課、有償資金協力課、調査企画課
条約局長	審議官、条約課、法規課
国連局長	審議官（政治）、経済人権課、軍縮課、軍備管理科学審議官、原子力課
情報調査局長	参事官（情報）、（分析）、調査企画課、安全保障政策室

総、番 号 R１６６８３０ 主 管

月 ２２日 [redacted] ソ 連 発 欧 ソ

平成 ３年 ８月 ２２日 [redacted] 本 省 着

外 務 大 臣 殿 枝 村 大 使

ソ連内政（ロシア共和国地方幹部の解任）

第５４５１号 至急（ゆう先処理） [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 ＭＷ８４６６－０１）

外 務 省

往電第 5450 号に関し、

㊙ ２１日付けロシア通信は、非常事態委員会に「協力」したロシア共和国の地方幹部の解任に関するエリツィン大統領令を報じているところ、要旨以下のとおり。

いわゆる非常事態国家委員会の反憲法的活動への協力、国家転覆の阻止に向けられた大統領令の不履行により、ロシア共和国憲法第１２１／８条及びロシア共和国大統領に関する法律第８条に基づき、以下を決定する：

次の者を執行委員会議長職から解任する：

ゴロヴォイＮ．Ｉ．（クラスノダルスク地方）

ボロダエフＶ．Ｖ．（ロストフ州）

タルホフＶ．Ａ．（マサール州）

トポルコフＶ．Ｆ．（リペツ州）

ロシア共和国検事局、内務省、ＫＧＢは、これらの者の活動につき捜査を行う。

(い)

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検関班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用

電信写

[redacted] [redacted] 08－059

総番号 R166840 主管

月 22日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 22日 [redacted] 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言（ゴルバチョフ大統領の帰バク）

第5452号 秘 大至急 [redacted]

往電第5451号に関し、

22日02：20、ゴルバチョフ大統領一行の飛行機がモスクワ、ブヌコヴォ空港に到着した。（了）

大臣官房	政審次官 総務次官 儀官
北米大使	経済局外務審議官 査察官 総合外交政策局 博多代表
総合外交政策局	日米地位協定室 文化交流・在外邦人課 厚生労働省 情報調査官 オウム対策室
外務報道官	参事官 総務課 内閣情報官
文化交流・在外邦人課長	審議官 一 二
領事局長	参事官 政策課 保健医療対策室 旅券課 外国人課
アジア大洋州局長	審議官 地域政策課 東南アジア第一課 東南アジア第二課 参事官 北東アジア課 西欧課
北米局長	審議官 日米安全保障条約課 日米地位協定室 二国間経済関係担当 保健医療対策室
中南米局長	参事官 一 二
欧亜局長	審議官 西欧第一課 西欧第二課 ソ連邦課 東欧課
アジア大洋州局長	参事官 一 二 アジア太平洋地域協力室 アジア大洋州第一課 アジア大洋州第二課
経済局長	次長 総務課 経済協力課 途上国債務問題担当 参事官 経済連携課 国際経済第一課 国際経済第二課 漁業室 国際経済第三課 経済安全保障室 エネルギー資源課
	審議官 海洋政策担当 審議官 軍縮不拡散・科学部
経済協力局長	審議官 政策課 開発協力企画官 無償資金協力課 技術協力課 有償資金協力課 参事官 調査計画課 技術協力課
条約局長	審議官 条約課 国際協力課 国際法規課
国際法局長	審議官 国際紛争処理課 経済条約課 人権人道課 参事官 国際社会協力部 国際司法共助課
科学審議官	科学原子力政策課
情報調査局長	参事官 情報企画室 情報通信課 分析第一課 分析第二課

外務省

ファイル用

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検関班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写 [redacted] [redacted] 08－015

大臣	政務次官
大使	事務次官
北大使	経協審議官
経大使	環境審議長
外大使	査察官
総大使	総括審議官
博大使	博士
代表	代表
総人	対人権
文化	文化
厚生	厚生
情報	情報
オ在	オ在
儀典	儀典
警察	警察
史	史
外報官	参報際内外
文長	審一二
領移長	参政保対旅外
ア長	審地中東二
	参北東西一
北米長	審一二保地
中南長	参一二
欧長	審西(ソ)洋一
	西東二
近ア長	参一二ア一ア二
経協長	次総経途博
	審経漁国一一
	経エ国安ネ二
	審海 審準
	審政(国)開無
	参調技有理
条長	審条協規
国長	審政経人
	参軍社
科審	科原
情調長	参(情)(分)調
	企安

総番号 R166879 主管

月 22日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 22日 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連内政（「ゴ」大統領帰パク：本使出迎え）

第５４５３号 至急（ゆう先処理） [redacted]

往電第５４５２号に関し、

本使は可能であればゴルバチョフ大統領を出迎えるべく、ヴヌコヴォ空港にて待機（マルオ、中村同行）し、その間当館より連邦外務省及びロシア共和国政府を通じ、空港の要人専用区域への入域許可を得るべく努力し、また現場でも、外の外交団メンバーとともに入域を認めるよう交渉したが、結局、門外で待機している間に、「ゴ」大統領一行が到着し、午前２時２０分他の出口から高速で市内へ向かつたため目的を果たし得なかつた。なお、本使のほか、オランダ、イタリア、英国、オーストリア等の大使または臨代が出迎えに赴いていたが、いずれも入域を認められなかつた。そのほか、フランス、ドイツの両大使も、２１日２１時過ぎに到着するだろうとの初期の情報に基ずいて出迎えを試みた模様であるが、実際の到着時には見かけなかつた。

何ら御参考まで。（了）

ファイル用

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写

[redacted] [redacted] 08－015

大臣秘書官	政務次官
大使	事務次官
北米局長	経済局長
大使	環境審議官
大使	外務大臣官房審議官（総括）
総合外交政策局長	博士
領事移住部長	代表
外務報道官	参事官（国際情報）
文化交流部長	審議官（一）
領事移住部長	審議官（政策）
アジア大洋州局長	審議官（地域政策担当）
北米局長	審議官（中東）
中南米局長	審議官（北東アジア）
欧州局長	審議官（保健医療担当）
近東アフリカ局長	参事官（一）
経済局長	審議官（西欧）
	審議官（国際経済紛争担当）
	審議官（経済連携）
	審議官（エネルギー安全保障）
	審議官（国際法局担当）
	審議官（海洋）
	審議官（軍縮不拡散・科学部担当）
経済協力局長	審議官（政策）
	参事官（開発協力）
	参事官（調査計画）
条約局長	審議官（条約）
	参事官（規制改革）
国際法局長	審議官（経済）
	参事官（人権人道）
科学審議官	科学原子力参事官
情報調査局長	参事官（情報通信）
	参事官（調査企画）
	参事官（安全保障）

総番号 R166883 主管

[redacted]月 22日 ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 22日 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連内政（「ゴ」大統領帰バク：本使出迎え）

号外 [redacted]

往電第５４５３号に関し、

冒頭往電上段「……また現場でも、外の外交団メンバーとともに……」とあるを、「また現場でも、他の外交団メンバーとともに……」と訂正願いたい。（了）

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用

電信写

[redacted] [redacted] 08－059

総番号	R166897
月日	22日 [redacted]
平成 3年 8月 22日	[redacted]

主管 欧 ソ

ソ連発
本省着

外務大臣殿

枝村大使

ソ連内政（非常事態国家委員会メンバーのたいほ）

第5454号 大至急 [redacted]

（以下FAX送信 MW8467－01）

大臣 政務次官 電秘官 外審官 外審長 儀典長 官房長

北大使 経大使 欧大使 アジア局長 審議官 総括審議官 博多代表

総合外交政策局長 対日経済担当大使 文化交流部長 厚生審議官 情報調査局長 在外公館警備対策官

外務報道官 参事官 総務課長 国際情報統括官 内閣外政審議室長

文化交流部長 審議官 一等書記官 二等書記官

領事移住部長 参事官 政策課長 保健衛生対策室長 旅券課長 外務事務官

アジア大洋州局長 審議官 地域政策課長 東南アジア第一課長 東南アジア第二課長 北東アジア課長 中国・モンゴル第一課長 中国・モンゴル第二課長 大洋州課長 西大洋州課長 東大洋州課長

北米局長 審議官 日米安保課長 二国間条約第二課長 地位協定室長

中南米局長 参事官 中南米第一課長 中南米第二課長

欧州局長 審議官 西欧第一課長 西欧第二課長 東欧第一課長 東欧第二課長 ソ連課長

アジア大洋州局長 参事官 アジア第一課長 アジア第二課長

経済局長 次長 総務課長 経済協力課長 途上国経済協力室長 国際経済課長 経済第一課長 経済第二課長 国際エネルギー課長 国際経済第二課長 安全保障室長

審議官 海洋室長 審議官 準備室長

経済協力局長 審議官 政策課長 開発第一課長 開発第二課長 無償資金協力課長 技術協力課長 有償資金協力課長 調査計画課長 参事官 調査企画課長 技術協力課長 評価室長

条約局長 審議官 国際協力課長 規制改革推進室長

国際社会協力部長 審議官 軍縮課長 人権人道課長 経済安保課長 人口問題室長 難民対策室長 科学原子力課長 参事官 社会協力課長

国際法局長 審議官 国際法課長 国際紛争処理課長 条約課長

科学審議官 科学原子力課長

情報調査局長 審議官 分析第一課長 分析第二課長 分析第三課長 参事官 情報管理室長 企画室長 安全保障政策室長

MW8417 01

往電第5453号に関し、

[redacted] ２２日３：４５のインターファックスは、ロシア共和国大臣会議情報部の情報として、クリミヤのゴルバチョフの別荘でクリュチコフＫＧＢ議長、ヤゾフ国防相、バクラーノフ、チジャコフが逮捕された旨報じている。なお、ゴルバチョフは結局は非常事態国家委員会のメンバーには会わなかった由。クリュチコフはゴルバチョフ大統領と同じ飛行機で、他の３名は他の飛行機でモスクワに輸送された。これより少し前、プーゴ内相がモスクワで逮捕された。

東速高デ公館に転電した。

（了）

注意
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用
08－055

電信写

[redacted]

総番号　R１６６８９９　　主管

月　２２日 [redacted]　ソ連発　欧ソ

平成　３年　８月　２２日 [redacted]　本省着

外務大臣殿　　枝村大使

ソ連内政（シエルバコフ連邦第一副首相記者会見）

第５４５５号　大至急 [redacted]

（以下ＦＡＸ送信　ＭＷ８４６８－０６）

大臣	政務次官
秘書官	官房長
北大使	経大使
国際審議官	外務審議官
総合外交政策局長	博査大使
総合外交政策局	代表
総合外交政策局	対ロ文化交流審議官
総合外交政策局	情報調査官
総合外交政策局	人権人道大使
総合外交政策局	在外邦人保護審議官
外務報道官	参事官（国際情報）
文化交流部長	審議官
領事移住部長	参事官（保健衛生）
アジア大洋州局	審議官（地球規模課題）
アジア大洋州局	参事官（東南アジア）
北米局長	審議官（日米安保）
中南米局長	参事官
欧州局	審議官（西欧第一）
欧州局	審議官（西欧第二）
欧州局	参事官
欧州局	参事官
欧州局	参事官
経済局	次長
経済局	総務参事官
経済局	経済連携審議官
経済局	国際経済第一課長
経済局	国際エネルギー安全保障課長
経済局	審議官（海洋）
経済局	審議官（国際貿易）
経済協力局長	審議官（政策）
経済協力局	参事官（開発協力）
経済協力局	参事官（無償資金協力）
条約局長	審議官（条約）
国連局長	審議官（軍縮・科学担当）
国連局	参事官（経済社会）
科学審議官	科学原子力政策課長
情報調査局長	参事官（情報通信）
情報調査局	参事官（企画調整）

MW8468 01

２１日午後９時より、シェルバコフ連邦第一副首相兼経済・予測大臣の記者会見が行われたところ、概要以下の通り。

１．「シ」は、連邦内閣幹部会（副首相252と官房長官が入っている。パブロフ首相は電話で承認した。）の全会一致によって採択された、要点以下の通りの声明を読み上げた。

（１）連邦内閣は、そのすべての行動において、過去・現在・未来にわたり、連邦憲法、法律の規定のみに従って行動し、連邦大統領と連邦最高会議の指令及び指示を完全に遂行している

（２）連邦内閣は、その主要な課題を、社会生活の全ての分野における合法性の確保、憲法的権利・自由・市民の利益の擁護に見る。連邦内閣の義務は、経済安定化、特に薬品、燃料産業などで生産を低下させないための経済社会的努力である。各共和国、地域、労働者集団に対し、政治的過激主義に走らず、情勢安定化のためにあらゆる措置をとるよう要請する。

（３）数日内、おそらく数時間内に国内に憲法秩序が回復されるであろうことを念頭に置き、全ての国家政府の長、国際経済機関に対し、この困難な時期にソ連との経済関係の停止に関する如何なる実際的措置もとらないよう要請する。

ソ連では、国民への食糧、医薬品、産業の原材料の供給に関し、非常に困難な状況が生じている。このような状況の下で、ソ連への、まず第一に食糧及び医薬品の供給の制限に係る措置の採択は、国を困難な状況に置き、危機の深刻化を引き起こすかも知れず、将来的には改革過程が無統制の状態になる可能性も排除されない。

２．「シ」のその他の発言以下の通り。

（１）起こった出来事の評価は、連邦最高会議においてなされなければならない。

（２）ゴルバチョフ大統領と約２０分前に電話で会話した。「ゴ」

MW8468 02

は自らが正常な執務可能な状態にある旨確認し、連邦内閣に対して、特に経済問題の解決、国内の法秩序の回復のための任務の遂行を要求した。大統領は、彼が数時間後に国内に憲法秩序が回復されるようあらゆる措置をとっていることを知らせるよう要請した。

（3）非常事態国家委員会の声明に署名したパブロフ首相は、連邦大統領の健康状態に関する情報によって誤りへと引き込まれ、それゆえにこの文書に署名した。生じた事態の下では、「パ」には副大統領に従う以外の可能性はなかった。「パ」は重病である。「パ」は、然るべき方法で起こった出来事について自らの説明を提示するであろう。

（4）ソ連における政治的不安定は、国及び国民の状況に重くのしかかるであろう。西側諸国首脳がソ連との経済関係を断ち切らないとしても、世界金融界の信用を回復することは極めて困難である。

MW8468 03

3．質疑応答

（問）パブロフ首相から今回のクーデターにつき事前に何らかの相談は無かったのか。

（答）パブロフ首相は１９日になるまでゴルバチョフ大統領が病気により職務を遂行出来なくなった事につき知らなかったようである。また自分も右事態を同日ＴＶで知ったのであり、事前に何らかの情報を得るような可能性はなかった。

（問）現在ヤゾフ元帥は何処にいるのか、「ゴ」は今何処で何をしているのか。

（答）ヤゾフが何処にいるか正確に答える事は出来ないが、ルキャノフ議長が自分に語ったところでは、「ル」、プリマコフ、クリュチコフ、イワノフ等のグループの一員になってクリミヤに向かっているはずである。「ゴ」がどのような状況にあるのか、自分は正確な情報を持っていないし、またそれを確認する術もない。ただ「ゴ」の今後の活動については、これまで通り、国家の混乱に対処するため大統領の職務を実行していくこととなろう。

（問）「ゴ」は何時、どのような形で公衆の前に再び現れるのか。

（答）自分はこのことにつき「ゴ」に質する事が出来なかった。というのも「ゴ」は２分間を自分との会話に割いたが、その時間で連邦内閣会議の内容を報告するよう要求したからである。であるが「ゴ」は、会話の調子からも数時間の内にモスクワに向け出発する積もりの様であった。

（問）このような状況下で連邦内閣は辞職する意図があるのか。

MW8468 04

（答）この問題に関し何らかの決定を行うのは連邦最高会議であり、我々ではない。連邦内閣自身は現在辞職する意志はない、というのももし我々が辞職すれば経済的混乱が更に深まり、後戻りできない状況に至ってしまう可能性すらある。

（問）貴大臣は今週月、火、本日の3日間で「ゴ」に電話をしようと試みたのか。実は「ゴ」の健康状態は良好であり、国家非常事態委員会がクーデターを図っていると疑ったことはなかったのか。また貴大臣は連邦首相に就任する事を望んでいるのか。

（答）「ゴ」とは先週土曜の午後及び日曜2～3時頃に電話連絡を行ったが、その際は極めて事務的な問題が話し合われた。クリミアに出発した当日、「ゴ」は自分との電話での会話では一度も非常事態につき話し合わなかったし、何等心配を述べなかった。その後本日明らかになったように、19日5時に電話が通じなくなり、月、火両日連絡が出来なかった。2番目の問題については我々は話し合った末、連邦内閣の個々のメンバーは共通の公としての立場を有しているという決定をした。第3番目の問題には自分は首相になる事を望んでいないと答える。

（問）連邦内閣幹部会においてパブロフ首相署名の連邦条約に関する反対文が議論されたのか。

（答）同文書はパブロフ首相の反対文ではない。なぜなら17日我々は正常且つ平静に連邦条約につき議論した結果、我々の真の立場は固まった。よって我々が連邦条約の署名を阻止しようという意志を有しているわけではない。

MW8948 05

（問）現在誰が大統領の執務を行っているのか、連邦大統領は誰なのか。

（答）大統領が「ゴ」であることに疑いの余地はない。また大統領声明により職務を執行するのも現在「ゴ」である。

（問）クリュチコフがＴＶ放送を厳しく規制した事を以下に評価するか。

（答）自分はコメントできない。

（問）誰が具体的にロシア共和国政府建物に対し攻撃を行うよう命令したのか。

（答）自分は本件につきコメントできない。現時点で誰がどのようにかかる行動を命令したのか明らかでない。

（問）ヤナーエフ副大統領の行動の評価如何。

（答）「ヤ」の行動を評価し得ない。というものヤナーエフは大統領を代行していたのであり、最高の執行機関の長に対し連邦内閣がその行動に何らかの評価を下すことは出来ない。

（問）「ゴ」の声明を如何に評価するか。

（答）自分は大統領の名でイグナチェンコ氏が用意した声明の内容に何らかの干渉をしたいと望んでいない。

（問）国家非常事態委員会は如何にして非常事態の導入の決定を行ったのか。又貴大臣はその導入に対し１人で反対投票を行ったと聞くが、事実如何。

（答）どのように決定がなされたのか、自分は答える事は出来ない。何故

MM8458 06

なら自分は非常事態が導入された後に「ヤ」との電話での連絡の中で確認したのである。よって投票も行われなかった。

レニングラード、ナホトカに転報した。

(了)

注意
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用

電信写

[redacted] [redacted] 08－055

総番号	R166940
	月 22日 [redacted]
平成 3年	8月 22日 [redacted]

主管 欧 ソ

ソ連発
本省着

外務大臣殿　　枝村大使

ソ連内政（ゴルバチョフのこう禁の状況）

第5456号 至急（ゆう先処理） [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW8469－01）

大臣 政務次官 官房長 審議官 審議官 典務課長 欧亜局長 ソ連課

北大使 経大使 国大使 外務審議官 査察大使 総括審議官 博多代表

総合外交政策局 人権人道課 文化交流課 厚生課 情報調査室 在外公館警備対策室 史料室

外報官 参事官 総務課 内政審議室

文化交流課長 審議官 一 二

条約課長 参事官 安全保障政策課 対外経済室 旅券課

アジア局 参事官 審議官 地域政策課 東南アジア課 二 北東アジア課 西 一

北米局 参事官 日米安保課 審議官 二 地位協定室

中南米局 参事官 一 二

欧亜局 参事官 審議官 西欧課 二 ソ連課 東欧課 二 大洋州課

中近東アフリカ局 参事官 一 二 アフリカ課 一 二

経済局 次長 総務課 二 経済協力課 途上国 二 審議官 経済課 一 国際経済課 一 経済安全保障室 エネルギー対策課 二

審議官 海洋室 審議官 準備室

経済協力局 審議官 政策課 国連 開発課 無償資金協力課

参事官 調査企画課 技術協力課 有償資金協力課 理事

条約局 審議官 条約課 協定課 規則課

国連局 審議官 政治課 経済社会課 人権人道課

参事官 軍縮課 社会協力課

科学審議官 科学原子力課

情報調査局 参事官 通信保安課 分析課 調査企画課

企画室

往電第5453号に関し、 MW8469 01

22日早朝のインターファックスは、クリミヤでゴルバチョフ大統領が置かれていた状態、非常事態委員会メンバーの逮捕等につきロシア共和国議会より入手した情報を伝えているところ、概要以下のとおり。

拘束されてからの2日間、ゴルバチョフ大統領及びライーサ夫人は、電話、ラジオ、テレビもなく、外部から完全に隔絶された状態にあった。自分が「健康状態のため国政に従事できないこと」を大統領が初めて知ったのは、ヤナーエフの記者会見をテレビで見ることを許されたときであった。大統領の約30名の個人警護官は一貫して忠実であったが、別荘の外部の警護官は交替させられた。21日、フォロスにやってきた非常事態委員会のメンバーをゴルバチョフは引見しなかったが、ルツコィとシラーエフの率いるロシア共和国代表団とは会見した。大統領は、非常事態委員会メンバーの活動、ロシア共和国最高会議建物の包囲と占拠の試みにつき詳細に説明を受けた。

クリュチコフは、その「特別の危険性」のために、ゴルバチョフ家族と同じ飛行機でモスクワに連行され、ヴヌコヴォ空港で民警の車に乗せられ、ロシア共和国内務省に護送された。その他の委員会のメンバーは別の飛行機で到着した。非公式情報によれば、ヤゾフ、ヤナーエフ、バクラーノフはモスクワで逮捕された。同日、モスクワでプーゴも逮捕された。

ヴヌコヴォ空港のタラップを降りてゴルバチョフは、ロシア住民、エリツィンによる支持に対する感謝の念を表明した。また、ロシアとエリツィンの堅固な立場なくして、エリツィンを守るために立ちはだかった一般の人々なくして自分は解放されなかった旨強調した。

東速高デ公館に転電した。

(了)

ファイル用

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写

[redacted] [redacted] 08－062

総番号 R167099 主管

月 22日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 22日 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連内政（モスクワ帰着時のゴルバチョフ大統領発言）

第５４５８号 大至急 [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW８４７２－０１）

大臣	政官
次官	事務次官
審議官	儀典長
北大使	経大使
欧大使	外大使
総括審議官	査研
博物館長	総務
大使	代表
総括	ロ対
文化交流	厚生
情報	オ在
警察庁	警察庁
外務報道官	参報
総務	内外
文化交流	審一二
移住	参政保
対外	旅外
地球	地球
国連	東一二
参事官	参北東西一
北米	審一二
保健	地保
中南米	参一二
欧州	審西ソ洋二
西欧	東二
領事	参一二
アジア	アア一二
次官	次総
総務	経二
経済	途博
審議官	審経
漁業	国一一
経済	経エ
国際	国安ネ二
審議官	審海
審議官	審準
経済	審政
国際	開無
経済協力	参調技有理
条約	審条
協定	規
国際	審経
経済	人
国連	参国
社会	社
科学	科原
審議官	参情
情報	新
調査	調
企画	企安

22日朝の当地テレビは、同日午前2時過ぎゴルバチョフ大統領がモスクワ帰着に際して記者の質問に答えて行った発言も放映しているところ、要旨以下の通り。

最も重要な事は、85年以降なされてきた事が、実際的な成果を挙げたということである。社会や人々は別の[redacted]となり、それが[redacted]グループの冒険主義の主要な障害になった。社会と世界は、私から何かを獲得しようという試みがなされたが、結局何も得られなかった、ということを知らなければならない。私は責任感、名誉心を持つソ連国民を祝福する。哀れな面々は存在する困難を利用し、カタストロフィーに導く道へ人々を追いやろうとした。過去72時間にわたり大統領及び家族は海上からも陸上からも軍隊によって包囲された。

私はソ連国民に感謝し、そしてロシア人、エリツィン大統領、ロシア共和国最高会議、人民代議員、労働者集団の原則的立場に対し感謝する。彼らはこの冒険主義に対し断固立ちはだかった。私はこれを誇りに思っている。

現在国家は少なからぬ問題を抱えている。私は休暇中もこれら問題に思いをめぐらしていた。それは食糧、燃料、財政、ルーブル、市場の状況、人々の明日の問題である。

このような問題に関する人々の心配、困難を利用して、彼らは、事実上大統領を転覆するという利己的な計画を実現しようとした。彼らの使者が提案を持って来たとき、私は断固拒否し、人民代議員大会ないしは最高会議の召集を要求した。

大統領は国民、世界から遮断され、孤立させられた。大統領、その家族を道徳的に辱めようとする試みがなされた。しかし結局何も得られなかったのである。

東速高デに転電した。

(了)

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

極秘

電信写

限定配布

大臣	政務次官	事務次官	外審議官	儀典長

北大使	経大使	環大使	外審議官	査察官	総括	博大使

総合対策	文化交流	厚生	情報	オ在	儀典	警察	史人

外報官	参報際内外
文長	審一二
領移長	参政保対旅外
アジア長	審地中東一二
	参北東西一
北米長	審一二保地
中南米長	参一二
欧亜長	審西欧洋一
	西東二
近アジア長	参一二アア一二
経済長	次総経途博二
	審経漁国一一
	経エ国安ネ二

	審海	審準
経協長	審政国開無	
	参調技有理	
条約長	審条協規	
国際社会協力長	審政経人	
	参軍社	
科学審議官	科原	
情報調査長	参情析調	
	企安	

総番号 R167129

月 22日 [redacted] ソ連発

平成 3年 8月 22日 [redacted] 本省着

主管 欧亜局長

外務大臣殿

枝村大使

ロシア共和国外務省よりの駐日ソ連大使の言動についての照会

第5459号 極秘

（限定配布）

２２日１１時過ぎ当館に次の如き電話（英語）が、ロシア共和国外務省ロマノフスキー参事官なる者よりあつたので、とりあえず事実関係報告する。

1．当館大島に自分はロシア共和国（ＲＳＦＳＲ）のロマノフスキーと自己しようかいの上、自分の個人的関心ではない機微な任務で伝達したいことがあると前置し、今次の事態につき（1）駐日ソ連大使がとつた立場につき、公的にとつたもの及び貴国外務省において口頭で非公式にとつたものにつき可能であれば教示願いたい、（2）右につき貴官は承知していないであろうから東京に照会の上教示願いたい、（3）以上に要請に当り自分はその内容につき情報源は一切明らかにしないことを確約する旨あわせ述べるよう指示されている、と述べた。

2．当方より、かた書き、だれの指示による照会かをたずねたところ、「欧州部」の参事官であること、ＨＩＧＨ ＬＥＶＥＬからの指示であるとした。先方は、シゲタ公使、タナカ総括参が席に居られないということなので、貴官にお話しする次第であると説明した。

3．先方は更に自分の電話番号・ＦＡＸ番号を述べ、上記3点をくり返し、もとより回答を強要するものでなく、もとより日本側において回答しないこと（ＲＥＦＵＳＥ）することも自由であると述べた。

4．当方より、は、（1）貴官の述べたところは聞きとつた、（2）必要に応じ（ＡＳ ＡＰＰＲＯＰＲＩＡＴＥ）回答することとなろう。と述べ会話を終えた。（了）

外務省

23/08:05 [redacted] 5360 02/08 P01 R167177

注意
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用

電信写

[redacted] [redacted] 08－062

総番号 R167177 主管

月 22日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 22日 [redacted] 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連内政（ルキャーノフに関するシラーエフ発言）

第5460号 至急（ゆう先処理） [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW8473－01）

外務省

往電第5456号に関し、 MW8473 01

２２日付けロシア通信によれば、同日のロシア共和国最高会議臨時セッションにおいてシラーエフ・ロシア共和国首相が、ルキヤーノフ連邦最高会議議長が実際上の「反乱の主要なイデオローグ、転覆の主要なイデオローグ」であった旨述べた。シラーエフによれば、彼がこのことを最終的に確信したのは「シ」も同席した昨日のゴルバチョフとルキヤーノフの会見の際であった。「シ」は、「ルキヤーノフがいかに卑屈に自分が何もしなかったことを正当化しようとしているのを見るのが不快であった」旨述べた。

東速高デ公館に転電した。

（了）

22/20:39 [redacted] 5320 02/08 P01 R167205

ファイル用

注意
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写

[redacted] [redacted] 08－062

総番号 R167205 主管

月 22日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 22日 [redacted] 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連内政（非常事態委員会メバーのたいほ）

第5461号 大至急 [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW8474－01）

大臣 政務次官 官房長 秘書官 審議官 審議官 審議

往電第5460号に関し、 MW8474 01

２２日付けタスは、同日ロシア共和国人民代議員大会においてステパンコフ・ロシア共和国検事総長が非常事態[redacted]員会メンバーの現状につき説明しているところ、ヤナーエフ、クリュチコフ、ヤゾフ、チジャコフ、バクラーノフは逮捕され尋問中、パヴロフは入院中、スタロドゥブツェフはモスクワにはおらずパヴロフとともに今後喚問と尋問の措置が取られ、プーゴは捜査官が彼の住宅に入ろうとしたときに自殺した。

東速高デ公館に転電した。

（了）

ファイル用

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写

[redacted] [redacted] 08－062

総番号 R167247

主管

月 22日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 22日 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連内政（ゴルバチョフ大統領のインタビュー）

第5463号 大至急 [redacted]

（以下FAX送信 MW8476－01）

外務省

一 一

大臣 政務次官 官房長 儀官 総務審議官 外務審議官 国際審議官

北大使 経済大使 国際経済研究大使 外務報道官 査察審議官 総括審議官 博士 代表

総合外交政策局 対ロシア・モンゴル 文化交流・在外日本人対策 厚生労働審議官 情報調査官

参事官 電信課 総務課 内閣官房内閣審議官 内閣外政審議室

文化交流部長 審議官 一 二

領事移住部長 参事官 総務課 保健医療対策室 旅券課 外務報道官

アジア大洋州局長 審議官 地域政策課 日米地位協定室 東南アジア一課 東南アジア二課

参事官 北東アジア課 東南アジア一課 西南アジア課

北米局長 審議官 日米安保課 日米地位協定室 二国間条約第二課 沖縄振興室

中南米局長 参事官 中南米一課 中南米二課

欧州局長 審議官 ロシア・ソ連課 欧州第一課 欧州第二課 西欧第一課 西欧第二課

参事官 欧州第一課 欧州第二課 ロシア・ソ連課

経済局長 次長 総務課 経済連携課 途上国経済協力課 博士

審議官 経済連携課 漁業室 国際経済第一課 国際経済第二課

参事官 経済連携課 エネルギー安全保障課 国際経済第二課

審議官 海洋室 審議官 準備室

総合政策局 政策企画室 国際情報官 開発政策課 情報通信課 無償資金協力課

協力企画官 参事官 調査企画課 技術協力課 有償資金協力課 理事

条約局長 審議官 条約課 条約課 協定課 規制改革推進室

国際法局長 審議官 国際法課 経済条約課 人権人道課 経済法令課

参事官 国際法課 国際紛争処理室 社会法令課

科学審議官 科学原子力課

情報調査局長 参事官 情報第一課 情報第二課 分析第一課 分析第二課 公安課

MW8476 01

２１日午後のロシア・テレビのニュース番組「ヴェスチ」は、２０日午後１１時頃収録された、クリミア半島ファロス近郊サリチ岬の別荘における、軟禁解除直後のゴルバチョフ大統領の簡単なインタビューの模様を報じているところ、「ゴ」の発言概要以下の通り（カッコ内は質問）。なお、ルツコイ・ロシア共和国副大統領、シラーエフ・ロシア共和国首相、バカーチン・安全保障会議メンバー等が一緒に映っていた。

１．今回の出来事は、冒険行為、クーデターとして以外には評価のしようがない。権限ある機関によって調査がなされなければならない。

２．自分（「ゴ」）は、外界から隔絶され、完全に孤立していた。自分は断固たる立場をとり、人民代議員大会又は最高会議の招集を要求した。彼らのみが決定権限を持っている。

３．（クーデター失敗の原因は何だと思うか）

我々が６年間働いてきたことは、無駄ではなかった。社会は以前とは違ったものになり、軍は国民に敵対しなくなっている。

４．（これからどうなるか）

共和国との合意が強化されるであろう。

５．（健康状態に問題はないか）

馬鹿げている。それは捏造だ。

東速[redacted]に転電した。（了）

高デ公館

23/08:23 [redacted] 5376 02/08 P01 R167292

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用

電信写

[redacted] [redacted] 08－053

総番号 R167292 主管

月 22日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 22日 [redacted] 本省着

外務大臣殿 枝村大使

国防相臨時代行の指名（防衛情報）

第5465号 至急（ゆう先処理） [redacted]

△△◎Aソ連◎B190◎C330◎Eタス△△

22日付「タス」が標記について報ずるところ、次の通り。

ゴルバチョフソ連邦大統領は、ソ連軍参謀総長モイセーエフに国防相臨時代行を命じた。

東速高デ公館に転電した。（了）

外務省

23/01:15 [redacted] 5330 02/08 P01 R167367

ファイル用

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写 [redacted] [redacted] 08－062

一 一

大臣 政務次官 官房長 儀官 大使 公使 参事官 書記官 長 通信 在外公館 北大西洋 経済協力開発機構 代表 総括大使 外交官 研修所 審議官 厚生労働 文化交流 審議官 警察庁 人事 在外公館 警備 史料

外報官 参事官 総括 内外

文化長 審議官 一 二

領事移住部長 参事官 政策 総括 対外旅券

アジア大洋州局長 審議官 地域 担当 東南アジア 二 参事官 北東アジア 西 一

北米局長 審議官 一 二 保健 地球

中南米局長 参事官 一 二

欧州局長 審議官 北東アジア 二 欧州連合 一 東欧 二

中東アフリカ局長 参事官 一 二 アフリカ 一 二

国際法局長 次長 総括 経済 途上国 二 審議官 経済 漁業 国際 一 一 経済 エネルギー 国際 安全保障 二

審議官 海洋 審議官 軍縮

経済協力局長 審議官 政策 国別開発 無償 参事官 調整 技術協力 有償 理

条約局長 審議官 条約 協定 規則

国連局長 審議官 政治 経済人権 参事官 軍縮 社会

科学審議官 科学原子力

情報調査局長 参事官 情報 分析 衛星 企画 安全保障

一

総番号 R167367 主管

月 22日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 23日 [redacted] 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連内政（ゴルバチョフによる新人事）

第5471号 大至急 [redacted]

（以下FAX送信 MW8484－01）

外務省

MW8484 01

往電第 JY61 号に関し、

２２日付けタスは、ゴルバチョフ大統領による一連の新人事を報じているところ、以下のとおり。

１．連邦ＫＧＢ議長代行

レオニード・シェバルシン（SHEBARSHIN）。５６才。中将。８９年３月より連邦ＫＧＢ副議長兼第１総局長（対外情報担当）。

２．連邦内相代行

ワシーリー・トルーシン（TRUSHIN）。５７才。大将。６１年より党員。９０年９月より内務次官。インターポールソ連中央ビューロー局長。

３．大統領事務局長

ボルジンを解任し、グリゴリー・レヴェンコ（REVENKO）を任命。５５才。これまで大統領顧問。９０年３月－１２月大統領会議メンバー。

~~東速高予会館に転電ヒタ。~~

（了）

23/02:05 [redacted] 5332 02/08 P01 R167390

ファイル用

注意
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写 [redacted] [redacted] 08－062

大	政	官	外	外	儀	官
大臣	務次官		務次官		典儀長	房長

北	経	局	外	査	総	博
大使	大使	ア大使	察官	括審議官		代表

総	ロ	対	文	会	厚	情	オ
察	人	国	在	儀	警	史	

外報官	参 審 総 内外
文化長	審一二
領事移住部長	参 欧 保 対旅外
アジア大洋州部長	審 地 中 東 参 北東西 一
北米局長	審 一 二保地
中南米局長	参一二
欧州局長	審 西 ソ 洋 一 北 東 二
アジア大洋州部長	参一二ア ア 一二
国際法局長	次総経途博 二 審経漁国 一 一 経 エ 国 安 ネ 二
	審海 審準
経済協力局長	審政 国 開無 参調技有理
条約局長	審 条 協規
国連代表部	審 欧 経人 参 国 社
科学審議官	科原
情報調査局長	参 情 組 調 企 安

総番号 R167390 主管

平成 3年 8月 22日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 23日 [redacted] 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連内政（対クーデター勝利集会）

第５４７５号 大至急 [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW８４８５－０２）

外務省

MW8485 01

２２日１２時より約１時間半、ロシア共和国最高会議建物裏の広場（本日より「自由ロシア広場」と命名）にて、ロシア共和国政府関係者を中心とする民主勢力の「勝利者集会」が催されたところ、注目すべき点以下の通り。なお、会場を視察した[redacted]によれば、参加者は約１０万人と見られ、クーデターに勝利した熱狂的歓喜に満ちていた。

１．エリツィン・ロシア共和国大統領演説

（１）白、青、赤の三色旗が、ロシア共和国国旗として正式に承認された。

（２）非常事態国家委員会メンバーは逮捕された。市民、ロシア共和国最高会議建物の防衛にあたった人々に感謝する。

（３）ブッシュ米国大統領など世界の指導者から、ロシアが民主主義、平和を救ったとして感謝された。

（４）非常事態国家委員会の指令を実行した諸大臣その他の指導者、１９日ではなく２１日に態度を明確にした者たちの責任を追及する。

↓

（５）民主主義が攻撃されやすいことは、ゴルバチョフにとっても教訓になったはずである。連邦条約は、民主的要素をさらに強化する必要がある。

（６）ロシア国民親衛隊（natsional´naya gvardiya）創設の問題ルツコイ副大統領に委任する。

（７）連邦の政治構造の根本的改革が必要である。

２．ポポフ・モスクワ市長演説

（１）ＫＧＢをいくつかの機関に分割し、然るべき機関の監督下におくべし。

（２）国防大臣は文民であるべし。

（３）連邦最高会議、同幹部会は廃止すべし。

MW8485 02

（4）ゴルバチョフは、エリツィンの例にならって共産党から脱党すべし。（当館注：これに対し参加者からは、「退陣、退陣」の声が上がった。）

3．シャフライ・ロシア共和国国家顧問

エリツィンが、ロシア内のソ連軍の非党化に関する大統領令に署名するよう提案する。

4．他の演説者は、シラーエフ・ロシア共和国首相、ハズブラートフ・ロシア共和国最高会議議長代行、ルツコイ・ロシア共和国副大統領、ヤコブレフ前連邦大統領首席顧問、シェヴァルナッゼ外交協会会長、エリツィン側についた軍人、民主ロシアのリーダー、ミッテラン仏大統領の個人代表などであった。

なお、ヤコブレフ前連邦大統領首席顧問は、今回の勝利を「人民革命」と呼んだ。またエリツィン側についた軍人が、反動的なソ連軍将軍を取り除くようエリツィンに求めたのに対し、「エ」が「必ずそうする」と述べる場面もあった。

2日未明の衝突の死者に対し1分間の黙祷が捧げられた。

最後に「ロシアは復活する」との大シュプレヒコールで集会は締め括られた。

東速高デに転電し、レニングラードにＦＡＸ転報し、ナホトカに転報した。

（了）

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用

電信写

[redacted] [redacted] 08－055

総番号 R167400

主管

月 22日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 23日 [redacted] 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連内政（政変に関するＫＧＢ幹部会声明）

第５４７６号 至急（ゆう先処理） [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW８４８６－０１）

大臣 政務次官 儀官 官房長 秘書官 審議官 審議長 北米局長 経済局長 国際情報局長 大使 大使 大使 博士 代表 総合外交政策局長 アジア局長 領事移住部長 外務報道官 参事官 総務参事官 内閣外政審議室長 文化交流部長 審議官 一 二 領事移住部長 参事官 総務参事官 対外関係室長 アジア局長 審議官 地域政策課長 東二 参事官 北東アジア課長 東一 西一 北米局長 審議官 日米安保課長 地球規模問題課長 中南米局長 参事官 中南米課長 欧州局長 審議官 欧州第一課長 欧州第二課長 ソ連邦課長 参事官 ロシア課長 一 二 ア一 ア二 経済局長 次長 総務課長 経済構造調整官 審議官 経済課長 国際経済第一課長 国際経済第二課長 経済安全保障室長 国際経済第二課長 審議官 海洋課長 審議官 準備 経済協力局長 審議官 政策課長 開発計画課長 無償資金協力課長 参事官 調査計画課長 技術協力課長 有償資金協力課長 条約局長 審議官 条約課長 協定課長 国際法局長 審議官 経済条約課長 人権人道課長 科学審議官 科学原子力課長 情報調査局長 参事官 情報第一課長 情報第二課長 調査企画課長 分析課長

MW8486 01

往電第 5475 号に関し、

２２日付けタスは、~~8月19日~~ 8月21日政変に関連するＫＧＢ幹部会の声明を報じているところ、以下のとおり。

我が国民主勢力の断固たる行動により挫折させられた陰謀参加者達の行動は、国家保安諸機関が擁護することを要請されている憲法に則った権力と法秩序に対抗するものと見做さざるを得ない。ＫＧＢ職員は、冒険主義者たちの反法的行動とは全く関係を有さない。ＫＧＢ職員は、国家保安諸機関の名誉が、いわゆる非常事態国家委員会への連邦ＫＧＢ指導者の参加によって汚されたことを深刻に受け止めている。

幹部会は、連邦大統領によりなされた政治的、法的評価に立脚し、国家保安諸機関指導者達に対し、連邦憲法、連邦法律、連邦大統領の諸決定に厳格に一致してその活動を行うよう呼びかける。

東速高テ公館に転電した。

（了）

ファイル用

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写

[redacted] [redacted] 08－062

総番号 R167407 主管

月 22日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 23日 [redacted] 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連内政（人事）

第5479号 大至急 [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW8487－01）

大臣	政事務次官 電務次官 外務次官 儀典官
臣秘官	官房審議官 審議官 官房長
北大使	経大使 欧大使 外務審議官 査察官 総括 博士 代表
総合外交政策	口 対 文 会 厚 情 オ
	察 人 国 在 儀 警 史
外報官	参 国 総 内 外
文長	審 一 二
領事移住部長	参 政 経 保 対 旅 外
アジア大洋州局長	審 地 中 東 二 参 北 東 西 一
北米局長	審 一 二 保 地
中南米局長	参 一 二
欧州局長	審 西 ソ 洋 二 元 東 二
参事官	参 一 二 ア ア 一 二
経済局長	次 総 経 途 博 一 審 経 漁 国 一 一 経 エ 国 安 ネ 二
	審海 審準
経済協力局長	審 政 国 開 無 参 調 技 有 理
条約局長	審 条 協 規
国連局長	審 政 経 人 参 国 社
科学審議官	科原
情報調査局長	参 情 新 報 企 安

MN8487 01

往電第5476号に関し、

1．22日付けタスによれば、ゴルバチョフ大統領令によりパヴロフ首相が解任され、本問題が連邦最高会議の審議に付される旨報じている。（注：後任については触れられておらず）

2．同日付けタスは、「ゴ」がユーリー・プレハノフKGB警護隊長をその職及びKGB幹部会員から解任し、中将のランクを剥奪する大統領令を発布した旨報じている。

（了）

3 探道2-5

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用

電信写

[redacted] [redacted] 08－055

総番号	R167435		主管
	月 22日 [redacted]	ソ連発	欧ソ
平成 3年	8月 23日 [redacted]	本省着	

外務大臣殿　　枝村大使

ソ連内政（２２日よるのニュース番組における海部総理発言：報道振り）

第５４８０号 至急（ゆう先処理） [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW８４８８－０１）

大臣 政務次官 官房長 儀典長 外務次官 審議官 審議官 総務参事官 内閣参事官 総合外交政策局 経済局 東欧局 北米大洋州局 中南米局 アジア局 北東アジア課 北東アジア課 欧亜局 欧亜審議官 欧亜参事官 欧亜参事官 欧亜参事

MW8488 01

往電第 5479 号に関し、

２２日２１：００のニュース番組「ヴレーミャ」は、ソ連のクーデターに関する各国首脳の反応を紹介するなかで、海部総理の国会における答弁につき映像とともに報じていたところ次の通り。

海部総理より、ソ連における憲法秩序の回復とゴルバチョフ大統領の帰還を歓迎するとともに、ソ連国民の決断と叡智、就中、エリツィン・ロシア共和国大統領の自由と民主主義のための闘争に敬意を表する旨の発言があった。

（了）

注意
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）。に連絡ありたい。

ファイル用

電信写

[redacted] [redacted] 08－031

大	政事外外儀官
	大務務　典房
	次次
臣	秘官官審審長長
北	経環外査総　博
大	大ア　察括　代
使	使大研審審　表
総	ロ対文会厚情オ
	察人電在儀警史
外報官	参報総内外
文長	審一二
領移長	参政保対旅外
アジア長	審地日東二
	参北東西一
北米長	審一二保地
中南長	参一二
欧亜長	審西ソ洋二
	西東二
近ア長	参一二ア一二
経長	次総経途博
	審経漁国一一
	経エ国安ネ二
	審海　審準
経協長	審政国開無
	参調技有理
条長	審条協規
国長	審政経人
	参軍社
科審	科原
情調長	参情析調
	企安

総番号　R１６７４６９　　主管

月　２３日 [redacted]　ソ連発　欧ソ

平成　３年　８月　２３日 [redacted]　本省着

外務大臣殿　　枝村大使

ソ連内政（ソ連邦大統領事務局長G．Ｉ．レヴェンコの略歴）

第５４８１号　至急（ゆう先処理）[redacted]

（以下ＦＡＸ送信　ＭＷ８４８９－０１）

MW8489 01

２２日、ソ連邦大統領事務局長に就任したＧ．Ｉ．レヴェンコの略歴以下のとおり。

レヴェンコ、グリゴーリー・イワーノヴィチ

民　　族		ウクライナ人
生年月日		1936年
略　　歴		リヴォフ高等技術専門学校、ソ連邦共産党中央委員会付属社会科学アカデミー卒
	1958年	オデッサ冷蔵機器工場技師
	1962年	ソ連邦共産党入党
	1961～68年	コムソモール専従活動家、地区コムソモール委員会第一書記、オデッサ州コムソモール委員会書記、第二書記、第一書記
	1968～72年	ウクライナ・コムソモール中央委員会書記
	1972～84年	ウクライナ共産党中央委員会監察官、キエフ州委員会書記、第二書記
	1984～85年	ソ連邦共産党中央委員会監察官、組織・党活動部副部長
	1985～90年	ウクライナ共産党キエフ州委員会第一書記
	1986～90年	ソ連邦共産党中央委員
	1989年5月～	ソ連邦人民代議員
	1990年3～12月	ソ連邦大統領会議メンバー
	1991年～	ソ連邦大統領顧問

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用

電信写

[redacted] [redacted] 08－031

総番号	R167471		主管
	月 23日 [redacted]	ソ連発	欧ソ
平成 3年	8月 23日 [redacted]	本省着	

外務大臣殿　　枝村大使

ソ連内政（連邦最高会議幹部会）

第5483号 至急（ゆう先処理） [redacted]

（以下ＦＡＸ送信　MW8491－01）

大臣官房 政務次官 外務大臣秘書官 外務審議官 外務審議官 総合外交政策局長 博物館課長 在ソ連大使館 在ロシア連邦大使館 在ウクライナ大使館 在ベラルーシ大使館 在モルドバ大使館 在ジョージア大使館 在アルメニア大使館 在アゼルバイジャン大使館 在カザフスタン大使館 在ウズベキスタン大使館 在キルギス大使館 在タジキスタン大使館 在トルクメニスタン大使館 在ロシア連邦日本人会 在ソ連日本人会 在儀警察官 在儀警察官 在儀警察官

MW8491 01

往電第5481号に関し、

22日付タス派、同日行なわれたソ連最高会議幹部会（ラプチェフ連邦会議議長、ニシャノフ民族会議議長司会）につき報じているところ次の通り。

1．次期最高会議会期（当館注：開催日については明示せず）審議される以下の議題が承認された。

（1）国家転覆の企てに関連し国内で発生した状況についてのゴルバチョフ大統領演説。

（2）ソ連人民代議員大会の召集。

（3）1991年8月18日以降の事件における連邦最高会議、国家機関幹部の役割に対する評価。

（4）1991年8月18－21日に発生した如き事件の再発の可能性を防ぐための焦眉の措置と法令の作成。

（5）連邦政府、その他の国家機関の人事異動。

2．連邦検察総長の申請を検討し、最高会議幹部会は、権力奪取を目的とする陰謀に参加した連邦人民代議員、パクラーノフ、ボロジン、ヴァレンニコフ、シェーニンに対する刑事告発と逮捕に同意を与える。

3．ソ連人民代議員グループの提案に基づき、最高会議幹部会は、連邦会議議長、民族会議議長が交替で次期臨時最高会議の議事を行なう。

（了）

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用

電信写

[redacted] [redacted] 08－062

総番号 R１６７４７２ 主管

月 ２３日 [redacted] ソ連発 欧 ソ

平成 ３年 ８月 ２３日 [redacted] 本省着

外務大臣殿 枝村 大使

ソ連非常事態宣言（ゴルバチョフ大統領記者会見）

第５４８４号 大至急 [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW８４９２－０９）

大 政(軍)(内)(外)儀(官)
大務務 次次 典房
臣秘官官審審長長
北経(国)外査(総) 博
大大ア 察括 代
使使大研審審 表
(総)ロ対文会厚情オ
察人(軍)在儀警史
(外)報官 参(軍)(総)内外
文長 審一二
(参)長 (参)(政)(経)対旅外
(アジ)長 (審)地(中)東 二
(参)北東西 二
(北米)長 (審)(一)二保地
(中南)長 参一二
(欧)長 (審)(西)(ソ)洋 二 (西)(東) 二
(ア)長 参一二ア ア 一二
(経)長 次総経途博 二 一
審経漁国 一 一
経エ国 安ネ二
審海 審準
(経協)長 審政(国)開無
参調技有理
(条)長 (審)(条)協規
(国)長 審(政)経人
参(軍)社
科審 科原
(情調)長 参情新調 (企)(安)

MW8492 01

２２日１８時４０分より約９０分、外務省プレスセンターでゴルバチョフ大統領の記者会見が行われたところ冒頭発言及び質疑応答以下の通り。

１．冒頭発言

共産党中央委員会書記長そしてソ連大統領を歴任してこれまで６年が経った。この期間に様々な重大事がありその度毎に記者会見を行ったが、本日のような記者会見は初めての出来事であり、このようなテーマでの記者会見は今後なされないことを望んでいる。

１９８５年以降、国家の再編成時においてこの数日間が最も困難な瞬間であった。我々は組織された人々による反憲法的国家クーデターに直面した。そして、常に私と共にいて、私が推薦し、信用した人々が、単にクーデターの参加者というだけでなく、大統領、憲法制度、ペレストロイカ、国民そして民主主義に反する陰謀の首謀者であった事が明らかとなった。

８月１８日１６時５０分、私のところに警護隊長がやってきて、あるグループが訪れ、会見したいと申し出た旨伝えた。私は誰をも予期していないし、招待もしていないので、それがどんなグループなのか分からないと守備隊長に答えた。何故彼らを通したのかと守備隊長に聞くと、グループの中にはプレハーノフ・ＫＧＢ警備局部長が含まれている故と答えた。そうでなければ警護官たちは、このようなグループを通すことはなかったであろう。それは非常に厳しい措置であるが必要な措置である。私は何が起こっているのか確認しようと決意し、電話をかけようとした、部屋には全ての通信手段、政府[redacted]のまた衛星の通信手段があった。そこで私は受話器を取り上げると、それは機能していない事が分かった。全ての通信は切られ、私は孤立した。よってこの一行がいつものような関係をもつ一行

ではない事が分かった。そこで私は、家族、娘婿、叔父の居る別の部屋にいき、右の出来事を伝えた。私にとって情報はこれ以上必要なく、私は大変重大な事態が起こっている、今脅迫されたり逮捕されたりとあらゆる事が起こる得ると分かった。私はライサと叔父に、もしそれが政治及び方針に関するものであれば、私は最後まで自らの立場を貫き、いかなる脅迫、威嚇、圧力にも屈する積もりはない、よって決定を変えたり、他の決定を行う事はないと言った。家族も、それはあなたの決定であり、運命を共にすると答えた。

一行の長としてボルジン・大統領府長官も、クリミアに来ていた。彼らは自分に対し最後通牒的に、副大統領に権限を委譲するよう提案した。誰が君達を派遣したのかと聞くと、委員会が派遣したと答えるので、それはどんな委員会かと尋ねると、国家非常事態委員会であるとの返事であった。誰がその委員会を創設したのか、私でもないし、連邦最高会議でもない、では誰がと問うと、人々は既に結束しており大統領令が必要であるので、大統領令を公布するか、もしくは権限を委譲して欲しいということであった。そこで私はこう言った、君達を派遣した人々は自らと国家を破滅させる冒険主義者である。食糧、燃料、早急に経済的安定、政治的状況、市場への移行を推進させる財政問題という諸問題の解決に向けた連邦条約の署名の前夜に、自殺志願者のみが現在国家に全体主義を導入しようと提案し得るのである。彼らは何も望みを達し得ないのである。

私は犯罪者たちの政治的盲目と無責任により、動揺し、憤りを心の底では感じたものの、全く冷静であった。７２時間にわたって孤立と戦いが絶え間無く続いた。私は通信が回復され、早急に飛行機が到着し、モスクワの執務室へ帰れるよう要求した。クリミアの住居ではラジオもテレビも切られたが、警備隊員は古い受信機を見つけ、アンテナをつけ、ラジオ放送

MN8492 03

を受信した。ＢＢＣ放送が最もよく入り、「自由放送」、ＶＯＡも受信できた。

私は、公民としての責任ある姿勢をとり、彼らと結託しなかったところのソ連及び外国の記者に対し謝意を表したい。ソ連社会は反乱分子を拒否し、彼らは孤立した。

MW8492 04

通信回復後、まずエリツィン、ナザルバーエフ、クラフチュク、デメンチェイ、カリモフに電話し、彼らが頑張っていることが分かった。（「ゴ」の）警護官は、海から連れ去られるのではないかと心配していたが、海軍は参加していないことがわかった。モイセーエフに対し、国防省を掌握し、全部隊は遅滞なく兵営に戻るよう命令し、ヤゾフは逮捕されるだろうと述べた。クレムリン警備連隊長に対し、自分（「ゴ」）以外には誰にも服従せぬよう指示した。

その後、ロシア共和国の代表団がやってくることを聞いた。パニコフ（当館注：民間航空大臣）、モイセーエフと協議し、交通手段を確保した。

ロシア共和国代表団とは大いに理解し合った。イワシコ、ルキヤノフとは面会した。陰謀家達には会わず、彼らは飛行機から出るとすぐに逮捕され、幽閉された。クレムリンの警備司令官には、陰謀への協力者はクレムリンには通さぬよう命じた。

明日、9共和国の指導者と会って、今回の苦い教訓その他の重要問題について討議する。今回の事態を災難ではなく、チャンスと考えなければならない。国民の真の意思、軍の立場が明確になった。

外国の指導者との対話が始まり、我々は逆行せず、より活発かつ断固として前進することに注意を向けた。今日はECの12大使と会った。彼らは連帯と支持を表明した。

ヤナーエフの命令を撤回する大統領令を出した。速やかにテレビ録画を行い、それを4つに分け、信頼できる人々に渡した。医者は健康診断書を作成し、配布した。この録画テープをイグナチェンコの方から上映させてみせても良い。

4点からなる声明を書いた。第一に、自分（「ゴ」）の病気執務不能を理由とするヤナーエフの大統領権限代行は欺瞞であり、今回の行為はクーデター以外のなにものでもない。第二に、従って、その後の「ヤ」の行為は全て違法である。第三に、ルキヤノフに対し、

MM8492 05

情勢の討議のため、連邦最高会議、連邦人民代議員大会の臨時会期の招集を要請する。なぜなら彼らのみが権限を持っているからである。第四に、非常事態国家委員会の活動を、今後上記最高会議又は人民代議員大会の決定があるまで停止する。

この声明は２０日付であり、何度も要求を繰り返した。最初は返答はないであろうとのことであったが、後になって、返答があるだろうとの答えに変わった。

既に、副大統領、非常事態国家委員会、連邦内閣のこの３日間の決定を撤回した。自己の権限の範囲内で参加者をそれぞれの職務から解任した。最高会議に解任提案をするものもある。連邦検察庁は昨日刑事事件を提起した。作業はロシア共和国検察庁と合同で行われる。このようにして一時的措置をとり、明日の共和国との会議で他の政策との力の配分を考える。

MW8492 06

2．質疑応答

（問）昨年１０月の人民代議員大会で何がそして誰が必要だったか。あのときも難しい状態だった。

（答）ペレストロイカの発展には段階がある。我々は如何なる社会で改革が行われているかを忘れてはならない。これを忘れたら何にもならない。この１０年間起こってきた我国の特徴は徹底的な改革のみならず選択の方法、形式、課題、決定を求めてきた。

率直に言って、第一段階においては我々は世論や民主的環境を作ってきた。この様なクーデターは ~~決して~~ 成功できなくなった。この５年間の課題はこの政治的コースを保持し守ることにあった。

次の段階では問題は次のように変化した。第一に２９回党大会後、深い民主的プロセスが異なった雰囲気を作りだし、この段階は異なった状態を特徴としている。強い民主的運動や強い世論があった。ペレストロイカが守る新しい価値観が現れた。一方では人々の勇気や立場が形成された。他方において、我々は ~~は~~ 変化の決定的な段階へといたった。権力や私有関係や連邦や変わった。だからこそ（連邦）条約が署名される。私はこのプロセスを深化したい。全ての人々に教訓があることを理解しなければいけない。

あらゆるシステムを変える段階へと到った。やがて新しい形式の人生が獲得される。だから敵味方とも今急いでいる。私はこの考え方、気持ち、立場を広い分析にさらしている。この点マスコミは手助けになっている。

このペレストロイカのコースを守り、この国の歴史ではじめて無血の方法で努力することを私は自分の課題とする。これを最後までやり遂げるよう確信している。この私の仕事を助けて欲しい。

MW8492 07

（問） この３日間に出されたエリツィンの大統領令及びロシア最高会議の決定に関する評価如何。

（答）今朝、一連の大統領令諸決定を読んだ。採決されたものはあの時の状況によって示されている。力と対決が必要だった。

（問）国家非常事態委員会の８人のメンバーは大統領自身が推薦した人々ではなかったか。

（答）人民代議員大会は正しかった。ヤナエフは一回目の投票で副大統領に選ばれなかったが、私はそれに固執した。これは私の一つならぬ間違いであった。ヤゾフ、クリュチコフに関しても同様である。

（問）この出来事から何を学んだか。これによりあなたの行動はどう変わったか。

（答）改革に向けての決定的な前進のためには力の再編成が必要である。これはすぐに行わなければならない。

（問）この３日間の間ソ連共産党はその指導者に反発することなく沈黙していた。もう党から出るべき時ではないか。党は既に現実に答えていない。

（答）これは党の現実をとらえた非常に重要な質問である。故に党から反動的な勢力を追放するよう努力する。我々が既に提案した新党綱領を基礎にしてあらゆる革新的な勢力を統合できる。しかし党全体が反動的勢力であるというのであれば私はそれに賛成しない。私は党の中に真の民主主義者を知っている。党を改革して（真の）改革のための生きた勢力にする。また党指導部も正しい決定をとり得る。その例として、国家非常（事態）委員会の決定を党中央委員会政治局及び書記局が支持しないことを不満として、シェーニンとプロコフィエフの二人が政治局からの脱退を声明した。

MN8492 08

（問）現在ゴルバチョフ大統領よりもエリツィン大統領に真の権力があるのではないか。

（答）この様な問題の立て方は行わない。「エ」大統領はここ数カ月の間他の共和国と共に、我々との協力と民主勢力の結集のために全てを行ってきた。非常に多くの人々があらゆる方法でこの協力を壊したがっている。しかし我々は経験で鍛えられ、誰が誰だか知っている。

（問）（１）また今回の出来事を家族と共に個人的にはどのように体験してきたか。（２）陰謀者のグループは何で動いていたのか。

（答）（１）私にとっても妻にとっても娘にとってもこの出来事はかなりつらいものであった。しかしこれは単なるエピソードになると思う。

（２）これらの人々を動かしていたのは意識的な選択、つまり変化を欲しないことであり変化に対する恐怖であろう。このグループのリーダーや社会の一部の人々はそう考えている。これは我々の古いシステムから新しいシステムへの過渡期の現実であり、システム危機である。故にこの様な現象に会う。

（問）（１）ＫＧＢの改革について、（２）放送、出版のの自由について、（３）ヤコブレフについて

（答）（１）警備の問題について今まで気楽に考えていたが、今回ＫＧＢの警備局長が事件に加担していたこともあり、何か考えなければならない。（２）基本的には民主的な方向性と合致しているとは思うが、責任や政治文化や多元主義に欠けているところがあると思う。（３）ヤコブレフの件は休暇中に知った。彼は党を改革するのに寄与すべき勢力が党から出ていくことを嘆いていた。自分は党

MN8492 '9

改革のために最後まで戦い、如何なる妥協もしない。

(3)

2

極秘第 314号

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用

04－050

電信写

[redacted]

総番号 R167492 主管

月 23日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 23日 [redacted] 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連非常事態宣言（本使所見）

第５４８６号 極秘 大至急 [redacted]

往電第５２７４号に関し、

今次クーデター発生の政治的、思想的はい景については、発生当日の１９日に当館観測を述べた冒頭往電でも一部触れているところでもあり、本電では、ゴルバチョフの政治手法や対人関係が、そのとお因となつているのではないかとの本使のいささか主観的に過ぎるかと思われる所見を、あえて申しあげ、御参考に供したい。

１．まず、政治手法についてであるが、ゴルバチョフは、右あるいは左からの攻撃に対しては、批判勢力にある程度妥協して比較的中道寄りの分子を体制内に取り込む事によつてしのぐとの手法をとつて来た。これは、概ね成功して来たが、その結果として自この体制の中にむじゆんをも取り込むこととなつた。今次クーデター参加者の何人かは、まさに昨年秋から年末にかけての保守派からの圧力を中和するためにとう用された者であり、それが最近の改革派への妥協という逆方向への動きについて行けず反きをひるがえしたとの図式と見ることが出来る。この意味で、今回の事件はこれまでの危機乗切りに極めて有効であるかに見えた「ゴ」のこうみようではあるが機会主義的な政治手法自体がるい積して来たむじゆんがろ呈したものと言うことも出来よう。今後「ゴ」としては、改革路線推進という大戦略についてのみでなく、戦術面においても、より筋を通した対応をすることを迫られるかも知れない。

２．第二には、ゴルバチョフの対人関係についての懸念である。「ゴ」が機ちにもとみ、なかなかみ力のある人がらであることは衆目の一致するところであるが、多面厳しいソ連政治を生きぬいて来ただけに、したたかで、またけんかいなところのあることは、むしろ当然である。それが、６年間第一人者としてくん臨して来たことによつて、最近では、いささか独善的で、特に自分のしゆうへんに対し非かん容になつているので

大臣 政務次官 儀官 典房 官房長
北大使 経大使 国大使 外大使 査察官 総括審議官 博士 代表
総 ロ対文会厚情オ
察人 南在儀警史

外報官 参 [redacted] 内外
文長 審一二
[redacted]長 参政保対旅外
アジア長 審地中東二 参北東西一
北米長 審一二保地
中南長 参一二
欧長 審西ソ洋二 西東二
アア長 参一二アア二
経長 次総経途博二 審経漁国一一 経エ国安ネ二
審海 審準
経協長 審政国開無 参調技有理
条長 審条協規
国長 審政経人 参軍社
科審 科原
情調長 参情初調 企安

極秘

電信写

はないかと疑わせるふしがある。「ゴ」の人間的み力を認める点で人後に落ちない本使であつても、去る4月の訪日の準備及び実施の過程で、そのような疑念をいだかさざるを得ないことがあつた。多年の盟友であつたヤコブレフやシエワルナッゼがしゆうへんから去り、はたまた今回は学生時代からの友人ルキャノフに「うら切」られるという状況では、最近とう用したばかりの「外様」が離反するのは当然とも言えよう。「ゴ」としても、ヤゾフ、クリチュコフをはじめ自分が重用して来た連中にうら切られたことは深刻なショックであるに相違なく、それへの反省が今後の同人の政治スタイルに何らかの影響を与えることは、大いにあり得る事のように思われる。

東速高デに転電した。（了）

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用

電信写

[redacted] [redacted] 08－053

総番号 R167511 主管

月 23日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 23日 [redacted] 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連軍、内務省、ＫＧＢ将軍等のひ免要求等（防衛情報）

第５４８８号 大至急 [redacted]

２２日（２１時過ぎ）のタスは、標記について次の通り報じている。

１．国家革命の際ロシア議会建物を守つた「軍、内務省、及びＫＧＢの軍勤務者」は、反憲法的非常事態委員会の命令を意識的に実行した将軍、高級将校を即時ひ免する事をロシア共和国大統領へ強く要求する。いん謀団が国家的犯罪を犯したのは、国民、宣せいにではなく党機関にけん身的なこれらの軍人官僚主義者に支えられていたからである。

２．軍、内務省及びＫＧＢは、即時非党化され、その軍・政治組織は、廃止されねばならない。その代わりにモラル・心理教育機構が創設されるべきである。われわれは、近日中にこの問題を解決することを要求する。そうでなければ、将来われわれ全てを同様のひげきから守ことは出来ない。

東速高デに転電した。（了）

大臣 政(電)次(外)次(外)儀(官)房長
(大)務官官審審長長
北大使 経(領)大使 外(領)大使 査察大研 (総)括審 博代表
(総)ロ対文会厚情オ
察人(電)在儀警史
(外)報官 参報際内外
文長 審一二
領務(ア)長 参政保対旅外
審地(中)東一
参(北)東一西一
(北)米長 (審)日二(保)(地)
中南長 参一二
欧長 (審)四(ソ)洋二 西(東)一
(新)ア長 参一二ア一ア二
経長 次総経途博一
審経漁国一
経一エ国安ネ二
審海 審準
(経)協長 審政国開無
参調技有理
(条)長 (審)条協規
(国)長 審政経人
参(電)社
科審 科原
(情)調長 参(情)(新)調
(企)(安)

23/09:43 [redacted] 5456 02/08 P01 R167556

注意
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７７）に連絡ありたい。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用

電信写

[redacted] [redacted] 08－031

大臣秘官	政務次官
事務次官	外務審議官
外務審議官	儀典長
北大使	経大使
環境庁大気保全研究審議官	外務審議官
査察人	総括審議官
総合外交政策局長	博代表
ロ大使	対ロシア支援担当大使
文化交流部長	厚生労働審議官
情報通信政策局長	在外邦人保護審議官
儀典長	警察庁長官
外報官	参事官（報道担当）内閣官房副長官補（外政）
文化交流部長	審議官（一）、（二）
領事移住部長	参事官（総括）、領事局長、旅券課長、外務報道官
アジア大洋州局長	審議官（地域）、（東南アジア担当） 参事官（北東アジア）、（東南アジア）
北米局長	審議官（日米安保）、（二国間）、（地位協定）、（沖縄）
中南米局長	参事官（一）、（二）
欧州局長	審議官（西欧）、（大洋州） 参事官（東欧）、（二）
中近東アフリカ局長	参事官（一）、（二） アフリカ大使、アフリカ審議官（一）、（二）
経済局長	次長 総合経済政策担当大使、途上国経済協力担当大使 審議官（経済連携）、（漁業）、（国際経済）（一）、（二） 経済安全保障担当大使、エネルギー資源外交担当大使、国際経済紛争担当大使、（二）
	審議官（海洋）、審議官（準備）
経済協力局長	審議官（政策）、（国別開発協力）、（無償資金協力） 参事官（調査）、（技術協力）、（有償資金協力）
条約局長	審議官（条約）、（協定）、（規則）
国際法局長	審議官（政治経済人権） 参事官（軍縮）、（社会）
科学審議官	科学技術政策担当大使、（原子力）
情報調査局長	参事官（情報）、（分析）、（調査） 企画官（安全保障）

総番号　R167556　　主管　欧ソ

月　23日 [redacted]　　ソ連発

平成　3年　8月　23日 [redacted]　　本省着

外務大臣殿　　枝村大使

ソ連内政（ＫＧＢによる組織犯罪取締状況：報道）

第５４９０号　至急 [redacted]

（以下ＦＡＸ送信　ＭＷ８４９３－０１）

MN8493 01

２１日付けタスは、連邦ＫＧＢによる組織犯罪の取締状況を報じているところ、以下のとおり。

ソ連経済に巣くう組織犯罪の摘発、活力削減のため、ＫＧＢは、検察庁、内務省と協力して取締を実施している。

外国貿易協会を作り、輸入物資の投機的再販売を行っていたグループを取締った。いくつかの莫大な利益をあげていた秘密行為を摘発し、１億８５００万ルーブルを没収した。

国家安全保障機関から供給される物資に関わる犯罪１５７件に対する捜査を開始した。うち、ＫＧＢは２５件、内務省は４２件、検察庁は９０件。１５０人以上の容疑者を逮捕した。２６件については、捜査が終了しており、８０人以上が自由剥奪の判決を受けた。３千万ルーブル、３５万米ドル、５０万独マルクを没収した。総額１億ル　ブル、５百万外貨ルーブル、６０万独マルクの損害が防がれた。

経済犯罪は、各レベルの国家、経済組織、法執行機関との関係を有している。１９９０年の経済犯罪の３分の２は、外国企業と協力関係にある協同組合、合弁企業と関係があった。現在では、経済犯罪の半数以上は、国営企業の職員により犯されている。

活動に必要な資金を得て、現金化し、犯罪行為により入手した金銭をきれいにするため、闇経済の商人は、銀行職員と犯罪関係を持つ。非国営銀行は、犯罪行為の新しい面である。非合法活動の規模を拡大し、国家の監督を複雑化するため、闇経済の商人は、法律上独立した企業、機関、協同組合による犯罪シンジケートを結成している。それは、犯罪グループのボスにより支配されている。非合法活動は、しばしば複数地域にまたがる。（了）

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイ参用

電信写

[redacted] [redacted] 08-019

総番号	R167664		主管
	月 23日	[redacted] ソ連発	欧ソ
平成 3年	8月 23日	[redacted] 本省着	

外務大臣殿　　枝村大使

ソ連非常事態宣言（内話）

第5494号 秘 至急（ゆう先処理） [redacted]

21日、ミリュコフ大統領府経済社会発展分せき部長が、他用往訪のアマエに対し述べたところ、次の通り。御参考まで。

20日よるから21日未明にかけて生じた小競り合いで3名が死亡した。エリツイン側は、この事件をけん伝し、非常事態国家委の攻撃材料に使つているが、真相は次のようである。

死亡した3人の内2人は、サドーヴオエかん状通りを走行していた装こう車にひかれて死んだが、これはぐん集が装こう車のそうじゆう席のまどに毛布をかけて視界をしや断したので、毛布を除去する為ジグザグ運転や反転をし、その際起こつた事故である。もう一人は、装こう車の上に飛び乗つて、手りゆう弾の様なものを投げようとしたところを後続の装こう車に撃たれたもので、気のどくなことではあるが、し方のない面もある。（了）

大臣 政務次官 外務大臣秘書官 外務審議官 儀典長
北大使 経大使 環境庁大臣官房審議官 外務省経済協力局長 査察管理官 総合外交政策局総務課長 博多代表
総合 口 対 文 会 厚 情 オ
察 人 電 在 儀 警 史
外報官 参 報 際 内 外
文長 審 一 二
移長 参 政 経 対 旅 外
ア長 審 地 中 東 二
参 北 東 西 一
北米長 審 一 二 保 地
中南長 参 一 二
欧長 審 西 欧 洋 一
西 東 二
近ア長 参 一 二 ア ア 一 二
経長 次 総 経 途 博
審 経 一 漁 国 一 二
経 エ 国
安 ネ 二
審海 審準
経協長 審 政 国 開 無
参 調 技 有 理
条長 審 条 協 規
国長 審 政 経 人
参 軍 社
科審 科 原
情調長 参 情 分 調
企安

注意
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）。に連絡ありたい。

ファイル用

電信写

[redacted] [redacted] 08－031

総番号	R167665		主管
	月 23日 [redacted]	ソ連発	欧 ソ
平成 3年	8月 23日 [redacted]	本省着	

外務大臣殿　　枝村大使

ソ連内政（ロシア外務次官の公開書簡）

第５４９５号　至急（ゆう先処理）[redacted]

往電第５４９４号に関し、

２２日、２１：５０のロシア通信はフョードロフ・ロシア共和国外務次官が、連邦外務省が国家と国民の利益よりも共産党の利益をゆう先していると非難する公開書簡を送付した旨報じているところ次の通り。

１９日よる、クーデターの最中の連邦外務省幹部達は、だれが金払い良いかのみを考える政治的売春ふの態度である。１９日、在外に勤務するソ連の大使は、国家非常事態委員会のよびかけを外国の指導者に交付し、承認を確保する為の活動を開始せよとの訓令を連邦外務省経由で受けた。かなり後に、連邦外務省は国家非常事態委員会に同意しない旨表明した。２０日１０：００、クヴイチンスキー連邦外務第一次官は、クーデターに対する立場を表明したエリツイン・ロシア大統領よりの在外ソ連大使館、領事館あて電報をふうさする指示を出した。在外公館は一つの残らずロシア大統領令を受領できず、ゴルバチョフ大統領の復活まで、ロシア大統領令の情報を受領出来なかつた。連邦外務省における事実上だれが国家非常事態委員会の協力者であつたを証明できる文書を提出すべきである。

東速、トルコ、イラン、ナホトカ、レニングラードに転電した。（了）

大臣	政事外外儀官
大務務	典房
次次	
臣秘官官審審長長	
北大	経環外査総 博
大ア	察括 代
使使	大研審審 表
総	ロ対文会厚情オ
	察人国在儀警史
外報官	参報総内外
文長	審一二
領移長	参政保対旅外
アジア長	審地東二
	参北東西一
北米長	審一二保地
中南長	参一二
欧亜長	審西ソ洋一
	西欧二
	参一二アア一二
経済長	次総経途博一
	審経漁国一一
	経エ国
	安ネ二
	審海 審準
経協長	審政国開無
	参調技有理
条長	審条協規
国連長	審政経人
	参軍社
科審	科原
情調長	参情報調
	企安

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

ファイル用

電信写

[redacted] [redacted] 08－062

総番号 R167895 主管

月 23日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 23日 [redacted] 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連内政（ソ連外務省幹部に対する批判）

第5499号 大至急 [redacted]

往電第5459号に関し

23日付けコムソモリスカヤ・プラウダは、「何故ベススメールトヌイフはちんもくしていたか」（B。サボフ署名）と題する論評を掲げ、政変に際しベススメールトヌイフ外相以下外務省幹部のとつた立場を非難しているところ、概要以下の通り。

3日間の反憲法的クーデターの間の「ベ」外相の行動は、21日の記者会見で主張したものとは大きく異なる。われわれが聞いたところでは、既に19日朝、「ベ」はクレムリンでヤナーエフと会い非常事態委員会の意向につき説明を受け、外務省チャネルで流すための各国政府及び国連に対するよびかけのテキストを受け取つた。「ベ」は外務省にもどりこの文書の送付を指示し、その後外務省からすがたを消した。

同じ情報源からわれわれは、大多数の在外のソ連大使が国家転ぶくに対する任国の極めて否定的な反応を本国に伝達しはじめていたことを知つた。

特別の態度を示したのがグヴエンナッゼ駐アイルランド大使で、ロイターのインタビューに対しゴルバチョフの解任は合憲的である旨述べた。ザミヤーチン駐英大使は、かかる見解の表明に留まらず、ゴルバチョフ大統領が本当に重病であることを英国首相に説得するよう試みた。殊更特別の態度を採つたのはベロノゴフ外務次官で、ソ連・ノルウエー間協議において、国家転ぶくが成立したのにはそれなりの論理がある旨主張した。

ソ連外務省最高指導部のかかる活動は当然わが国の国際的権いに打撃をあたえるとともに、外務省職員の判断をまよわせた。これらの情報が公式に確認された後には、国内においても在外においても権いを持たない者が対外活動の指導部にいることができるかどうかという問題は避け得なくなろう。

外務省

大臣 政務次官 外務審議官 儀典長
北大使 経大使 外研大使 査察審議官 総括審議官 博代表
総対文厚 ロ会情 オ
察 人 在 警 史
外報官 参 内外
文長 審一二
領長 参 対旅外
アジア長 地 東一二 北一 東西一
北米長 一二 保地
中南長 参一二
欧長 西一 ソ洋 西二 東二
アジア長 参一二 ア一二
経済長 次 総 経一 途 博 審 経一 漁 国一 経エ 国安ネ 二
審海 審準
経協長 審政 国開 無 参調 技 有理
条長 審 条 協規
国長 審 政 経人 参 軍 社
科審 科原
情調長 参 情 防 調 企 安

電信写

東速、高デ、アイルランドに転電した。（了）

24/09:09 [redacted] 5549 04/08 P01 R167903

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写 [redacted] [redacted] 08－031

大臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 儀典長
北米局長 経済局長 環境審議官 外務審議官（総括） 外務審議官（アジア大洋州担当） 博報大使 代表
総合外交政策局 ロシア課 対欧州審議官 厚生労働審議官 情報調査官 在外公館警備対策官
外務報道官 参事官（報道担当） 内閣審議官
文化交流・在外邦人保護審議官 審議官（一）審議官（二）
領事局長 参事官（政策調整担当） 領事局政策課 対外関係審議官 旅券審議官
アジア大洋州局長 審議官（地域担当） 審議官（日中韓） 審議官（東南アジア） 参事官（北東アジア） 参事官（西南アジア）
北米局長 審議官（日米） 審議官（二国間） 審議官（保健医療地球規模課題担当）
中南米局長 参事官（一） 参事官（二）
欧州局長 審議官（西欧） 審議官（大洋州） 審議官（西欧第一） 審議官（西欧第二）
ユーラシア局長 参事官（一） 参事官（二） ユーラシア審議官（一） ユーラシア審議官（二）
経済局長 次席国際経済紛争対策官 総合経済対策室長 審議官（経済連携） 審議官（途上国経済協力） 審議官（国際経済紛争対策） 審議官（国際経済担当） 経済安全保障室長 審議官（エネルギー資源担当）
審議官（海洋政策担当） 審議官（軍縮不拡散・科学部担当）
経済協力局長 審議官（政策調整担当） 審議官（開発協力担当） 参事官（調査計画担当） 参事官（技術協力担当）
条約局長 審議官（条約担当） 審議官（協定担当）
国際法局長 審議官（経済人権担当） 参事官（軍縮担当）
科学審議官 科学原子力政策室長
国際情報統括官 参事官（情報通信担当） 参事官（国際情報調整担当） 企画調整官

総番号 R167903 主管 欧ソ

[redacted] 月 23日 ソ連発

平成 3年 8月 23日 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連内政（イズベスチャ紙、プラウダ紙のタイトル変更）

第５５００号 至急（ゆう先処理） [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW８４９４－０１）

２２日付けイズヴェスチヤ紙（モスクワでは夕方発行）及び２３日付けプラウダ紙にはその冒頭タイトルを以下の通り変更しているところ、右取りあえず。（新旧タイトルコピーをを別ＦＡＸ信にて送付する。）

MW8494 01

1．イズヴェスチヤ紙

(1) 新タイトルには「万国のプロレタリアートよ、団結せよ」のスローガン（１５連邦共和国の民族語で表記）がない。

(2) 新タイトルにはレーニン勲章、赤星勲章、労働赤旗勲章がない。

2．プラウダ紙

「ソ連共産党中央委員会機関」とあるのに対し、新タイトルでは「ソ連共産党政治紙」となっている。

ＦＡＸ信と共に東遠公デに転電した。

（了）

ＦＡＸ信

ファイル用

総 番 号　R１６７９０２　　主　管

月　２３日 [redacted]　ソ　連　発　欧　ソ

平成　３年　８月　２３日 [redacted]　本　省　着

外 務 大 臣 殿　　枝 村　大 使

ソ連内政（イズベスチャ紙、プラウダ紙のタイトル翻訳）

ＦＡＸ信　至急（ゆう先処理） [redacted]

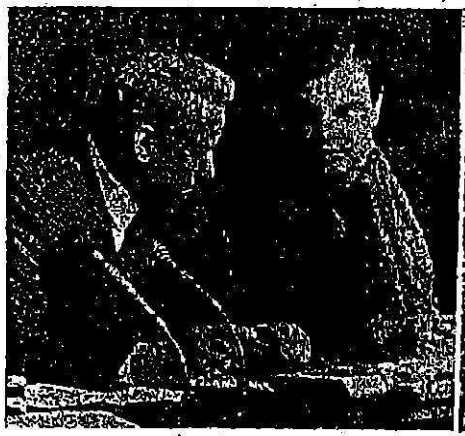
（以下ＦＡＸ送信　ＭＷ８４９５－０４）

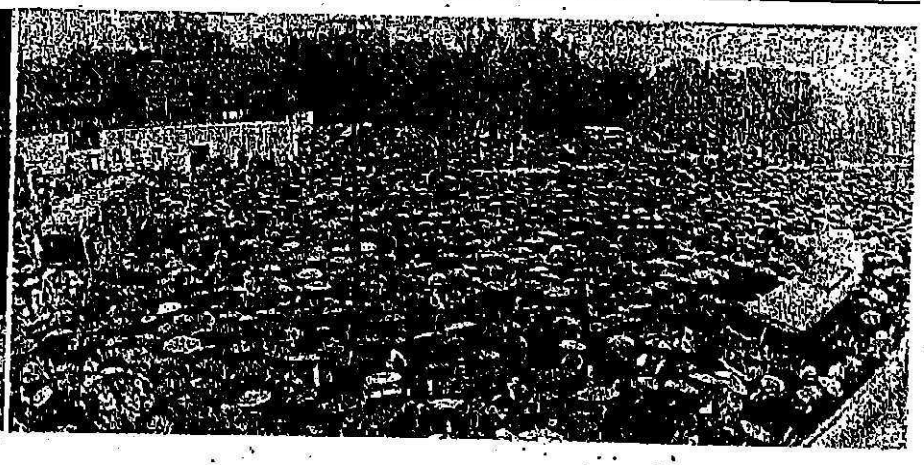
ПРОЛЕТАРИИ ВСЕХ СТРАН, СОЕДИНЯЙТЕСЬ! ПРОЛЕТАРЫ ВСІХ КРАЇН, ЄДНАЙТЕСЯ! ПРАЛЕТАРЫЙ ЎСІХ КРАІЎ, ЯДНАЙЦЕСЯ! БУТУН ДУНЁ ПРОЛЕТАРЛАРИ, БИРЛАШИНГЛАР! БАРЛЫК ЭЛДЕРДИҢ ПРОЛЕТАРЛАРЫ, БІРІГІҢДЕРІ
ЗАМГЕФЕЛЛЯТ ЗЕЗЕС ЗЕЗЕЗЕЛЬ, ВЕЗЕЛЬЧЕЛЬ! БУТУН ОЛКАЛАРНИҢ ПРОЛЕТАРЛАРЫ, БИРЛАШИНГ! VISŲ ŠALIŲ PROLETARAI, VIENYKITĖS! PROLETĀRI DIN TOATE ȚĂRILE, UNIȚI-VĂ! VISU ZEMJU PROLEĢIEŠI, SAVIENOJIETIES!
БАРЛЫК ОЛКОЛОРДУН ПРОЛЕТАРЛАРЫ, БИРИККИЛЕР! ПРОЛЕТАРХОЙ ХАМАХ МАМАЛАКАТХО, ЯК ШАВЕДЫ ФЕЛЬЁСАРЬЛЬР, ФРАЦЫ ВРЕСЬЛЬР, УНЕЛЬЧЕ ОХАЙ ЮРТЛАРЫҢ ПРОЛЕТАРЛАРЫ, БИРЛЕШИҢ! KÕIGI MAADE PROLETAARLASED, ÜHINEGE!

ИЗВЕСТИЯ СОВЕТОВ НАРОДНЫХ ДЕПУТАТОВ СССР

Газета выходит с марта 1917 года • № 199 (23465) • Московский вечерний выпуск • Среда, 21 августа 1991 года • Цена 25 коп.

Чрезвычайная сессия Верховного Совета РСФСР





Чрезвычайная сессия Верховного Совета РСФСР открылась в условиях чрезвычайного положения в городе Москве. К зданию Верховного Совета депутатам пришлось пробираться через заставы и баррикады, которые возникли за прошедшие двое суток противостояния.

Интерес к сессии привлек огромное число иностранных и советских журналистов, которые стремились еще до начала сессии получить информацию о событиях.

На сессию прибыли 90 депутатов. Они почтили память погибших трехминутным молчанием. С первых же минут открытия сессии стало ясно: парламент России настроен решительно.

По предложению исполняющего обязанности Председателя Верховного Совета РСФСР Р. Хасбулатова была утверждена повестка сессии — «О политической ситуации, сложившейся в республике в результате государственного переворота в СССР». С докладом выступил Р. Хасбулатов.

Он сказал, что страна переживает поистине трагические для нашего Отечества, когда Государственный комитет по чрезвычайному положению отстранил от власти законного Президента страны, осуществил переворот, поставил страну на грань гражданской войны.

Второй задачей они ставили отстранение от власти российского руководства, захват и интернирование Президента России. Эти цели осуществлять они последовательно и цинично. В Москву были введены войска. Более 500 танков десяти различных дивизий, включая полки спецназа и КГБ. Перед ними была поставлена прямая задача — захват здания Российского парламента, которое было окружено плотным кольцом бронетехники и войск.

Р. Хасбулатов выразил благодарность тысячам москвичей, которые встали на защиту чести и достоинства первого российского Президента, правительства и Верховного Совета РСФСР.

Далее он отметил, что практически все республики, края и области РСФСР не поддержали действия ГКЧП и не выполняют его указания по созданию структуры власти этого комитета. Однако коллективы отдельных газет — «Правда», «Советская Россия» и другие — создают ложное представление об истинном положении дел. Сегодня, подчеркнул он, все должны руководствоваться советами и долгом, а не служить угодливо реконституционному комитету узурпаторов. Далее он рассказал о тех мерах, которые были предприняты руководством России в эти дни. В частности, 20 августа состоялась встреча руководителя России с А. И. Вольским, членом которого являются упомянутые преступники. Среди причин, которые привели к перевороту, Р. Хасбулатов назвал прежде всего несогласие с подписанием проекта Союзного договора, которое должно было состояться 20 августа. Последующая за этим децентрализация государственных структур лишила членов ГКЧП реальной власти. Их не устраивали те перемены, которые происходили в России и стране. Далее он сказал, что войска все еще подчинены находятся в Москве, несмотря на то, что сегодня, то есть 21 августа, был разговор с Лукьяновым, который обещал связаться с членами ГКЧП и решить этот вопрос. Но я, подчеркнул Р. Хасбулатов, не верю им.

Затем слово взял Б. Ельцин. Он отметил, что было несколько попыток государственного переворота. Об одном из них предупредил Э. Шеварднадзе на

(Окончание на 3-й стр.)

Фото С. СМИРНОВА.

РЕАКЦИЯ НЕ ПРОШЛА!

Идет третий день июня, страх и неопределенность, которыми живет страна. До сих пор «Известия», не колеблясь, как известно, в очередь снимали запрещенных изданий, ограничивались публикацией официальных сообщений и информации о происходящих событиях. Мы полагали, что в сложившейся ситуации важно довести до людей хотя бы какую-то минимальную информацию.

Но сегодня, предваряя публикацию сообщений из Москвы, Ленинграда, других регионов Союза, мы считаем долгом высказать и свое, известинское, отношение к происходящему. Чем дальше, тем все очевиднее, что отстранение от власти Президента СССР М. С. Горбачева, введение чрезвычайного положения, какими бы устрашающими они ни мотивировались, не только не спасают страну от жесточайшего кризиса, но, напротив, усугубляют его, не только не отводят опасность гражданской войны, но — вот что страшно — может ее приблизить.

Читайте в репортажах и сообщениях наших корреспондентов, в заявлениях общественных организаций, государственных деятелей, в информации из-за рубежа о том, как там оценивается последние события в СССР, начиная с документов ГКЧП и кем, мы надеемся, станет позитивным финал: чрезвычайные меры, насилие, антидемократические действия не могут принести мир, спокойствие и согласие, так необходимые сегодня нашей многострадальной стране.

Да, мы очевидно в тяжелейшем положении, экономика, кажется, дошла до крайней черты. Да, нужны меры, направленные на стабилизацию обстановки. Но они должны опираться на закон и только закон. Мы не пытаемся силой остановить на пути, ведущий в бездну. Но есть еще большая сила — это разум и единство народа, который сегодня, возможно, впервые за последние годы, действительно начинает осознавать: мы — не рабы!

В нем — наша надежда. И спасение.

Арест членов ГКЧП

Организаторы военного переворота, члены так называемого «Государственного комитета по чрезвычайному положению» арестованы по пути в аэропорт Внуково. Об этом только что сообщили агентства Рейтер и Франс Пресс со ссылкой на не названного депутата Верховного Совета РСФСР.

(Получено по каналам ТАСС).

ИЗВЕСТИЯ

Газета выходит с марта 1917 года

СОВЕТОВ НАРОДНЫХ ДЕПУТАТОВ СССР

№ 200 (23466) • Московский вечерний выпуск • Четверг, 22 августа 1991 года • Цена 25 коп.

ЗАЯВЛЕНИЕ ПРЕЗИДЕНТА СССР

Михаил Сергеевич Горбачев сделал заявление для телевидения и радиовещания страны. Он подчеркнул, что полностью владеет ситуацией, восстановлена связь со страной, прерванная в результате авантюристических действий группы государственных лиц. В ближайшие сутки Президент приступит к полному исполнению своих обязанностей. Президент СССР имел телефонную беседу с товарищами Ельциным, Назарбаевым, Кравчуком, Дементеем, Каримовым. Все они единодушно осудили попытку антиконституционного переворота, сорванную в результате решительных действий демократических сил страны. Руководители республик сообщили, что эти антиконституционные действия не поддержаны ни высшими органами, ни народами республик, авантюристы понесут полную ответственность за свои противозаконные действия.

М. С. Горбачев дал указание начальнику Генерального штаба Вооруженных Сил СССР Моисееву отвести все войска в места их постоянной дислокации. И впредь выполнять только распоряжения Президента СССР. 21 августа М. С. Горбачев имел телефонный разговор с Президентом США Бушем. Президент США выразил свое глубокое удовлетворение, что сложнейшая ситуация, возникшая в результате неконституционных действий группы лиц, пресечена. Со своей стороны Президент Горбачев подчеркнул, что общество, народы страны отвергли эту авантюру. В СССР будут продвинуты качественно новые процессы, зародившиеся в ходе демократических преобразований. Президенты договорились поддерживать достигнутые контакты и продолжить сотрудничество по всем направлениям в соответствии с достигнутыми ранее договоренностями.

(ТАСС).



На снимке: во время встречи на аэродроме в Москве.

Фото Ю. Лизунова (ТАСС).

Два главных тезиса для нас.

Первый. Среди тех лиц, благодаря которым этот путч зачинался стремительным и сокрушительным крахом, а хотел и, несмотря ни на что, назвать рядом с именем Бориса Николаевича Ельцина еще одно имя: Михаил Сергеевич Горбачев. При том, что сам он все эти дни находился в изоляции, не был под домашним арестом, но не был в Москве, не берусь утверждать, что в отличный, отрезанный от событий, оказался из них вне всякого влияния.

Второе. Среди тех лиц, которые несут ответственность за то, что этот путч вообще стал возможен, без тени сомнения, я также назвал бы имя Чебуквально вместе с ним будто министра обороны — это имение всей армии, имение председателя КГБ — имение всех чекистов... Вроде бы все рассчитали, вроде бы уповали именно на то, что общепризнанно, что неоспоримо и что действительно вызывает в стране массовое недовольство. Разве экономика — реальность. Как и растущие цены, падение жизненного уровня народа, межнациональные кровопролития, разгул преступности.

Бесспорно: многие из начатых Горбачевым реформ застопорились на полпути, не получив логического продолжения. Многое из того, что произошло за годы перестройки, что вроде бы привыкли, что демократия — пустые слова. Признаки не отказаться всерьез и «так называемым демократам», которые «рвутся к власти», хотя у них сейчас на эту власть чуть ли не хватит, чуть ли не самодельных ассамблеях.

Так что же они не учли? Не учли они того, каким мощным гарантом сохранения демократии и законности в нас могут стать республиканские структуры. Прежде всего в Российской Федерации, прежде — Президент России с его властью, данной народным доверием. Не учли, что гарантию демократии в новых условиях способен стать и сам

ПАРЛАМЕНТ РОССИИ ПРИЗЫВАЕТ К БДИТЕЛЬНОСТИ

Парламентские корреспонденты «Известий» И. Елистратов, Г. Шакитько, С. Чугаев передают из Дома Советов РСФСР

«Единодушное осуждение» — это расхожее выражение не такого уж давнего прошлого тем не менее наиболее точно характеризует отношение к ГКЧП российского парламента. Ни одной фракции, ни одной группы депутатов, ни одного человека, который бы поддержал действия путчистов. Даже те, кто в последние месяцы был в оппозиции к Президенту России, кто с ним спорил, кто с ним не соглашался, — и они осудили попытку государственного переворота.

Но было не обошлось сказать и об ответственности Горбачева за то, что случилось.

Помните, совсем недавно, на заседании Президиума Верховного Совета РСФСР, на встрече с руководителями фракций, на заседании Совета Республики, на пресс-конференциях Президента России Б. Ельцина, на встречах с избирателями, в выступлениях в средствах массовой информации депутаты России во главе с Президентом России Б. Ельциным, руководители Верховного Совета России, Правительства России, Президента России неоднократно говорили о том, что в стране готовится государственный переворот, что в стране создана мощная организация, которая ставит своей целью свержение законно избранных органов власти

91年 8月23日 12:40 ЕЛЕЦКАЯ 5
(49224)
03 09 91
Ш0499-03/04

Пролетарии всех стран, соединяйтесь!



Газета основана
5 мая 1912 года
В.И.ЛЕНИНЫМ

ПРАВДА

Орган Центрального Комитета КПСС

№ 201 (26649) • Четверг, 22 августа 1991 года • Цена 10 коп.

НОВОСТИ ДНЯ

Заявление Президента СССР

Михаил Сергеевич Горбачев сделал заявление для телевидения и радиовещания страны. Он подчеркнул, что полностью владеет ситуацией, восстановлена связь по стране, прекращена в результате авантюрных действий группы государственных лиц. В ближайшие сутки Президент приступит к полному исполнению своих обязанностей. Президент СССР имел телефонную беседу с товарищами Ельциным, Назарбаевым, Кравчуком, Демокеевым, Каримовым. Все они единодушно осудили попытку антигосударственного переворота, организованную в результате решительных действий демократических сил страны. Руководители республик сообщили, что эти антиконституционные действия не поддержаны ни высшими властями, ни народами республик. Авантюристы понесут полную ответственность за свои противозаконные действия. М. С. Горбачев дал указание начальнику Генерального штаба Вооруженных Сил СССР Моисееву отвести все войска в места их постоянной дислокации. И впредь выполнять только распоряжения Президента СССР. 21 августа М. С. Горбачев имел телефонный разговор с президентом США Бушем. Президент США выразил свое глубокое удовлетворение, что сложившаяся ситуация, возникшая в результате неконституционных действий группы лиц, пресечена. Со своей стороны Президент Горбачев подчеркнул, что общество, народы страны отвергли авантюру. В СССР будут продолжены начатые коренные демократические преобразования, наращиваться процессы, зародившиеся в ходе демократических преобразований. Президенты договорились поддерживать постоянные контакты и продолжать сотрудничество на всех направлениях в соответствии с достигнутыми договоренностями. (ТАСС).

Заявление Секретариата ЦК КПСС

В критический момент истории государства Секретариат ЦК считает необходимым довести свою позицию до коммунистов, всех граждан нашей страны.

В очередной раз руководящие органы КПСС поставлены перед тяжелыми фактами и необходимостью давать свою оценку уже свершившихся политических событий.

Процесс всестороннего обновления советского общества, начатый КПСС в апреле 1985 года по инициативе Генерального секретаря ЦК партии М. С. Горбачева, является исторической необходимостью и отвечает высшим интересам советского народа.

Секретариат подтверждает свою приверженность курсу на демократическое обновление советского общества — нашей многонациональной федерации, принципам и целям, изложенным в документах XXVIII съезда КПСС и в проекте новой Программы КПСС.

В последние годы было положено начало важным позитивным сдвигам в общественной жизни, созданы предпосылки для преодоления наследия тоталитарного прошлого. Однако масштабы накопившихся проблем, просчеты, допущенные при их разрешении, привели к глубокому кризису общества и государства. Тем не менее мы считаем, что преодоление кризиса должно осуществляться только конституционным путем.

Секретариат ЦК КПСС считает недопустимым использование временных чрезвычайных полномочий для установления авторитарного режима, создания антиконституционных органов власти, попыток использования силы.

Мы выступаем за безотлагательное рассмотрение сложившегося положения Верховным Советом СССР и при необходимости—Съездом народных депутатов.

Мы выступаем за срочное проведение Пленума ЦК с непременным участием Генерального секретаря ЦК КПСС М. С. Горбачева.

Секретариат ЦК призывает коммунистов всемерно содействовать сохранению гражданского мира, поддержанию правопорядка в стране, созданию условий, в которых граждане СССР могли бы с полной ответственностью сами определять свое отношение к коренным проблемам развития общества.

Мы обращаемся ко всем гражданам с призывом соблюдать выдержку и спокойствие, не допускать сбоев в трудовом ритме. Особого внимания требуют завершение уборки урожая и подготовка к зиме. Необходимо сделать все, чтобы устранить угрозу энергетического и продовольственного кризиса.

Мы выражаем надежду, что добрая воля и труд советских людей обеспечат развитие страны на пути мира, согласия и созидания.

Секретариат ЦК КПСС

Военные уходят в гарнизоны

Казенные слова «пункты постоянной дислокации сегодня, кажется, зазвучали, как любимая сердцу музыка. Да, военные, которым было приказано участвовать в поддержании режима чрез-

Россия спасает Союз

У здания Верховного Совета РСФСР, где вчера открылась чрезвычайная сессия российского парламента, собрались тысячи людей. На головах десятки палаток, самодельных зарытий ворот в СССР, а затем уже ее слово Р. Хасбулатову.

— Чрезвычайная сессия Верховного Совета РСФСР,— сказал он,— созвана в драматические дни для нашего

стей. Р. Хасбулатову следовало бы это произнести своих полномочий и не требовать от сессии принятия антиконституционного решения о национализации «Правды», телевидения и ряда других

ничения на деятельность российских средств массовой информации, тем более что в других республиках такие ограничения не вводились;

отменить действие чрезвычай-

Пролетарии всех стран, соединяйтесь!

Газета основана
5 мая 1912 года
В.И.ЛЕНИНЫМ

ПРАВДА

Общеполитическая газета КПСС

№ 202 (26650) • Пятница, 23 августа 1991 года • Цена 10 ко

Возвращение Президента СССР

Президент [illegible] М. С. Горбачев в ночь на 2[illegible] августа возвратился в Москву.

— Самое главное,— заявил М. С. Горбачев на аэродроме, в интервью советскому и телевидению,— все, что мы сделали после 1985 года, уже дало свои реальные плоды. Общество, люди сами стали другими, и это было главным препятствием на пути той авантюры, которую предприняла группа лиц. Общество, весь мир должны знать, что тут затевалось и что хотели сделать со мной, что они не получили от меня. Это я вам скажу, может быть, завтра. Самое позднее послезавтра, я скажу. Завтра буду пресс-конференцию.

Я поздравляю советских людей, у которых есть и чувство ответственности, и чувство достоинства, и забота о том, что они с уважением относились во всей, кому вверена власть. Какая-то жалкая кучка под дулами автоматов авантюристов, используя трудности, о которых мы все знаем, которые все всех волнуют и которые мы измеримо решать — тут не может быть двух мнений,— хотела под этим дулом автомата толкнуть людей на такой путь, который топил все наше общество в катастроф.

Это не провал. И это — величайшая победа демократии.

То, что пытались сделать с Президентом в эти дни, с его семьей, когда 72 часа обложили его войсками на море и на суше и хотели сломить волю,— ничего этого не получилось.

Но это — часть вопроса. Вторая часть вопроса — я выражаю признательность советским людям — за принципиальную позицию российскому Президенту России Борису Николаевичу Ельцину, Верховному Совету [illegible]

А рядом с ними позиция такая же бескомпромиссная, решительная — за то, чтобы решать все, что у нас возникло. А у нас немало проблем, мы их знаем, они нас беспокоят — этим я занимался, когда еще собирался в отпуск. Все дни в отпуске я занимался этим же. Это продовольствие, топливо, финансовый долг, это наш рубль, положение на рынке, это то, что будет завтра с нашими ходами,— все это мы должны делать.

Но эти люди, воспользовавшись трудностями переходного периода, необычайной напряженностью в обществе и беспокойством о том, что будет с нами, решили реализовать под давлением этих трудностей свои далеко идущие планы — для того, чтобы вернуть, по сути дела, наше общество в беду. Эту диктатуру я отвергаю, когда ко мне явились эмиссары с предложением поддержать ее, я сказал, что это погубит их и страну. И решительно против. Я потребовал, чтобы был немедленно созван съезд, или минимум — Верховный Совет. Подробности всего того, что происходило в эти дни, еще скажу.

72 часа Президент страны был блокирован, изолирован от народа, от страны, от мира. И должен был отстаивать. Наверно, цель была такая: сломить морально Президента и воздействовать на его семью. Ничего из этого не получилось. И прежде всего не получилось потому, что — я уверен — это не людей, занявших Президент СССР.

Он... подчеркнул, это его — урок для всех: для Президента, для журналистов, для политиков. Президент отвергает согласие, завязавшееся после этих событий, позицию России и других республик. Оно не [illegible]точно, оно — еще не гарантия.

23/20:52 [redacted] 5524 02/08 P01 R167974

ファイル用

秘

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写

[redacted] [redacted] 08－055

総番号 R167974 主管

月 23日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 23日 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連内政（党中央委の状況：[redacted]内話）

第5501号 秘 大至急 [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW8496－01）

大臣 政務次官 官房長 儀官 典房 欧亜局長

北大使 経大使 欧大使 外研 査察 総括審議官 博代表

総合政策 口対 文化交流 会計 厚生 情報 オ史

警察庁 人事 在外 儀典 警備

外報官 参事官 総務 内外

文化交流 審議官 一 二

領事 参事官 政策 保護 対外

アジア 審議官 地域 甲 東一 東二 西一

参事官 北東

北米 審議官 一 二 保地

甲南 参事官 一 二

欧亜 審議官 西一 西二 ソ連 欧 東一 東二 洋

参事官 一 二

アジア 参事官 一 二 ア一 ア二

経済 次長 総括 経二 途上国

審議官 経一 経済 漁業 国一 国二

参事官 経エ 安保 国二

審議官 海洋 審議官 準

経協 審議官 政策 国連 開発 無償

参事官 調査 技術 有償

条約 審議官 条約 協定 規則

国連 審議官 政策 経済 人権

参事官 軍縮 社会

科学 審議官 科学 原子力

情報 調査 参事官 情報 企画 調査 安全保障

外務省

秘

M18196 01

23日12時40分、他用にて電話した吉田に対し、ソ連共産党中央委[redacted]が内話越したところ、以下のとおり。(南は込みのまま)とりあえず。

「昨日のロシア共和国当局の決定により、中央委の建物は党のものではなくなった。状況は完全な混迷の中にあり、ここは閉鎖されるかも知れない。(「完全な混迷」とは具体的にどういう状況か、との当方の質問に対し)皆最後の整理をしているということである。自分は今持ち物の整理をしているが、他の部員達も文書の整理をしているところである」

(3)

注意
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写

[redacted] [redacted] 08－055

総番号 R167975 主管

月 23日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 23日 [redacted] 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連内政（一連の中央紙編集長のモスクワジャーナリスト同盟からの除名）

第５５０２号 至急（ゆう先処理） [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW８４９７－０１）

大臣 政務次官 外務次官 儀官 官房長 秘書官 審議官 審議官 長

北大使 経大使 園大使 外大使 査察官 総合外交 博大使 代表

総合 ロ対 文化 会議 厚生 情報 オ在 警察 史人 警察官

外報官 参事官 総務 内外

文化長 審議官 一 二

領事移住部長 参事官 総務 領事 旅券 外国人

アジア局長 審議官 地域 中東 一 二

参事官 北東 西 一

北米局長 審議官 日米 二 保地

中南米局長 参事官 一 二

欧亜局長 審議官 西欧 ソ連 洋 一

参事官 西欧 東欧 二

アジア大洋州局長 参事官 一 二 アジア 一 二

国際情報局長 次長 総括 経済 博

参事官 経済 一 漁業 国際 一 二

経済局長 経済 エネ 国際 安全保障 二

審議官 海洋 審議官 準備

経済協力局長 審議官 政策 国別 開発 無償

参事官 調査 技術 有償 理

条約局長 審議官 条約 協定 規則

国連局長 審議官 政策 経済 人権

参事官 軍縮 社会

科学審議官 科学原子力

情報調査局長 参事官 情報 分析 調査 企画

企画 安全

往電第 5501 号に関し、 MW8497 01

２３日付けトルード紙は、モスクワジャーナリスト同盟の声明を掲載し、政変に際し「陰謀参加者を容認し支持した」マスコミ諸機関幹部の同盟からの除名に関する決定を報じているところ、要旨以下のとおり。

政変の当初よりモスクワジャーナリスト同盟は民主々義の擁護に立ち上がった。我々は、日夜ロシア共和国大統領とともに働いたジャーナリストを誇りにする。しかし、民主々義と自由のための戦いの代わりに陰謀参加者を容認し、支持する道を選び、彼等の行動を支持する記事を書き、掲載した者を許すことはできない。まずこの責任を負うのは、プラウダ紙のフロロフ編集長及びセレズネフ第一副編集長、チーキン「ソビエツカヤロシア」編集長、ユルコフ「ラボーチャヤ・トリブーナ」編集長、ハルラモフ「農村生活」編集長、ルイセンコ「モスコフスカヤ・プラウダ」編集長、シーシキン・タス通信者第一副社長である。我々の職業的義務に則り、同盟書記局は、これらの指導者は我々の同盟に今後留まることはできないと考える。転覆の組織者の幇助と支持、モスクワジャーナリスト同盟規約違反、マスコミに関するソ連邦法律違反により、これらの者は同盟から除名される。クラフチェンコ・テレビ・ラジオ公社総裁については既に除名済みである。

モスクワのジャーナリストが自分達の新聞に不足していることに関連し、我々はロシア共和国最高会議幹部会及びモスソビエトに対し、「モスコフスカヤ・プラウダ」を国有化し、これをモスクワジャーナリスト同盟に譲渡するよう提案する。

〈了〉

23/20:55 [redacted] 5525 02/08 P01 R167976

ファイル用

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写 [redacted] [redacted] 08－055

総番号 R167976 主管

月 23日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 23日 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連内政（イズベスチャ編集長の解任等）

第５５０３号 大至急 [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW８４９８－０１）

大臣 政務次官 官房長 儀官 条約局長 欧亜局長 北米局長 経済局長 国連大使 軍縮大使 博多代表 審議官 総合外交政策局 アジア局 中南米局 審議官 総務課長 審議官 審議官 審議官

往電第5502号に関し、 MN8498 01

２３日付けコムソモーリスカヤ・プラウダは、昨２２日、イズベスチャのエフィーモフ編集長が「叛徒たちに尽くした」ことを理由に編集部によって編集長職を追われ、また、エフィーモフの犯罪者幇助に関する書類がロシア共和国検事局に送付された旨報じている。また、連邦最高会議幹部会が政変の３日間、イズベスチャ紙がグラースノスチを保証しなかったことに鑑み、同紙の最高会議幹部会への所属を停止し、イズベスチャの地位に関する問題を決定することとなった。

（了）

ファイル用

秘

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写

[ ] [redacted] 08－055

総番号	R１６７９７９
	月 ２３日 [redacted] ソ連発
平成 ３年	８月 ２３日 本省着

主管 欧 ソ

外務大臣殿　　枝村大使

ソ連内政（ミリュコフ内話）

第５５０４号 秘 大至急 [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW８４９９－０３）

大臣 政務次官 秘官 官房長 審議官 審議官 典務課長
北大使 経大使 国大研 外務審議官 査察官 総括審議官 博多代表
総合 ロ対 文化 会議 厚生 情報 オ在 警察庁 史人 電気通信
外報官 参事官 総務課長 内閣外政審議室
文化交流室長 審一 審二
領事移住部長 参事官 領事 政策 対外経済
アジア局長 審地 甲一 東二 参一 北東 西一
北米局長 審一 審二 保地
中南米局長 参一 二
欧亜局長 審西 二 ソ連 西二 洋
アフリカ局長 参一 二 アア 一二
経済局長 次総 経一 途上 博二 審経 一 漁業 国二 経エ 安ネ 国二
審議官 海洋 審議官 準
経済協力局長 審政 国連 開発 無償 参調 技術 有償
条約局長 審条 協規
国際法局長 審政 経人 参軍縮 社
科学審議官 科原
情報調査局長 参情 分析 調査 企画 安全保障

外務省

秘

M#8499 ページ 1.

(三八〇字)

23日午前，大江は連邦大統領府にミリュコフ部長を往訪，短時間話し合った際、先方の述べたところ3次の通り。尚，大統領府正面玄関ホールには，従来，KGBと軍より夫々1名づつ，計2名の制服を着た衛兵が訪問者のチェックを行っていたが，今回は「監督」(RASPORYADITELJ)と書かれた腕章をつけた平服の若者がKGBの衛兵に取って代わり，厳しいチェックを行っていた。

1. ボルジン大統領府長官が陰謀に深く加担していたことが，昨夜の記者会見でゴルバチョフ大統領自身の口から明らかにされ，大統領府職員は自分を含め皆大いに驚いた。

2. レベンコ新長官はキエフ出身のウクライナ人で，先の連邦大統領会議のメンバーであった。同会議の消滅後，「レ」は大統領の民族問題担当顧問として新連邦条約の作成に当初より大きく関わってきた。今回の如き事件の直後ということもあるが，連邦と

秘

MM8994 02 2.

(三八〇字)

英和間との関係をとりまとめていく点にはうってつけの人材と云える。また人格円満であり皆に親しまれている。

(よって、当方より、~~対ソ~~ 対ソ 技術支援を含む日ソ関係全般を前向きに進めることと「レ」長官と枝村大使との会見を早急にアレンジ願いたい旨要望したところ、「ミ」は(自分としても全く同感であり)早速「レ」長官につないで遣ると回答する旨述べた。後刻、「ミ」より電話にて、「長官は大使とお会いすることを原則了承したが、目下ゴルバチョフ大統領と各英和国首脳との会談が続いており何時終るか分らない。時間がとれ次第お知らせする」旨連絡越した。)

3. 同紙の通り、保守派による陰謀が失敗し「ゴ」政権の正統性が回復されたが、ソ連全体は依然各種に類している。自分(「ミ」)としては、この際日本側に対し、是非共、以下の協力を要請したい。

先ず、1億ドルの食糧援助を早急にと

秘

MH&499 03 3.

(三八〇字)

りまとめ実施して頂きたいということ（よって、当方より、梅部・ゴルバチョフ電話会談に言及し、早急に行うことが記されている旨説明。）、第2は、2億ドルの政府保証を含む3.5億ドルの支払遅延分のリファイナンスを年明に実施願いたいということである。なお、この問題についても、日本政府においても協力頂きたい。（その後、首電政ソ合第1594号が接到したので、右を踏まえ「ミ」部長に日本政府の立場を通報しておいた。）

(3)

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写 [redacted] [redacted] 08－055

総番号	R１６７９８９
月日	[redacted]
平成 3年 8月 23日	[redacted]

主管
ソ連発 欧 ソ
本省着

外務大臣殿　　枝村大使

ソ連内政（地方の動せい）

第５５０６号 至急（ゆう先処理） [redacted]

往電第５４８９号に関し

２３日１３：００現在のタス、インターファックス、ロシア通信が報じる地方の動せいを取りまとめたところ次の通り。

１．ロシア

２２日、モスクワ市ソヴイエト臨時会期で、ポポフ市長は今次クーデターは、民主勢力が強化されるならば自この権力をしよう失することを恐れたソ連共産党の専従機関員によりおこなわれたところ、クーデターを指示した社会団体、就中「大そ国戦争及び労働ベテラン会議」の活動を禁止する必要がある旨述べた。

モスクワ市ソヴイエト臨時会期は、エリツインをモスクワ名よ市民とする旨決定した。

国家非常事態委員会の創設に反対してストを行つていたケメロヴオ（西シベリア）のたんこうが２３日業務を開始した。

２２日、ヴオルクタ（コミ自治共和国）のたんこう夫がゴルバチョフ・ソ連大統領とエリツイン・ロシア共和国大統領を支持する集会を行い、スト中止を決定した。

２．リトワニア

２３日、最高会議は、「リ」共産党（ソ連派）の「リ」領域における活動を禁止した。

スエーデン、フインランド、ポーランド、ナホトカ、レニングラードに転電した。（了）

大臣 政務次官 官房長 審議官 審議官 外務審議官 儀典長
北大使 経大使 欧大使 国際経済審議官 外務報道官 査察審議官 総括審議官 博士 代表
総合外交政策局長 対人地雷担当大使 国際社会協力部長 在外邦人等保護課長 警察庁長官 安全保障会議事務局長
外務報道官 参事官 内閣審議官 内閣外政審議官
文化交流部長 審議官 一 二
領事移住部長 参事官 総括公使 対日審査・監察官 旅券課長
アジア大洋州局長 審議官 地球規模課題審議官 東南アジア担当大使 一 二
参事官 北東アジア課長 東南アジア課長 一
北米局長 審議官 一 二 保健医療政策担当大使
中南米局長 参事官 一 二
欧州局長 審議官 ソ連邦担当大使 一 西欧担当大使 東欧担当大使 二
アフリカ部長 参事官 一 二 アフリカ開発会議担当大使
中近東アフリカ局長 次席中東アフリカ審議官 総合経済外交政策課長 途上国協力課長 経済連携課長 国際エネルギー課長 安全保障政策課長 二
海洋政策担当大使 審議官 準備室長
経済局長 審議官 政府開発援助調整官 無償資金協力課長 科学技術協力課長 有償資金協力課長
条約局長 審議官 条約課長 国際法局長 国際協力局長
国際法局長 審議官 経済条約課長 人権人道課長
国際社会協力部長 審議官 軍縮不拡散・科学部長 原子力課長
科学審議官 参事官 原子力政策課長
情報調査局長 審議官 内閣衛星情報センター次長 総務課長 調査企画課長 分析第一課長 分析第二課長 国際情報統括官

ファイル用

秘

注意
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写

[redacted] [redacted] 08－055

総番号 R168001

月 23日 [redacted] ソ連発

平成 3年 8月 23日 [redacted] 本省着

主管 欧ソ

外務大臣殿 枝村大使

ソ連内政（「ベ」外相の辞表提出）

第5507号 秘 大至急 [redacted]

（以下FAX送信 MW8501－01）

大臣 政次官 事務次官 官房長 儀官 典審 秘審 官審 官房長

北大使 経大使 欧大使 外大使 アジ局長 査察官 総括審議官 博審 代表

総合外交政策局長 ロ対大使 文化交流部長 厚生審議官 情報調査官 オ在 ウ在 イ在 ギ在 警察庁長官 史審

外報官 参事官 総務参事官 内閣審議官 内外

文化交流部長 審議官 一 二

領事移住部長 参事官 政策調整室長 保健医療対策室長 旅券課長 外国人課長

アジア局長 審議官 地域政策課長 東南アジア第一課長 東南アジア第二課長 北東アジア課長 西欧第一課長

北米局長 審議官 日米安保課長 二国間条約第二課長 地位協定室長

中南米局長 参事官 中南米第一課長 中南米第二課長

欧亜局長 審議官 欧州第一課長 欧州第二課長 西欧第一課長 西欧第二課長 東欧第一課長 東欧第二課長

アジア局長 参事官 アジア第一課長 アジア第二課長

経済局長 次長 総務参事官 経済協力局長 審議官 経済課長 漁業課長 国際経済第一課長 国際経済第二課長 エネルギー対策課長 国際機関第二課長

審議官 海洋法室長 審議官 準備室長

経済協力局長 審議官 政策課長 国別開発協力第一課長 無償資金協力課長

参事官 調査企画課長 技術協力課有償資金協力部長 理事

条約局長 審議官 条約課長 国際協定課長 法規課長

国連局長 審議官 政治課長 経済課長 人権人道課長

参事官 軍縮室長 軍縮科学審議官 原子力課長 科学原子力課長

情報調査局長 参事官 情報管理室長 分析課長 調査企画課長

企画調整室長 安全保障政策課長

秘

MM8501 01

２３日、長内がクリフツォフ外務省対日関係部長に対し電話にて、「一部西側報道がベススメルトヌィフ外相がゴルバチョフ大統領に辞表を提出した旨報じているが事実関係如何」と照会したところ、「ク」部長は、「非公式ということで申し上げるが、本日「ベ」外相は辞表を提出した」旨述べ、さらに外務大臣代行は誰が行っているのかという当方の質問に対し、「クヴィツィンスキー第一次官だと思うがはっきりしたことはわからない」旨述べていた。とりあえず。

高デ公館
~~東欧及ロシア一~~に転電した。 （了）

23/22:26 [redacted] 5531 02/08 P01 R168017

ファイル用

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写

[redacted] [redacted] 08－055

総番号 R168017 主管

月 23日 [redacted] ソ連発 欧 ソ

平成 3年 8月 23日 [redacted] 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連内政（ルキャーノフの政変への関与：報道）

第５５０９号 大至急 [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW８５０３－０２）

大臣 政務次官 官房長 秘書官 審議官 審議官 審議

２２～２３日のソ連邦共産党地方組織の動き（及び非党化）につき、とりまとめ御報告申し上げる。

１．２３日付けロシア通信は、２９日に招集されるサハリン州ソヴィエトの臨時会期でロシア共産党地方組織の資産の国有化に関する問題が審議される旨、またこの問題に関する会期の決定が採択されるまで、内務局長セーロフ将軍が同州党機関の資産と文書の保持を保障する旨、サハリン州ソヴィエト幹部会が、２３日から、ソヴィエト及び執行委員会の建物にロシアの三色旗を掲揚することを決定した旨、報じている。

２．２３日付けロシア通信は、ロシア共産党サハリン州委員会書記局が、同日、地方ラジオを通じて、退陣の声明を発表した旨、報じている。これは、ソ連邦共産党中央委員会が今回のクーデタに対する自己の態度を表明しなかったことに起因すると同通信は伝えている。

３．２３日付けロシア通信は、２２日、ソ連邦共産党レニングラード企業初級党組織書記会議が行なわれ、会議参加者は今回のクーデタ時におけるソ連邦共産党中央委員会及びレニングラード州党組織の態度を非難した旨、及び同会議で、１９日以後、離党を望む者の急速な増大が指摘された旨、報じている。

４．２３日付けロシア通信は、カザフ共和国大統領が、同日、カザフ共和国のＫＧＢ、内務省、検察、司法機関、裁判所、税関の諸機関における政党及び政治団体の組織の活動を禁ずる大統領令に署名した旨、また、カザフ共産党中央委員会政治局が、ソ連邦共産党中央委員会政治局員及び中央委員の辞任及び国民共産党創設に関するナザルバエフ大統領の声明を支持した旨、報じている。なお、このことは、クーデタ時にソ連邦共産党中央委員会書記局が反乱参加者を実際上支持したことに起因

すると カザフ共産党中央委員会第一書記が述べた旨、同通信は伝えている。

なお、同日付けインターファックスは、同大統領令が、行政機関職員と有給の党職の兼任を禁じている旨、報じている。

５．２３日付けロシア通信は、ロシア共和国出版マスコミ相ミハイル・ポルトラニンが、同日、全連邦国家テレビ・ラジオ会社の非党化に関する決定を承認した旨、報じている。

（了）

ファイル用

注意
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写

[redacted] [redacted] 08－062

総番号 R168026 主管

月 23日 [redacted] ソ連発 欧ソ

平成 3年 8月 23日 [redacted] 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連内政（ベススメールトヌイフ外相の辞任）

第５５１０号 大至急 [redacted]

往電第５５０７号に関し

２３日午後のタスは、同日ベススメールトヌイフ外相が辞表を提出した旨報じている。（了）

大臣 政務次官 事務次官 秘書官 儀典官 官房長 審議官
北大使 経大使 外大使 研修大使 査察官 総括審議官 博表
総合対策本部 文化交流審議官 厚生審議官 情報調査官
警察庁人事課 在外公館警備対策官 史料室
外報官 参事官 総務参事官 内閣外政審議官
文化交流 審議官 一等書記官 二等書記官
総務参事官 参事官 政策評価審議官 保健医療対策室 旅券課 外務事務官
アジア大洋州局長 審議官 地球規模課題総括 東南アジア第一課 東南アジア第二課 北東アジア課 北東アジア第一課 西南アジア課
北米局長 審議官 北米第一課 北米第二課 日米安保課
中南米局長 参事官 中南米第一課 中南米第二課
欧亜局長 審議官 西欧第一課 西欧第二課 中欧課 ロシア課 ロシア第二課
中近東アフリカ局長 参事官 中近東第一課 中近東第二課 アフリカ第一課 アフリカ第二課
経済局長 次長 総務参事官 経済連携課 途上国経済協力課 審議官 経済安全保障課 経済構造調整課 国際経済第一課 国際経済第二課 エネルギー資源課 国際資源室 漁業課
審議官 海洋室 審議官 準備室
経済協力局長 審議官 政策課 開発計画課 無償資金協力課 参事官 調査企画課 技術協力課 有償資金協力課 債務処理室
条約局長 審議官 条約課 国際協力課 国際法規課
国連局長 審議官 国連政策課 国連経済社会課 国連人権人道課
科学審議官 科学原子力課
情報調査局長 参事官 情報管理室 分析第一課 分析第二課 国際テロ情報収集ユニット 企画室 安全保障政策室

23/22:37 [redacted] 5533 01/08 P01 R168027

注意 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）。に連絡ありたい。

ファイル用

電信写 [redacted] [redacted] 08－031

大臣官房	政務次官
事務次官	外務審議官
外務審議官	外務報道官
総括審議官	総合外交政策局長
博報大使	代表大使
総括審議官	大使
大使	大使
研修所長	審議官
総務参事官	日米安保条約課長
情報調査室長	文化交流部長
国際社会協力部長	在外公館警備対策官
外務報道官	参事官
総合外交政策局	内閣外政審議室
文化交流部	審議官
領事移住部長	参事官
総務課長	海外邦人安全課長
旅券課長	外国人登録室長
アジア局	審議官
地域政策課長	東南アジア第一課長
参事官	北東アジア課長
西大洋課長	西欧第一課長
北米局	審議官
日米安保条約課長	地位協定室長
中南米局	審議官
参事官	中南米第一課長
欧亜局	審議官
西欧第一課長	西欧第二課長
東欧第二課長	東欧第一課長
アジア局	審議官
参事官	中国課長
北東アジア第一課長	北東アジア第二課長
国際法局	審議官
経済局	審議官
総合経済対策課長	途上国経済協力課長
参事官	経済連携課長
国際経済第一課長	国際経済第二課長
経済安全保障室長	エネルギー資源課長
海洋課長	漁業課長
国際資源室長	準備室長
経済協力局	審議官
政策課長	開発協力企画官
技術協力課長	無償資金協力課長
参事官	調査計画課長
条約局	審議官
条約課長	法規課長
国際協力局	審議官
政策課長	経済協力人材室長
参事官	軍縮課長
科学原子力課長	
情報通信課長	参事官
調査企画課長	安全保障政策室長

総番号 R168027 主管

月 23日 [redacted] ソ連発 欧・ソ

平成 3年 8月 23日 [redacted] 本省着

外務大臣殿 枝村大使

ソ連内政（ソ連邦共産党地方組織及び非党化の動き）

第５５１１号 大至急 [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 ＭＷ８５０４－０２）

２２～２３日のソ連邦共産党地方組織の動き（及び非党化）につき、とりまとめ御報告申し上げる。

１．２３日付けロシア通信は、２９日に招集されるサハリン州ソヴィエトの臨時会期でロシア共産党地方組織の資産の国有化に関する問題が審議される旨、またこの問題に関する会期の決定が採択されるまで、内務局長セーロフ将軍が同州党機関の資産と文書の保持を保障する旨、サハリン州ソヴィエト幹部会が、２３日から、ソヴィエト及び執行委員会の建物にロシアの三色旗を掲揚することを決定した旨、報じている。

２．２３日付けロシア通信は、ロシア共産党サハリン州委員会書記局が、同日、地方ラジオを通じて、退陣の声明を発表した旨、報じている。これは、ソ連邦共産党中央委員会が今回のクーデタに対する自己の態度を表明しなかったことに起因すると同通信は伝えている。

３．２３日付けロシア通信は、２２日、ソ連邦共産党レニングラード企業初級党組織書記会議が行なわれ、会議参加者は今回のクーデタ時におけるソ連邦共産党中央委員会及びレニングラード州党組織の態度を非難した旨、及び同会議で、１９日以後、離党を望む者の急速な増大が指摘された旨、報じている。

４．２３日付けロシア通信は、カザフ共和国大統領が、同日、カザフ共和国のＫＧＢ、内務省、検察、司法機関、裁判所、税関の諸機関における政党及び政治団体の組織の活動を禁ずる大統領令に署名した旨、また、カザフ共産党中央委員会政治局が、ソ連邦共産党中央委員会政治局員及び中央委員の辞任及び国民共産党創設に関するナザルバエフ大統領の声明を支持した旨、報じている。なお、このことは、クーデタ時にソ連邦共産党中央委員会書記局が反乱参加者を実際上支持したことに起因

するとカザフ共産党中央委員会第一書記が述べた旨、同通信は伝えている。

なお、同日付けインターファックスは、同大統領令が、行政機関職員と有給の党職の兼任を禁じている旨、報じている。

５．２３日付けロシア通信は、ロシア共和国出版マスコミ相ミハイル・ポルトラニンが、同日、全連邦国家テレビ・ラジオ会社の非党化に関する決定を承認した旨、報じている。

（了）

ファイル用

注意
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線２１７１、２１７４）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線３１６９）に連絡ありたい。

電信写

[redacted] [redacted] 08－055

総番号 R168042 主管

月 23日 [redacted] ソ 連 発 欧 ソ

平成 3年 8月 23日 [redacted] 本 省 着

外務大臣殿 枝村 大使

ソ連内政（ＫＧＢの非政党化）

第５５１３号 大至急 [redacted]

（以下ＦＡＸ送信 MW８５０６－０１）

大臣官房 政務次官 儀典長 外務審議官 外務審議官 情報文化交流部長 総務審議官 北米大使 経済大使 国際経済大使 外務報道官 大使 大使 大使

往電第5511号に関し、 MW8506 04

２３日付けのタスは、同日シェバルシン連邦ＫＧＢ議長代行が、連邦ＫＧＢ諸機関及びＫＧＢ軍における共産党組織の活動の禁止、及び他の諸政党、運動の組織の創設の禁止に関する命令を発出した。

（了）